

# 指標等の進捗状況シートの見方

## 針路2 施策5 防犯対策の推進と捜査活動の強化

### 施策指標の進捗状況

【達成率(年度目標比)】  
年度目標と比較した達成率を記載

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
12. 人口千人当たりの刑法犯認知件数	件	6.1 (R2年)	5.7 (R4年)	5.9 (R4年)	103.5%	年度目標達成	5.5 (R8年)



#### ◀ 指標の説明 ▶

県内で1年間(1月～12月)に警察において認知した刑法犯の事件数を、その年の県人口(推計人口)で割り、算出した人口千人当たりの刑法犯認知件数。  
犯罪の減少傾向を持続させるため、令和2年の現状値6.1件から10%減少させることを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、
- 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う影響などにより、自転車盗等の街頭犯罪が以降連続で減少してきた刑法犯認知件数であった。
- 自転車盗や侵入窃盗などの増加している。

【指標の進捗状況・分析】  
指標の進捗(動き)について、年度(最終)目標値との比較を定型的に記載した上で、その要因等について分析して記載

#### 【グラフの説明】

- ・実績 … その年(度)の実績値
- ・目標値 … 5か年計画で設定した数値目標
- ・年度目標(値) … 施策指標を所管する部局が毎年度設定する目標

#### 【ストック指標】棒グラフ

毎年の実績を積み上げる(累計)指標

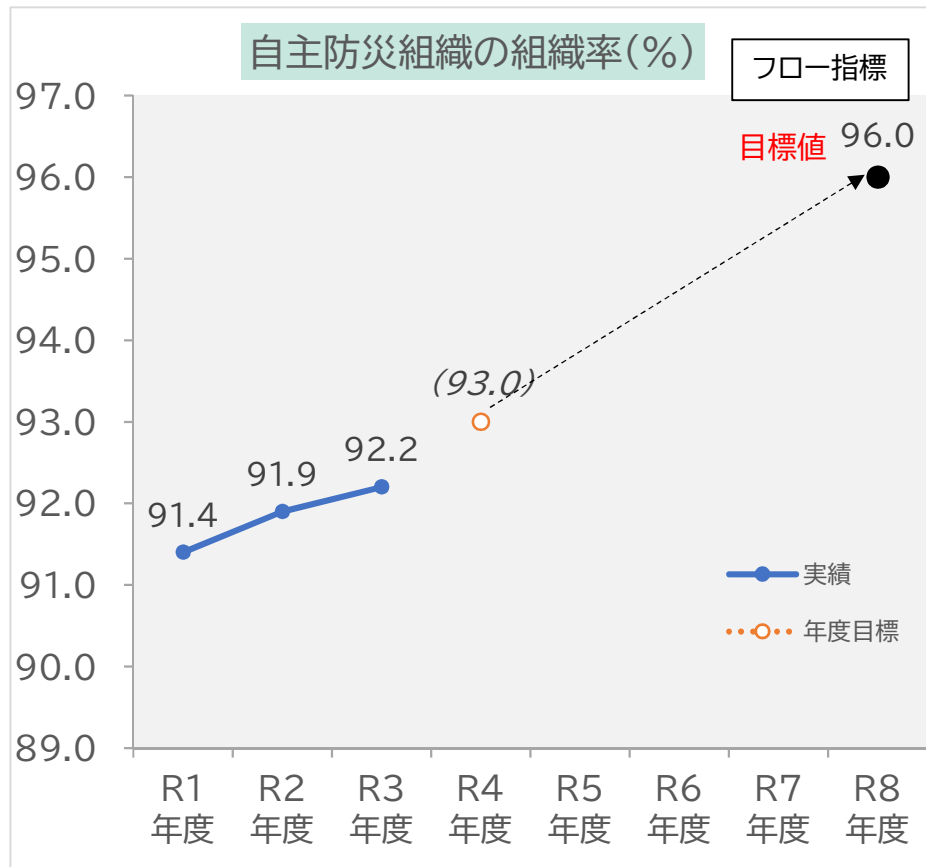
#### 【フロー指標】折れ線グラフ

社会情勢により毎年度の数値が上下に変動する指標

# 針路1 施策1 危機管理・防災体制の再構築

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
1. 自主防災組織の組織率	%	91.4 (R1年度)	92.2 (R3年度)	- (-)	-	-	96.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

全世帯数に占める「自主防災組織が組織されている地域の世帯数」の割合。  
令和元年度における組織率の全国上位10県の平均値(96.2%)に相当する組織率を目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

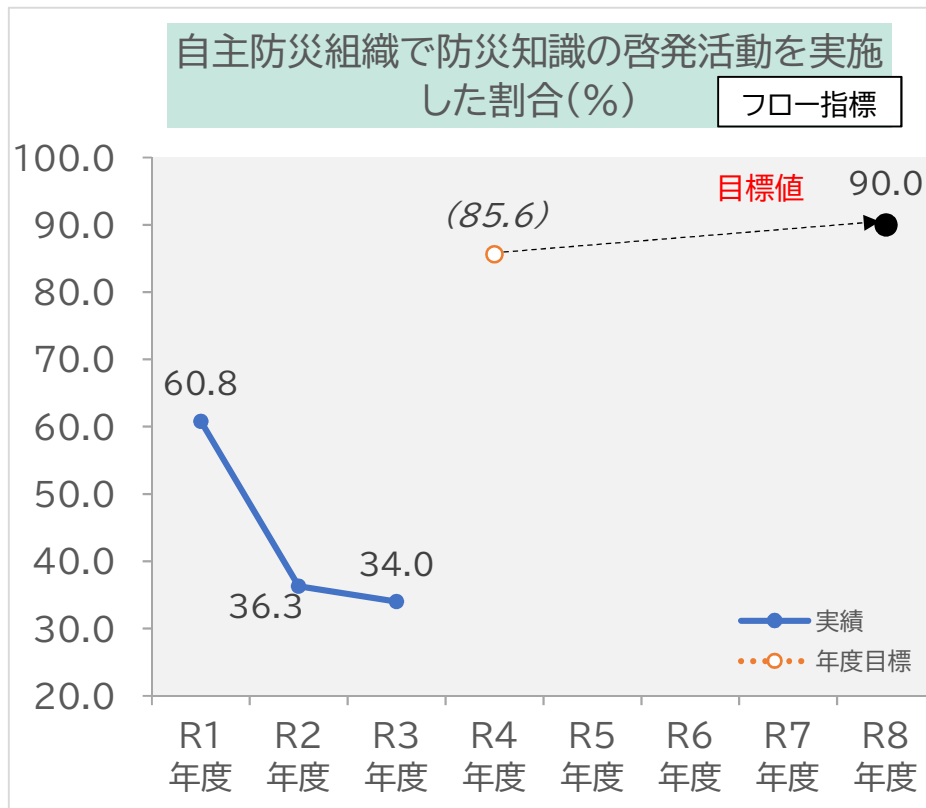
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 自主防災組織の資機材整備に対する補助や防災人材の育成・派遣に取り組んだ結果、策定時より改善したものの、伸び率は微増にとどまった。多くの自主防災組織の母体となっている自治会において、少子高齢化、人口減少による担い手の減少や地域コミュニティの希薄化による自治会自体の弱体化などが要因と考えられる。
- 防災人材の育成・派遣や市町村の自主防災組織に関する取組に対する補助などの取組を通じて市町村の主体的な取組を支援することにより、自主防災組織の新規設立を促していく。

# 針路1

## 施策1 危機管理・防災体制の再構築

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
2. 自主防災組織で防災知識の啓発活動を実施した割合	%	60.8 (R1年度)	34.0 (R3年度)	- (-)	-	-	90.0 (R8年度)



#### ≪ 指標の説明 ≫

自主防災組織の組織活動として、構成員に災害への備えや災害時の行動などの防災知識の啓発活動を実施した割合。

過去5年間(平成27年度～令和元年度)の自主防災組織の訓練実施率の平均値(約90%)を踏まえ、啓発活動の実施率を令和6年度までに同水準である90%まで高め、その後維持していくことを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

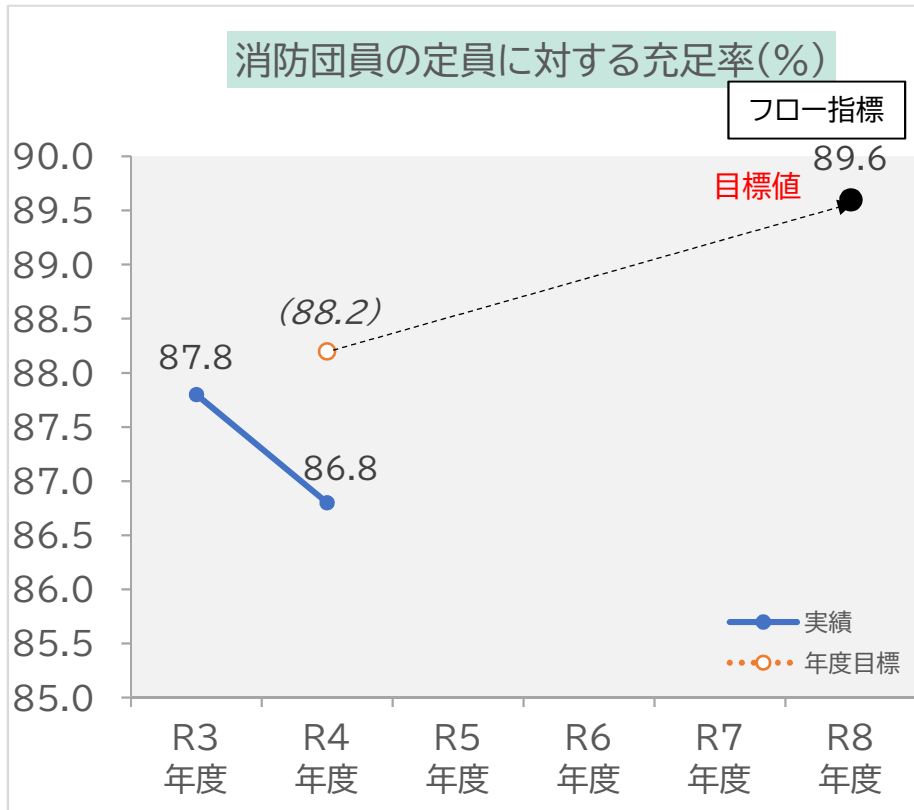
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 防災人材の育成や、市町村・自主防災組織等が実施する研修等への派遣などに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により活動が抑制された。
- 防災人材の育成・派遣や市町村の自主防災組織に関する取組に対する補助などの取組を通じて市町村の主体的な取組を支援することにより、自主防災組織の活動活性化を促していく。また、SNSや動画サイトなどを活用し、特に若い世代を対象とした普及啓発を行うことで自主防災組織の新たな担い手確保に取り組む。

# 針路1

## 施策1 危機管理・防災体制の再構築

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
3. 消防団員の定員に対する充足率	%	87.8 (R3年度)	86.8 (R4年度)	88.2 (R4年度)	98.4%	策定時より後退	89.6 (R8年度)



#### ◀ 指標の説明 ▶

消防団員の条例定数に対する充足率。  
令和2年4月1日時点における充足率の全国平均値(89.6%)を下回らないことを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

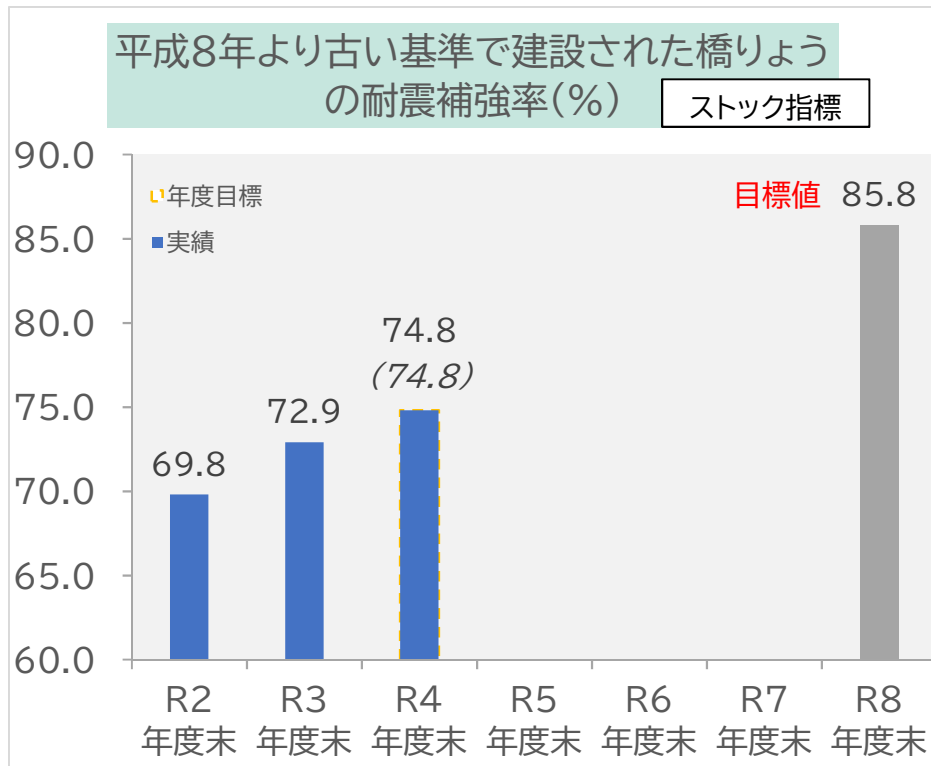
- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- 退団者が入団者を上回る状況が続いており、この10年間で増減率は▲5.4%となっている。退団理由としては本来業務と消防団活動の両立が難しいことや転勤・転出、定年(高齢化)などの要因もあるが、若い世代への消防団の認知不足が入団に繋がらないことが考えられる。
- 若者の消防団に対する理解・認知度向上を目的とした広報活動を実施することで、幅広い消防団活動への理解を深め、若い世代を中心とした入団者数の増加及び、退団者数の抑制により充足率向上につなげる。

# 針路1

## 施策2 大地震に備えたまちづくり

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
4. 平成8年より古い基準で建設された橋りょうの耐震補強率	%	69.8 (R2年度末)	74.8 (R4年度末)	74.8 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	85.8 (R8年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

平成8年より古い基準で建設された橋りょうのうち、耐震補強が完了した割合。  
平成8年より古い基準で建設された橋りょうのうち、緊急輸送道路上などの橋りょうの耐震補強を令和8年度末までに完了させることを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 橋りょう毎に完了目標を設定し、計画的に整備を進めているため、年度目標を達成した。
- 対象橋りょうの耐震化に向け、引き続き計画的な取組を進めていく。

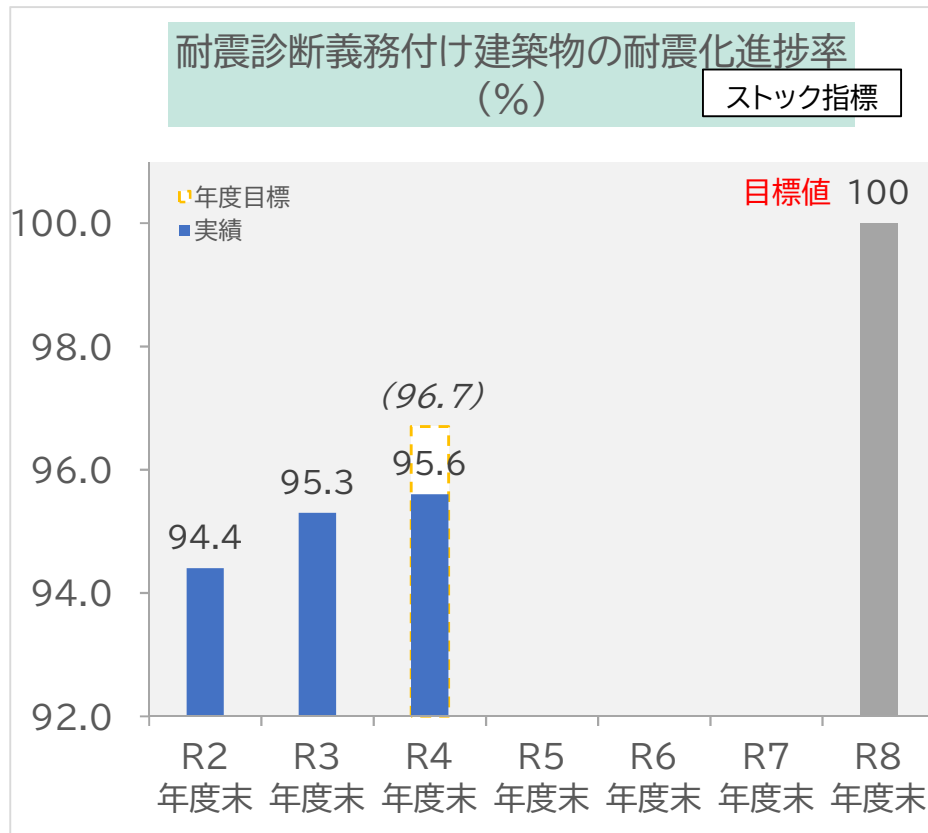


# 針路1

## 施策2 大地震に備えたまちづくり

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
5. 耐震診断義務付け建築物の耐震化進捗率	%	94.4 (R2年度末)	95.6 (R4年度末)	96.7 (R4年度末)	98.9%	策定時より改善	100 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

耐震診断が義務付けられた建築物のうち、耐震化が完了した割合。令和8年度末までに耐震診断義務付け建築物の耐震化進捗率100%を目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

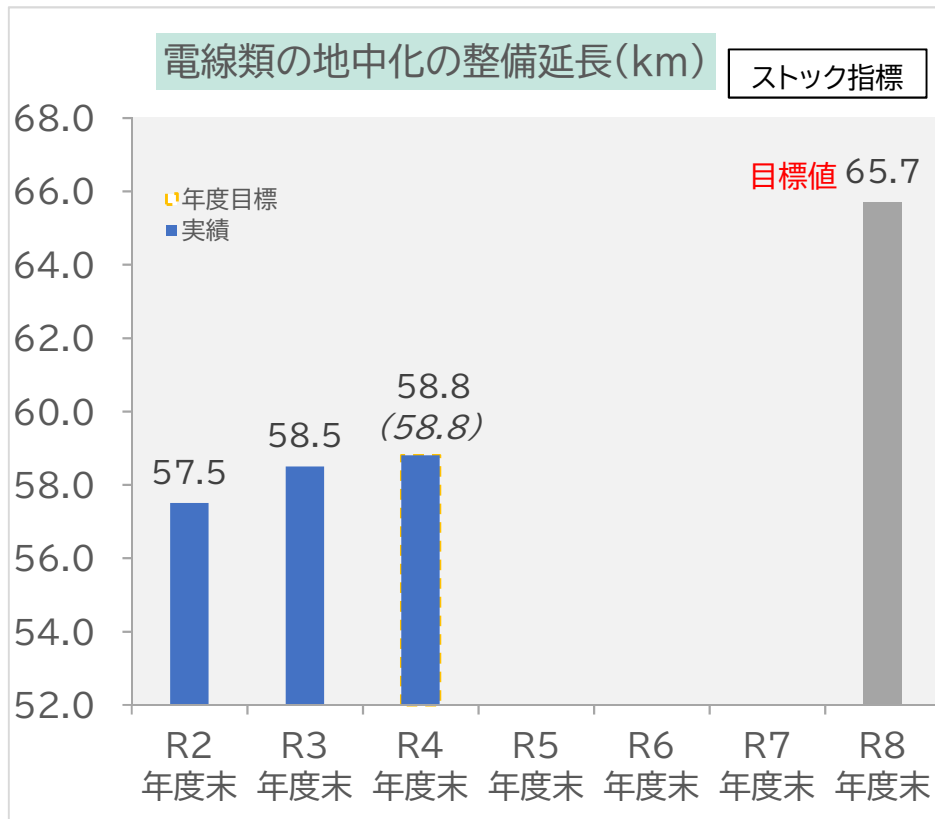
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 未耐震の建築物所有者への個別訪問などによる働きかけを行ってきたものの、テナント等との調整の遅れなどにより、年度目標に到達しなかった。
- 引き続き、建築物所有者への個別訪問など耐震化の働きかけを強めていく。

# 針路1

## 施策2 大地震に備えたまちづくり

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
6. 電線類の地中化の整備延長	km	57.5 (R2年度末)	58.8 (R4年度末)	58.8 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	65.7 (R8年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県管理道路のうち、電線類の地中化の整備が完了した延長。  
過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績を踏まえ、同水準の整備延長を完了することを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 無電柱化推進計画に基づき計画的に整備を進めているため、年度目標を達成した。
- 引き続き電線管理者や占有者との調整を行い、電線類の地中化の整備を進めていく。

# 針路1

## 施策3 治水・治山対策の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
7. 治水対策によって床上浸水被害の解消が想定される家屋数	棟	— (—)	12 (R4年度末)	20 (R4年度末)	60.0%	策定時より改善	400 (R4～R8年度の累計)

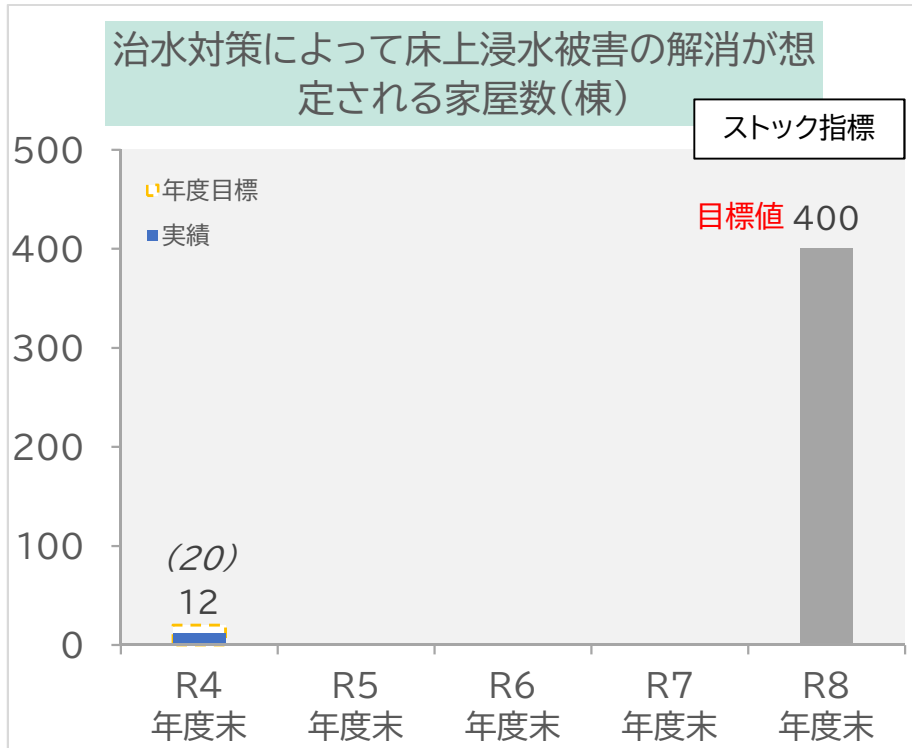
#### ◀ 指標の説明 ▶

令和元年東日本台風において県内で床上浸水被害を受けた家屋(約2,000棟)のうち、令和元年東日本台風と同規模の降雨に対して、床上浸水被害の解消が理論上想定される棟数。

令和元年東日本台風と同規模の降雨に対し、河川改修や調節池の整備、市町村による内水対策を着実に進め、床上浸水被害を受ける家屋数を400棟減少させることを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 地権者との調整に時間を要し工事に遅れが生じたため、年度目標を下回った。
- 河道改修に加えて、浸水被害の解消に広域的な効果が発現される調節池の整備を引き続き進めていく。



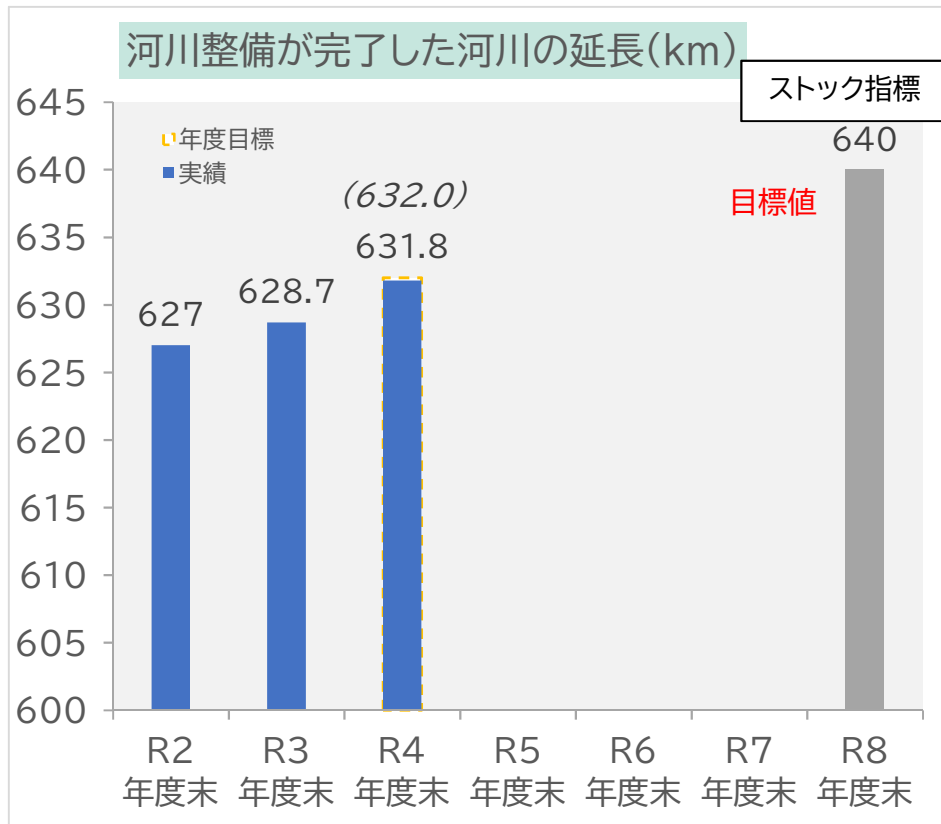


# 針路1

## 施策3 治水・治山対策の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
8. 河川整備が完了した河川の延長	km	627 (R2年度末)	631.8 (R4年度末)	632.0 (R4年度末)	99.9%	策定時より改善	640 (R8年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県管理河川のうち、時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流すための整備が完成した河川の延長。  
河川整備が必要な河川の延長1,014kmのうち、事業効果の高い約13kmについて整備を完了することを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

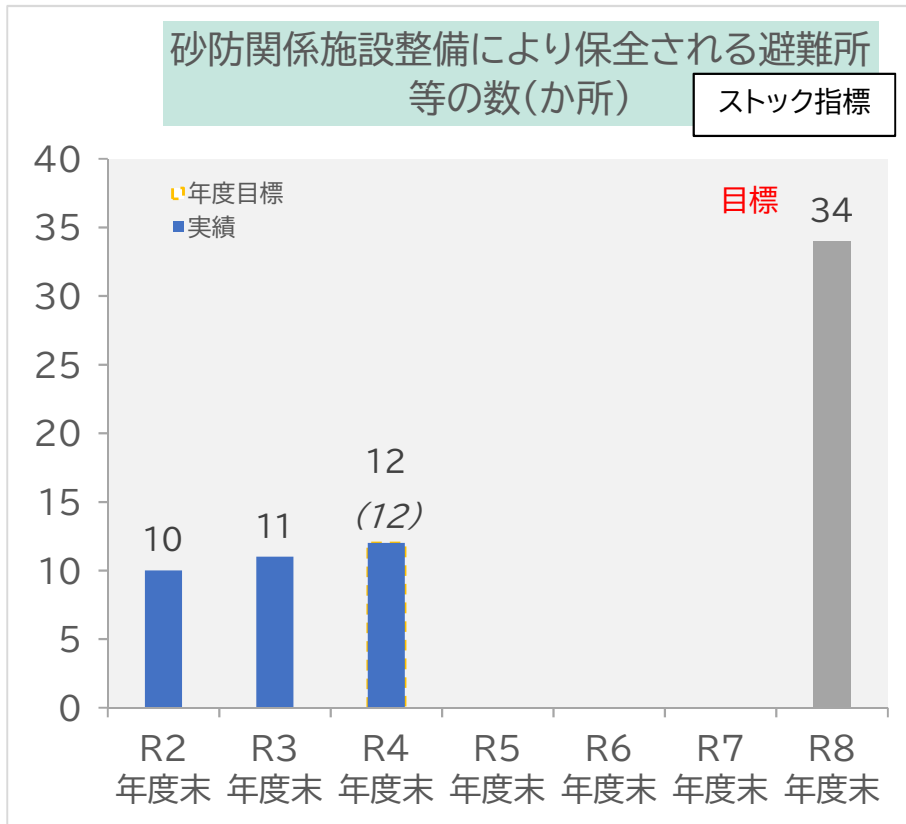
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 地元調整に時間を要し工事の進捗が遅れたため、年度目標を下回った。
- 引き続き国の5か年加速化対策の活用により、予算を重点的に確保し、河川改修を引き続き進めていく。

# 針路1

## 施策3 治水・治山対策の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
9. 砂防関係施設整備により保全される避難所等の数	か所	10 (R2年度末)	12 (R4年度末)	12 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	34 (R8年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

砂防関係施設の整備により保全される土砂災害警戒区域内の避難所及び要配慮者利用施設の数。

土砂災害警戒区域内の避難所及び要配慮者利用施設168か所のうち、事業効果の高い24か所について保全することを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

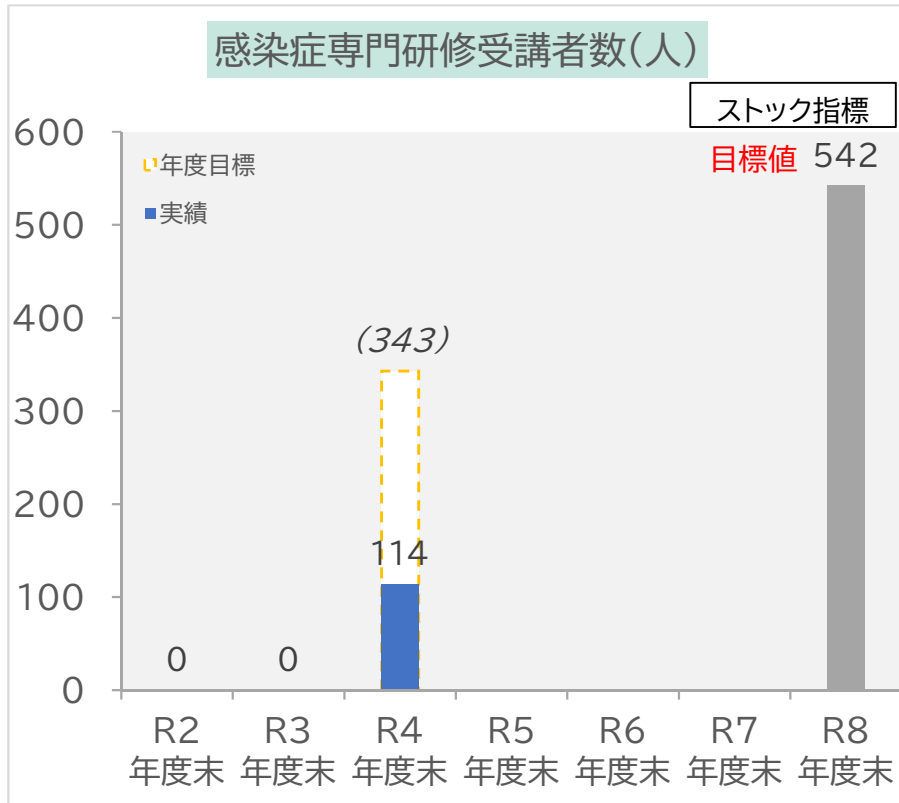
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 砂防関係施設整備により保全される避難所や要配慮者利用施設などの優先度評価の高い区域から整備することを原則として整備しているため、年度目標を達成した。
- 令和5年度以降も国費等を最大限活用することにより、砂防関係施設の整備を加速化していく。

# 針路1

## 施策4 感染症対策の強化

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
10. 感染症専門研修受講者数	人	0 (R2年度末)	114 (R4年度末)	343 (R4年度末)	33.2%	策定時より改善	542 (R8年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県が実施する感染症専門研修を受講した人数。  
全入院医療機関542施設(病院343施設、有床診療所199施設)に1人ずつの感染症対策の専門人材を養成することを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

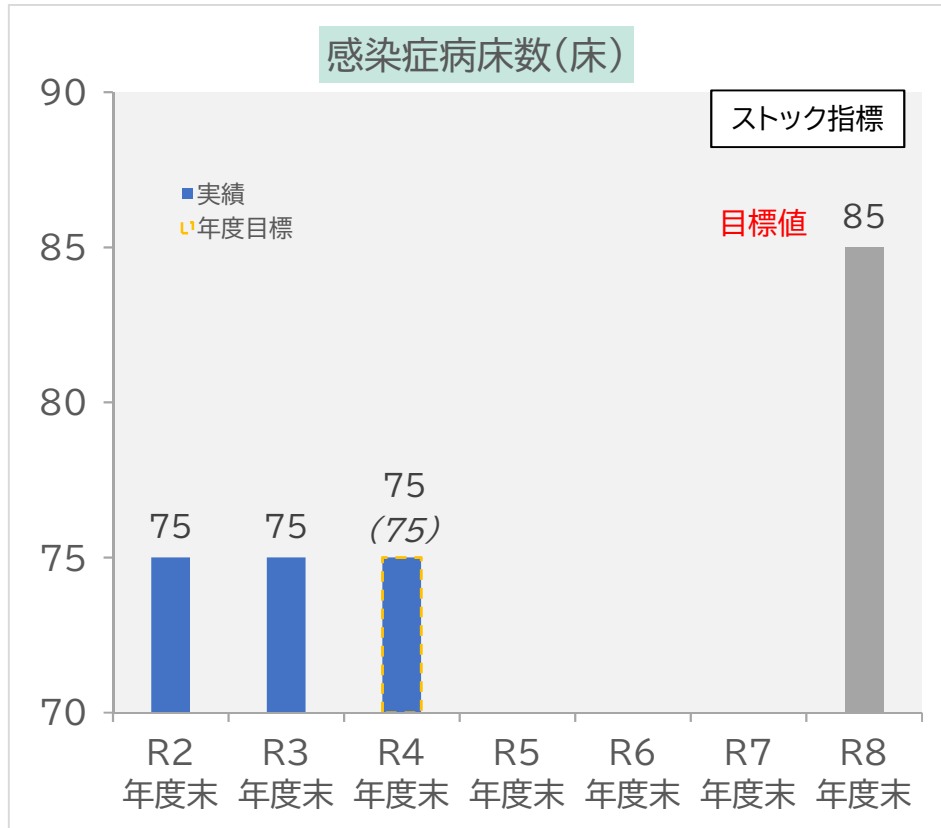
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、医療現場が極めて多忙となり、研修における実習を引き受けられる医療機関、研修に現場の職員を派遣できる医療機関が限られた。
- 受講者数は、実習可能な医療機関の受入体制によるところが大きいことから受入医療機関と調整し受入可能者数を増やすように努めるとともに、派遣元医療機関に対し派遣を働きかけるなど研修生が受講しやすい環境整備に取り組む。

# 針路1

## 施策4 感染症対策の強化

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
11. 感染症病床数	床	75 (R2年度末)	75 (R4年度末)	75 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	85 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

新興・再興感染症のうち、エボラ出血熱やMERSなど県民に重篤な影響を及ぼす感染症について診察・治療が可能な感染症病床の整備数。県民に重篤な影響を及ぼす感染症の患者が発生した場合にも、早期治療を行い、まん延防止を図るため必要となる病床数として国の定めた基準を踏まえ、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

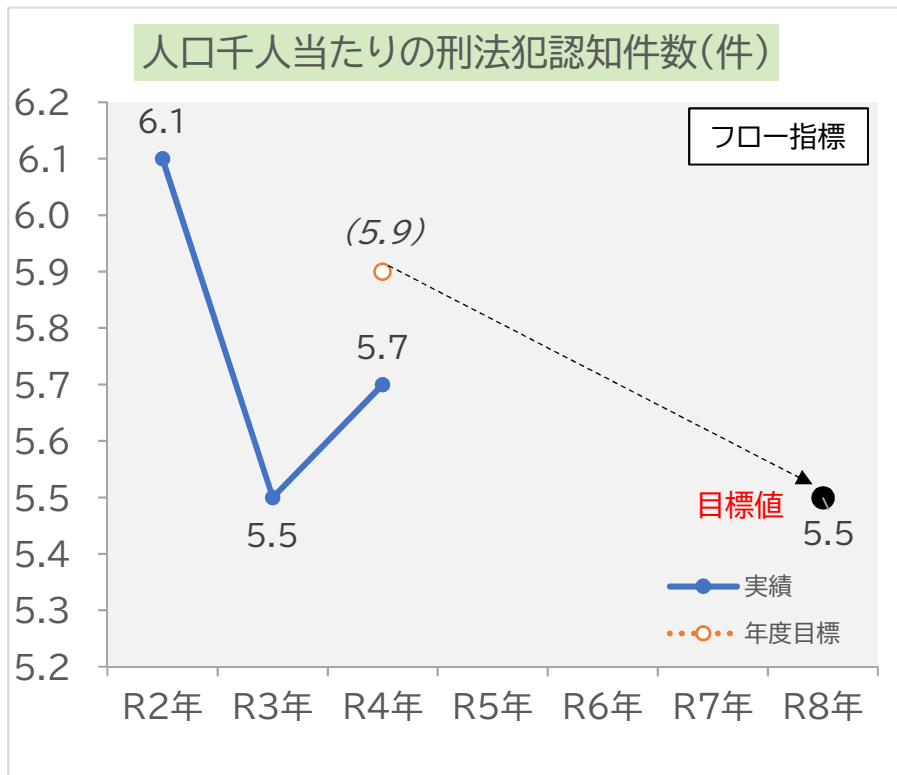
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 新型コロナウイルス感染症への対応を優先してきたほか、感染症法の改正に伴い医療措置協定において医療確保措置として病床確保計画を新たに立てることとなった。
- 感染症法の改正に伴う医療措置協定への対応が優先されることを踏まえ、取組を検討していく。

## 針路2

## 施策5 防犯対策の推進と捜査活動の強化

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
12. 人口千人当たりの刑法犯認知件数	件	6.1 (R2年)	5.7 (R4年)	5.9 (R4年)	103.5%	年度目標達成	5.5 (R8年)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県内で1年間(1月～12月)に警察において認知した刑法犯の事件数を、その年の県人口(推計人口)で割り、算出した人口千人当たりの刑法犯認知件数。

犯罪の減少傾向を持続させるため、令和2年の現状値6.1件から10%減少させることを目指し、目標値を設定。

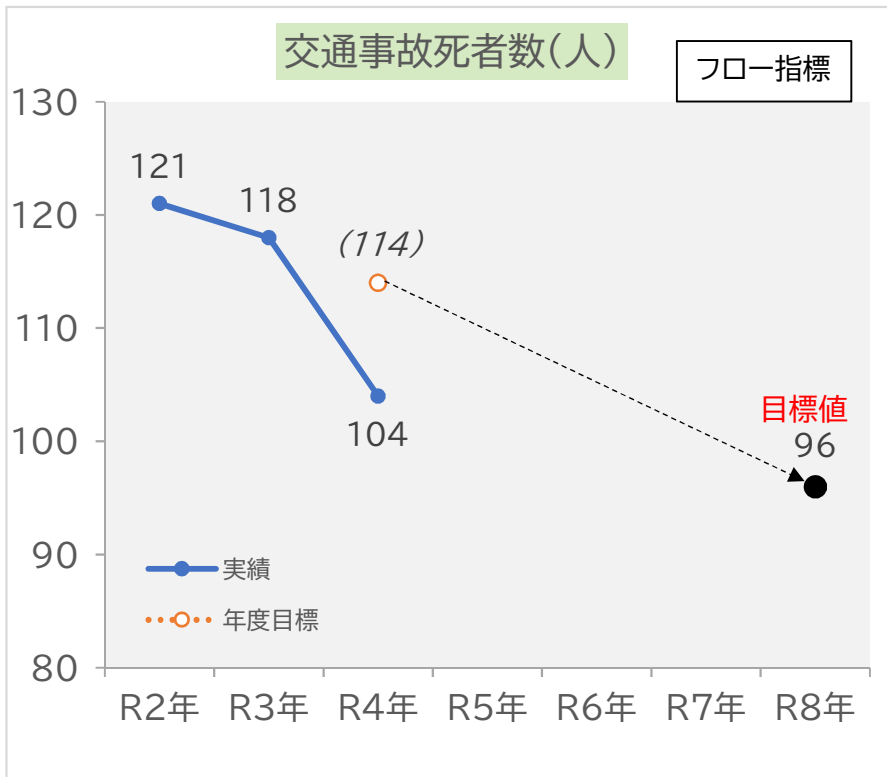
#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛が緩和されたことなどにより、自転車盗等の街頭犯罪が大幅に増加し、平成17年以降連続で減少してきた刑法犯認知件数が、令和4年は増加に転じた。
- 自転車盗や侵入窃盗などの増加している罪種に対する対策を強化する。

## 針路2 施策6 交通安全対策の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
13. 交通事故死者数	人	121 (R2年)	104 (R4年)	114 (R4年)	109.6%	年度目標達成	96 (R8年)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県内で1年間(1月～12月)に発生した交通事故による死者数(事故後24時間以内の死者)。

「第11次埼玉県交通安全計画」における令和7年の目標値(100人以下)を踏まえ、更に交通事故死者数を減少させることを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

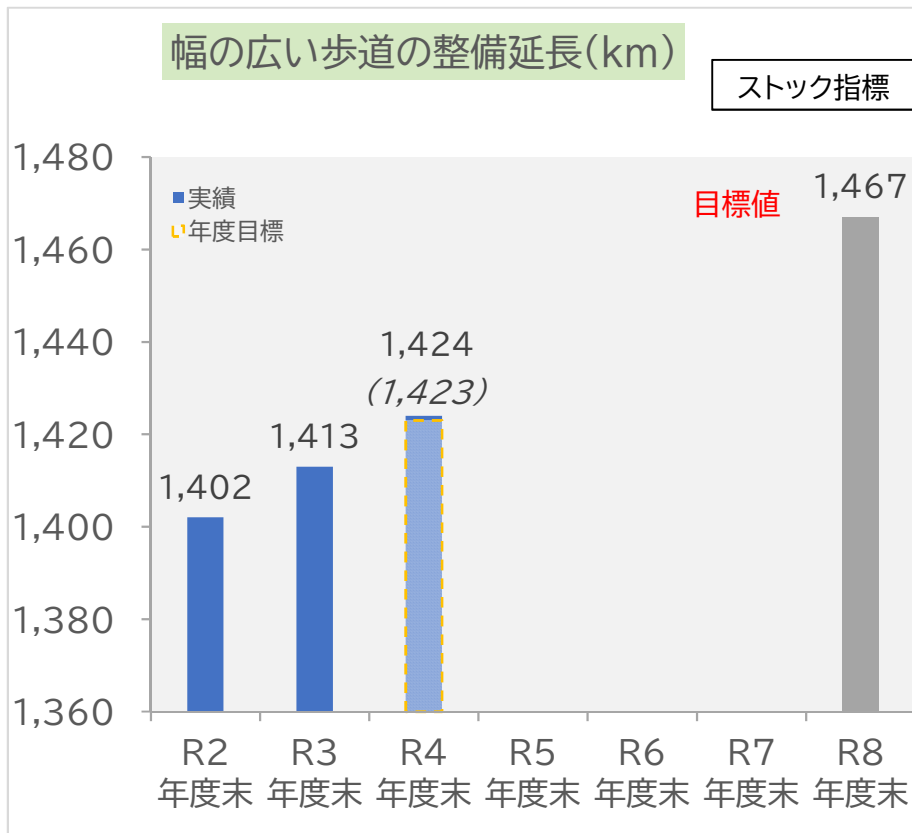
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 市町村や交通関係団体、交通ボランティア団体等の関係機関、団体と連携し、各季の交通安全運動を中心に積極的な交通事故防止活動を実施したことにより、自転車乗用中をはじめとした交通事故死者数が減少し、年度目標を上回った。
- 引き続き、市町村や交通関係団体、交通ボランティア団体等の関係機関、団体と連携し、交通事故の発生状況を分析、活用した各種交通安全対策を推進していく。



# 針路2 施策6 交通安全対策の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
14. 幅の広い歩道の整備延長	km	1,402 (R2年度末)	1,424 (R4年度末)	1,423 (R4年度末)	100.1%	年度目標達成	1,467 (R8年度末)



### ≪ 指標の説明 ≫

県が整備した道路のうち、少なくとも片側に幅員2.5m(有効幅員2.0m)以上の歩道が整備されている道路の延長。  
過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績を踏まえ、同水準の整備延長を完了することを目指し、目標値を設定。

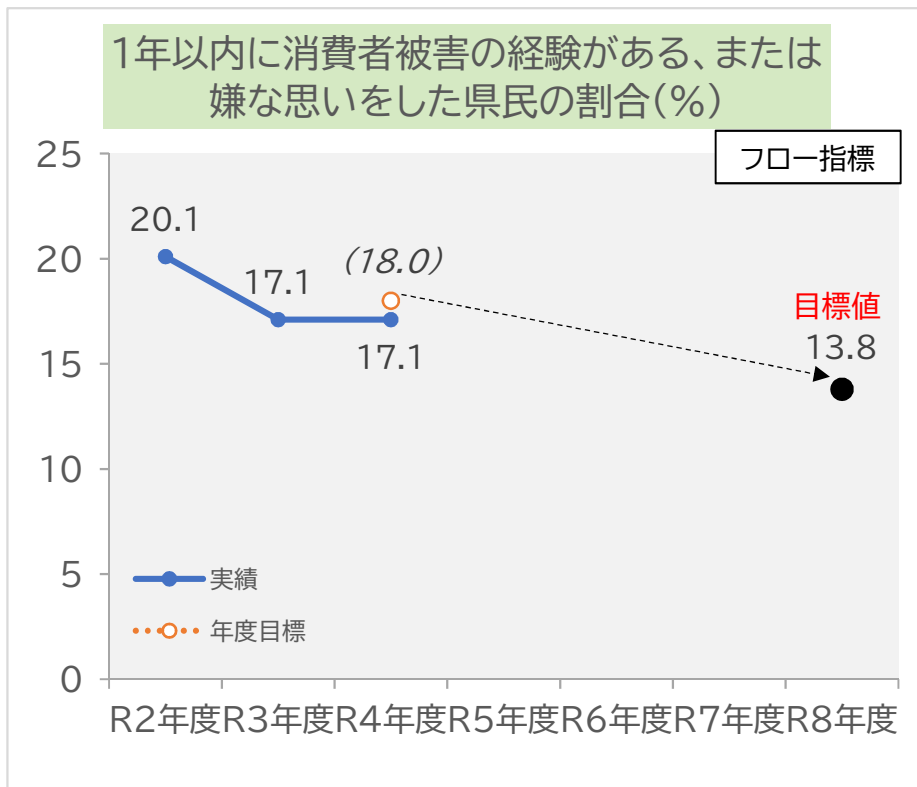
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 年度毎の整備目標を設定し、計画的に整備を進めているため、年度目標を達成した。
- 引き続き、用地取得や工事を進め、幅の広い歩道の整備を推進していく。

## 針路2 施策7 消費者被害の防止

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
15. 1年以内に消費者被害の経験がある、または嫌な思いをした県民の割合	%	20.1 (R2年度)	17.1 (R4年度)	18.0 (R4年度)	105.3%	年度目標達成	13.8 (R8年度)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県政世論調査で「訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などにより行った契約で、経済的・物的な消費者被害の経験がある」または「嫌な思いをしたことがある」と回答した県民の割合。

消費者被害に遭いやすいとされる高齢者が増加する中であっても、過去5年間(平成28年度～令和2年度)の平均値(15.3%)よりも1割減少させることを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

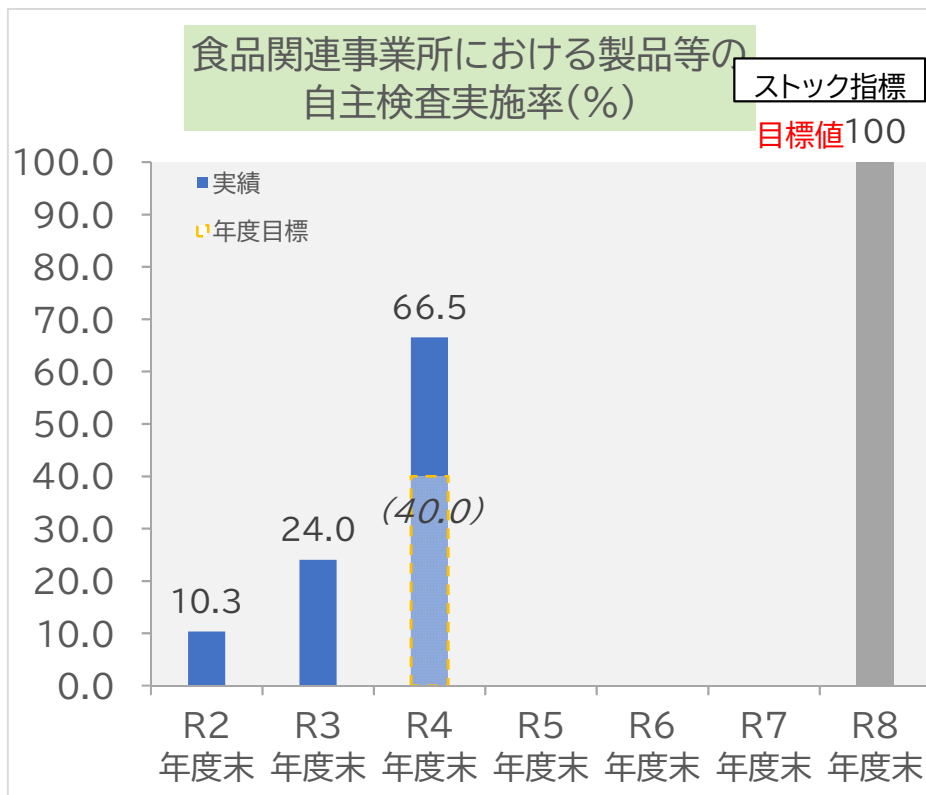
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 消費者被害の救済・未然防止を図るため、身近な市町村の消費生活相談体制の支援を行い、消費者支援センター等で相談業務を実施した。悪質業者への処分・指導や消費者団体への育成・支援事業を実施するなど、消費者対策の推進を図った。
- 複雑多様化する相談内容に対応するため、相談員の専門性向上を図る。また、高齢者や若年など年齢層にあった対策を講じることなどで被害防止を図っていく。

## 針路2

## 施策8 食の安全・安心の確保

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
16. 食品関連事業所における製品等の自主検査実施率	%	10.3 (R2年度末)	66.5 (R4年度末)	40.0 (R4年度末)	166.3%	年度目標達成	100 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

食品関連事業所(「食品衛生法」等に基づきHACCPに沿った衛生管理を行うこととされている大規模事業者の施設及び広域流通食品等製造施設)において、HACCPの検証のための自主検査を実施している割合。

食中毒の発生を未然に防止し、食の安全・安心を確保するには、食品関連事業所における製品等の自主検査実施率を100%にする必要があることを踏まえ、目標値を設定。

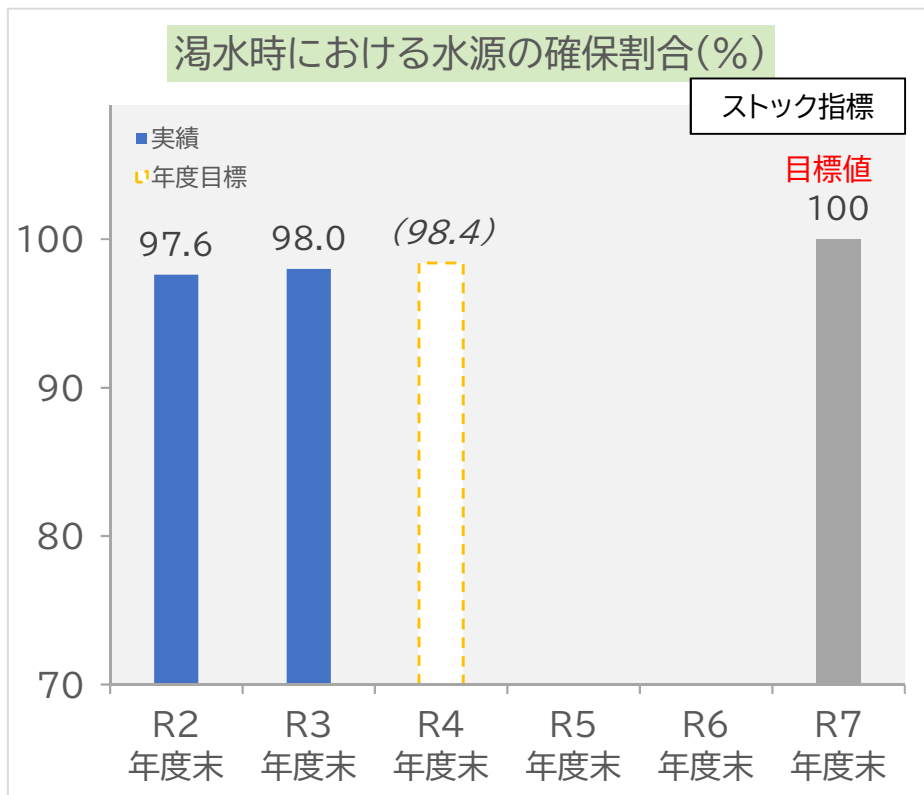
#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 大規模事業者を中心に、効率的に自主検査実施状況の確認を行った結果、年度目標を上回った。
- 引き続き、大規模事業者の施設及び広域流通食品等製造施設に対して、自主検査実施状況を確認し、自主検査実施を推奨していく。

## 針路2 施策9 安全な水の安定供給と健全な水循環の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
17. 渇水時における水源の確保割合	%	97.6 (R2年度末)	98.0 (R3年度末)	— (—)	—	—	100 (R7年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

埼玉県が必要とする取水量に対する、渇水時におけるダム等からの水の供給可能量の割合。

渇水時においても、日常生活に必要な水を安定的に確保する必要があり、水源の確保割合を100%にすることが必要であることを踏まえ、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

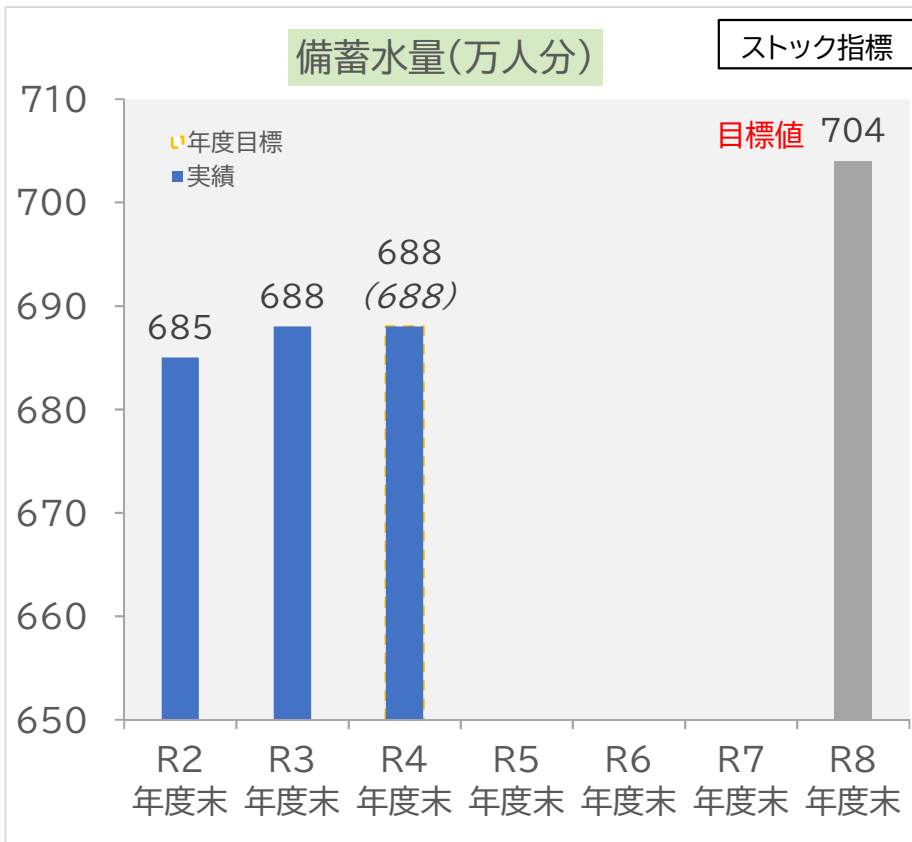
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 現在、水資源開発施設である思川開発事業が計画通り完成するよう、国及び独立行政法人水資源機構に働きかけているところであるが、令和3年度末時点では完成に至っていないため、渇水時供給可能量は増加していない。一方で、水需要が減少傾向にあることから必要取水量が低下し、指標算定値は改善している。
- 関係都県と連携し、コスト管理や進捗管理を行いながら、建設中の水資源開発施設が計画通りに完成するよう国及び独立行政法人水資源機構等に働きかけていく。

## 針路2

# 施策9 安全な水の安定供給と健全な水循環の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
18. 備蓄水量	万人分	685 (R2年度末)	688 (R4年度末)	688 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	704 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

浄水場などの貯水タンクに確保する水量。  
 県営水道供給区域内の県民が復旧までの間必要となる水量(89L/人)を着実に供給できることを目指し、目標値を設定。

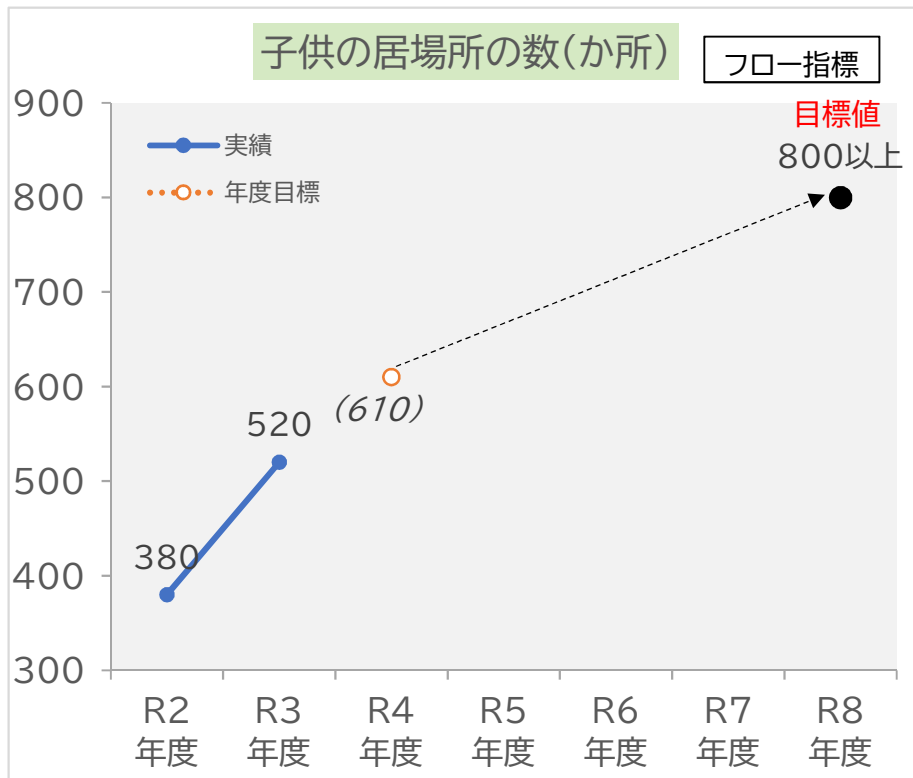
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 供用中の吉見浄水場関連施設の拡張など調整を必要とする整備に取り組み、備蓄水量の確保は計画どおり進捗している。
- 震災から県営水道復旧までの間(約1週間)、県民の生命と生活を守るには水道水を供給し続ける必要があるため、令和8年度の最終目標の達成を目指し吉見浄水場拡張関連事業に取り組む。

## 針路2 施策10 生活の安心支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
19. 子供の居場所の数	か所	380 (R2年度)	520 (R3年度)	- (-)	-	-	800以上 (R8年度)



#### ≪ 指標の説明 ≫

子ども食堂や無料塾、プレイパーク、多世代交流拠点などの子供の居場所の数。  
子供たちが歩いて通えるよう、公立小学校の数(令和3年度806校)を目安に、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

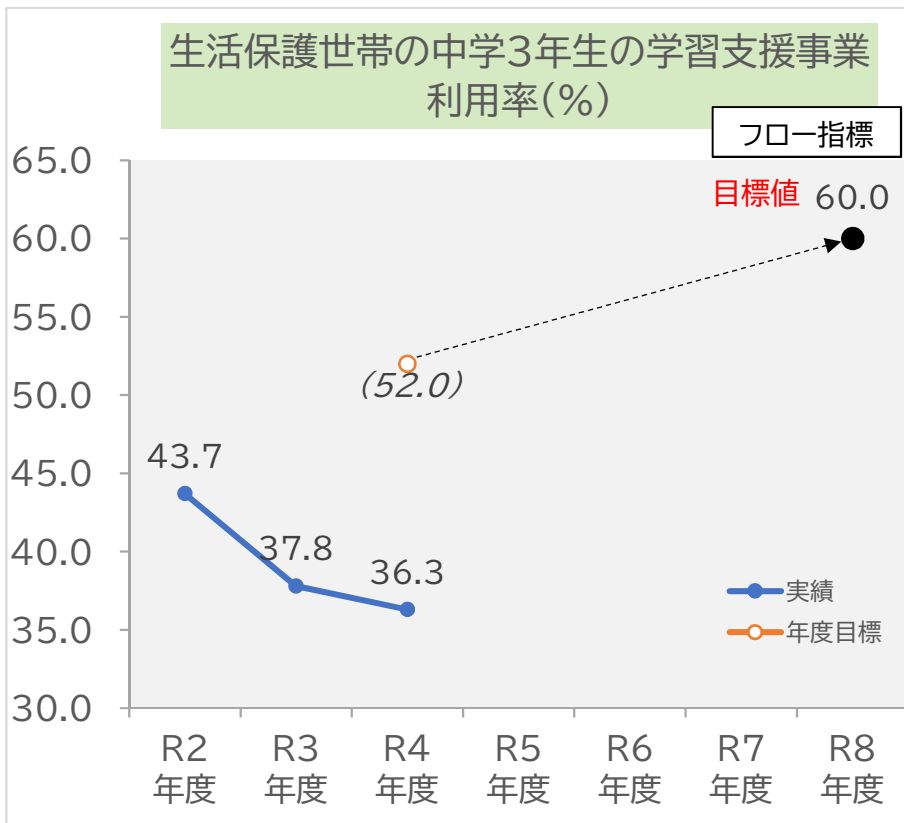
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 子ども食堂などの子供の居場所づくりを後押しするため、「こどもの居場所づくりアドバイザー」を179回派遣し、団体の新規立ち上げ・活動の継続を支援した。
- 子供の居場所団体等の新規立ち上げ・継続の支援を引き続き継続するとともに、新たな担い手の確保に向けた取り組みを強化する。



## 針路2 施策10 生活の安心支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
20. 生活保護世帯の中学3年生の学習支援事業利用率	%	43.7 (R2年度)	36.3 (R4年度)	52.0 (R4年度)	69.8%	策定時より後退	60.0 (R8年度)



#### ◀ 指標の説明 ▶

生活保護世帯の中学3年生のうち、学習支援事業を利用している割合。  
 中学3年生の通塾率(約6割)と同率を目指し、目標値を設定。

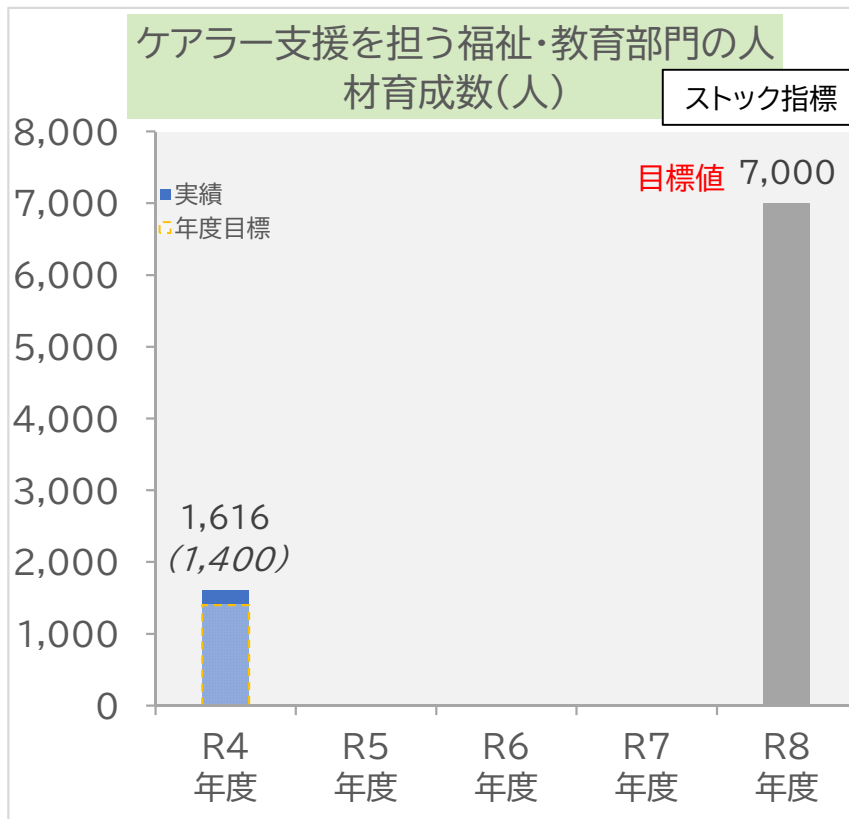
#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- 県所管の町村部教室では目標値を達成している一方、人口の多い市部では、市への事業趣旨の浸透を図り、利用率向上に向けた働きかけを行っているものの、事業利用率には差があり、全体として年度目標に及ばなかった。
- 市に対して、保護者や子に学習教室参加を促すための県が蓄積してきたノウハウを新たなマニュアルとして提供するほか、対象世帯へのアプローチ手法にかかる実践的な研修を実施するなど、利用率向上に向けた支援を行っていく。

## 針路2 施策10 生活の安心支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
21. ケアラー支援を担う福祉・教育部門の人材育成数	人	— (—)	1,616 (R4年度)	1,400 (R4年度)	115.4%	年度目標達成	7,000 (R4～R8年度の累計)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県が実施するケアラー支援に関する福祉部門、教育部門の関係者向け研修を受講した人数の累計。  
 「埼玉県ケアラー支援計画」の令和5年度の目標値(令和3～5年度の累計で福祉部門3,000人、教育部門1,000人)を踏まえ、毎年度、約1,400人に対し研修を実施し、ケアラーからの相談に対応できる人材を増やすことを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

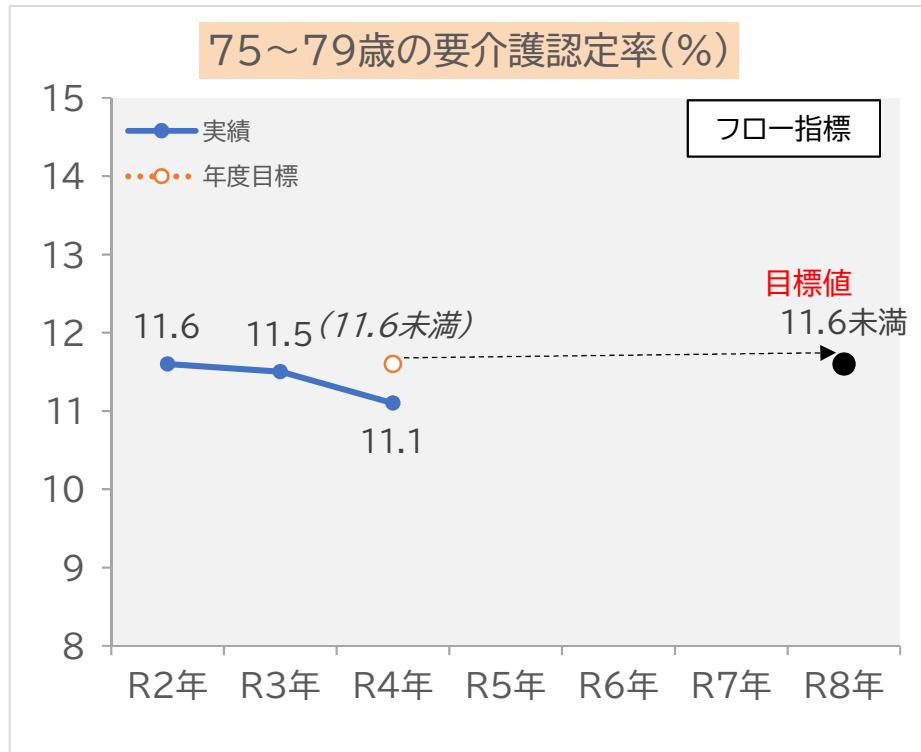
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 既存の地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、市町村等を対象とした研修に加え、新たに主任児童委員や、子ども食堂の運営者等の民間支援団体等を対象とした研修を実施した。
- より多くの方を受講いただくとともに、ケアラー支援のために効果的な内容となるよう、研修内容等を工夫しながら継続して研修を実施していく。

# 針路3

## 施策11 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
22. 75～79歳の要介護認定率	%	11.6 (R2年)	11.1 (R4年)	11.6未満 (R4年)	104.5%	最終目標を上回る	11.6未満 (R8年)



#### ◀ 指標の説明 ▶

75～79 歳の人のうち、要介護(支援)認定を受けている人の割合。本県は後期高齢者数の増加率が高いことから今後は要介護認定率の上昇が見込まれるため、介護予防の取組などにより、現行の水準より下げることを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

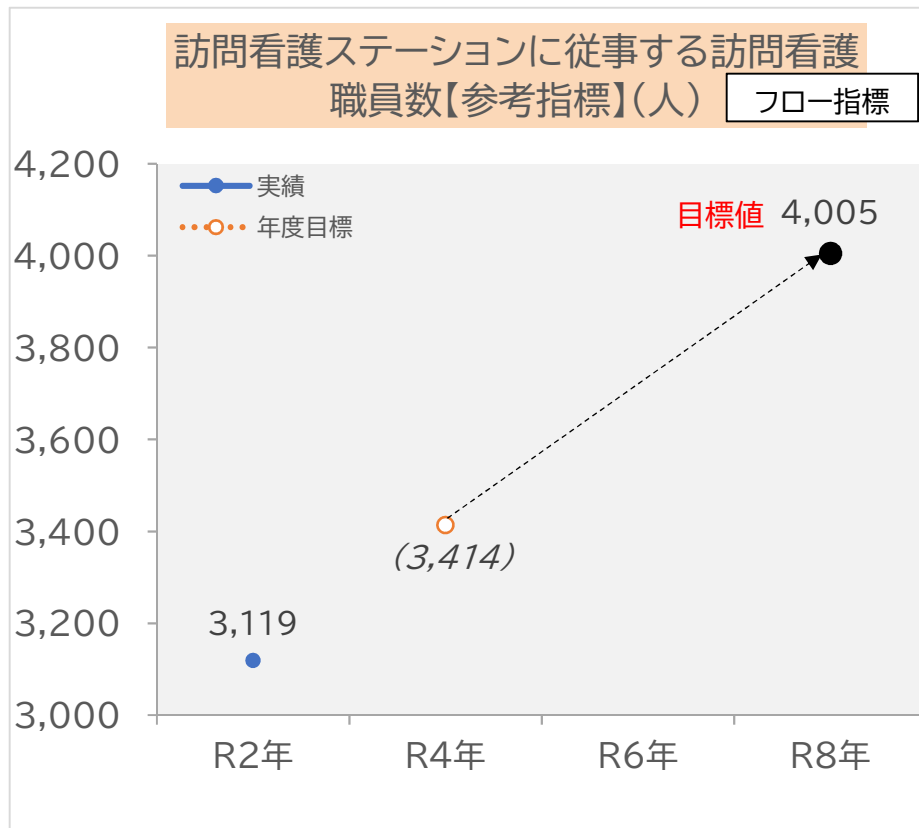
- 最新値は最終目標値以上の水準にあり、順調に推移している。
- 近年の健康志向の高まりに加え、市町村の介護予防の取組が進んだことなどから数値が改善したと考えられる。
- 今後、団塊の世代が70歳代後半になっていく中、早い段階から介護予防に取り組める環境づくりを進めるため、保健・福祉の専門職団体などと連携するとともに、市町村に対しては実情に応じた支援を進め、介護予防の取組を強化していく必要がある。

## 針路3

# 施策11 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
23. 訪問看護ステーションに従事する訪問看護職員数【参考指標】	人	3,119 (R2年)	3,119 (R2年)	- (-)	-	-	4,005 (R8年)



### ◀ 指標の説明 ▶

訪問看護ステーションに従事する看護職員の数。  
今後見込まれる在宅医療需要の増加により令和7年(2025年)に必要な訪問看護職員数(推計3,857人)を踏まえ、訪問看護職員数を更に増加させることを目指し、目標値を設定。

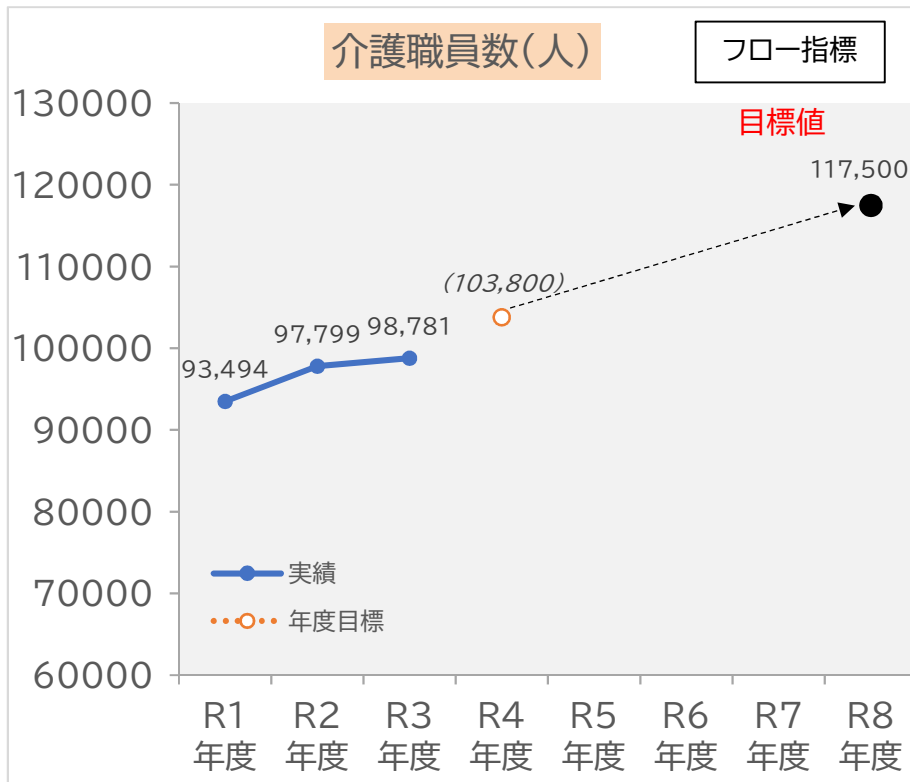
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は策定時と同値である。
- 新卒訪問看護師の育成体制の有無について、令和4年度アンケート調査の結果、回答施設の66.4%が「育成体制がない」と回答している。育成体制の有無は、訪問看護職員の定着に影響すると考えられ、訪問看護師育成プログラム研修事業や訪問看護師育成事業補助金等で育成支援を行ったことにより、就業者数増加の要因になっていると考えられる。
- 訪問看護師育成プログラム研修や訪問看護師育成事業補助金等で訪問看護職員の定着、就業者数増加に向けた支援を継続していく。

# 針路3 施策12 介護人材の確保・定着対策の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
24. 介護職員数	人	93,494 (R1年度)	98,781 (R3年度)	- (-)	-	-	117,500 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

介護施設・事業所に勤務する介護職員数。  
国の介護人材需給推計方法に基づいて算出した令和7年度の必要介護職員数(114,644人)を踏まえ、更に介護職員数を増加させることを目指し、目標値を設定。

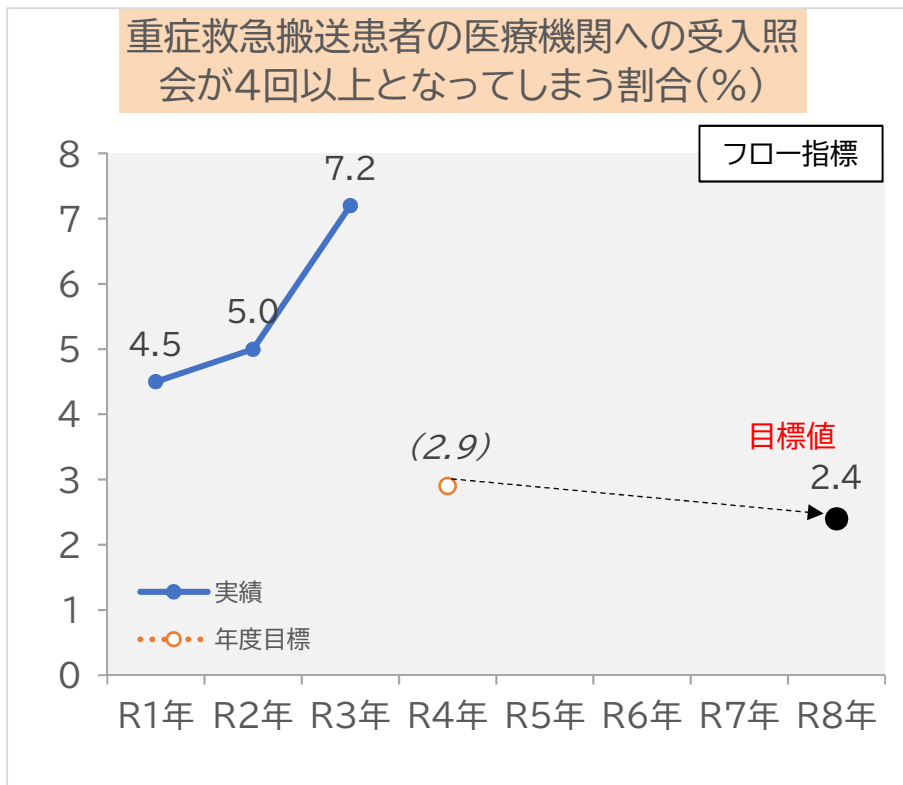
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 介護職員しっかり応援プロジェクトや介護未経験者等への就労支援に取り組んだことにより、計画策定時より増加している。
- 令和5年度からは「埼玉の介護の魅力プロモーション事業」を新たに開始し、取組を強化する。また、職員の資格取得支援やキャリアに応じた研修を実施するとともに、介護ロボットやICTの導入によって介護現場の生産性の向上を図ることで、職員の定着につなげる。

## 針路3 施策13 地域医療体制の充実

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
25. 重症救急搬送患者の医療機関への受入照会が4回以上となってしまう割合	%	4.5 (R1年)	7.2 (R3年)	- (-)	-	-	2.4 (R8年)



#### ≪ 指標の説明 ≫

重症以上の救急搬送患者のうち、医療機関への受入照会が4回以上となった患者の割合。  
直近の全国平均である2.4%(令和元年)を下回ることを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

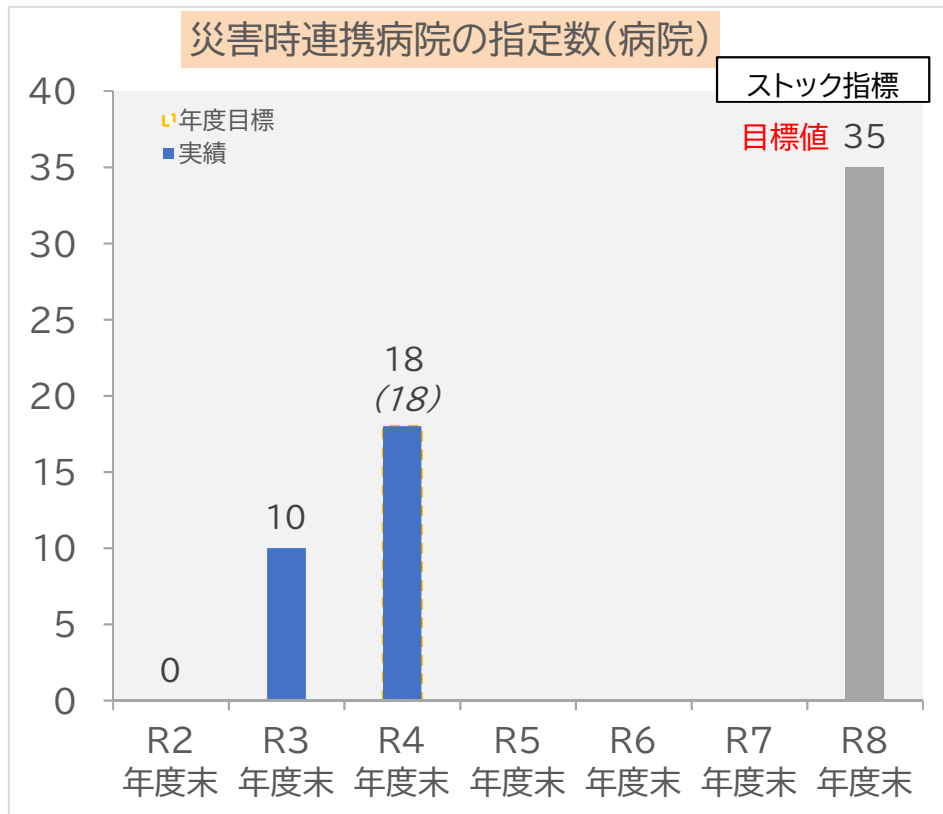
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 新型コロナウイルス感染症拡大や高齢化等による救急搬送件数の増加に加え、発熱患者の受入など受入体制が通常時と異なったこともあり、策定値より後退した。
- 引き続き、救急搬送体制の強化、受入医療機関の整備、適正受診の推進の3本柱を取り組んでいく。



# 針路3 施策13 地域医療体制の充実

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
26. 災害時連携病院の指定数	病院	0 (R2年度末)	18 (R4年度末)	18 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	35 (R8年度末)



### ≪ 指標の説明 ≫

災害時に災害拠点病院と連携し、中等症患者などを受け入れる病院の指定数。

災害拠点病院(令和2年度末22病院)と円滑に連携できる体制の確立及び地域偏在の解消を目指し、目標値を設定。

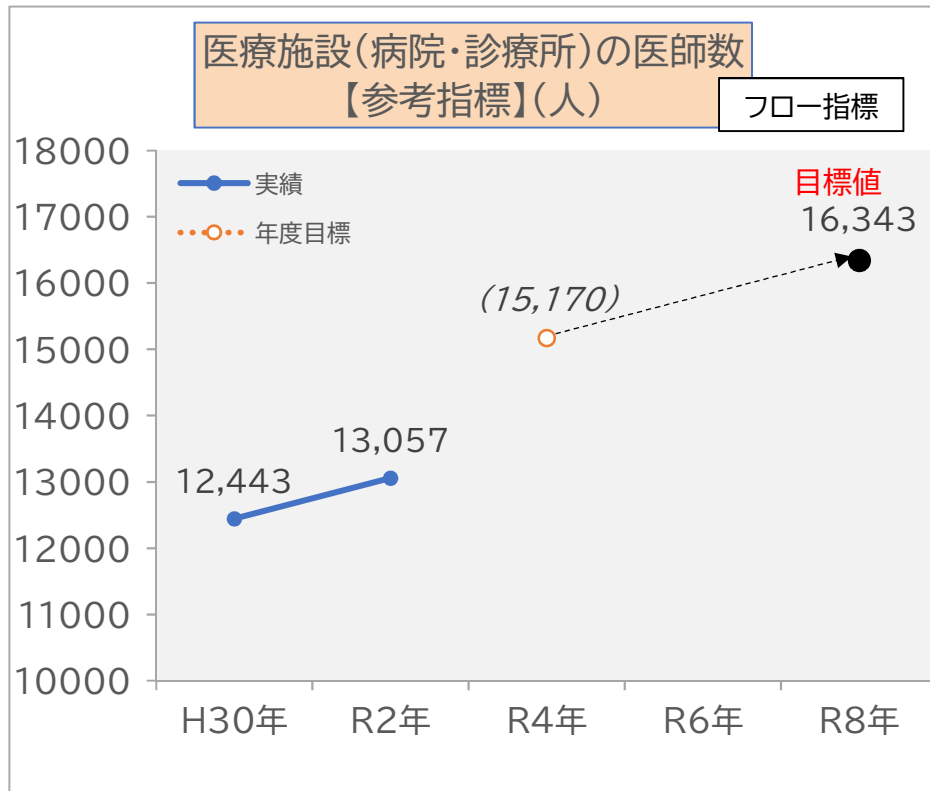
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 埼玉独自DMAT養成研修等の支援を行い、令和4年度に新たに8病院を災害時連携病院に指定し、年度目標を達成した。
- 今後も引き続き協力病院の確保に努めるとともに、埼玉独自DMAT養成研修等を実施し、災害時連携病院の増加を図る。

# 針路3 施策14 医師・看護師確保対策の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
27. 医療施設(病院・診療所)の医師数【参考指標】	人	12,443 (H30年)	13,057 (R2年)	- (-)	-	-	16,343 (R8年)



### ≪ 指標の説明 ≫

医療施設に従事する医師数。  
 医師確保の取組により、本県の人口10万人当たり医師数(平成30年169.8人)について、社会・経済的条件が近似する千葉県、神奈川県、埼玉県の3県の近年の増加傾向を踏まえた平均値(令和8年223.3人)に達することを目指し、目標値を設定。  
 ※目標値を達成するために必要な医師数は3,900人(人口換算により算出)。

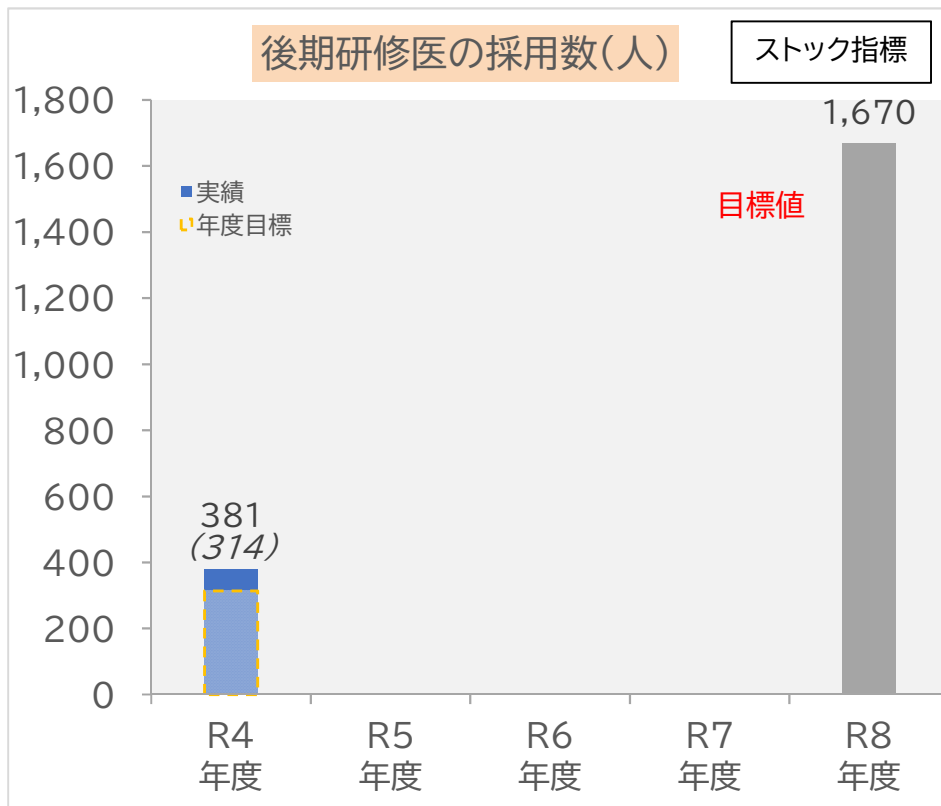
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 奨学金等の貸与やガイドブックの作成、合同説明会の実施等の取組を行ったことにより、目標値に向けて着実に増加している。
- これまでの取組に加え、医学生奨学金の貸与枠の増枠や、県内の専門研修プログラムをPRするための特設WEBサイトを構築する等の取組を行い、県内医師数の更なる増加、定着を図る。

# 針路3 施策14 医師・看護師確保対策の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
28. 後期研修医の採用数	人	— (—)	381 (R4年度)	314 (R4年度)	121.3%	年度目標達成	1,670 (R4～R8年度の累計)



### ◀ 指標の説明 ▶

専門研修基幹病院において採用された後期研修医の人数。  
「第7次埼玉県地域保健医療計画」における令和5年度の目標値(333人)を踏まえ、更に後期研修医の採用数を増加させることを目指し、目標値を設定。

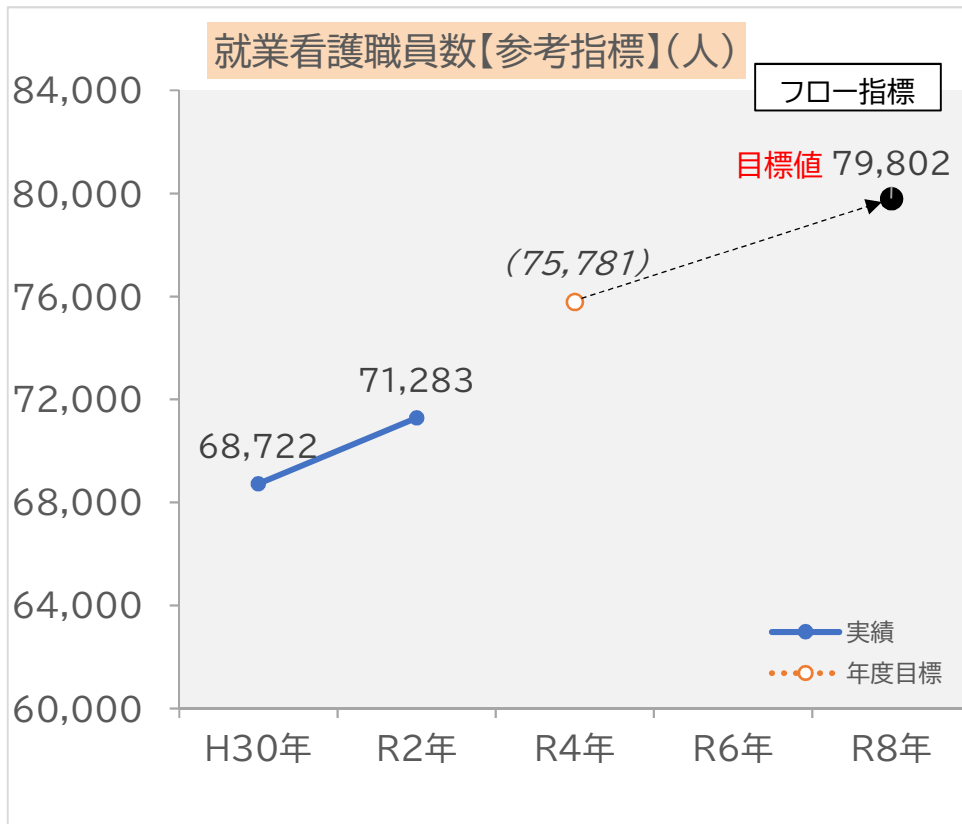
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 後期研修医の県内医療機関への誘導・定着を促進するため、後期研修を県内病院で受講してもらえるよう、専門研修プログラムガイドブックの作成や、病院合同説明会の開催などによりPRしてきたことにより、後期研修医の採用者数は着実に増加してきている。
- 特設WEBサイトを構築し、県内の専門研修プログラムごとの特徴や本県で研修を受講する魅力を通年で効果的にPRすることで、更なる後期研修医の確保を図る。

## 針路3 施策14 医師・看護師確保対策の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
29. 就業看護職員数【参考指標】	人	68,722 (H30年)	71,283 (R2年)	- (-)	-	-	79,802 (R8年)



#### ≪ 指標の説明 ≫

保健師、助産師、看護師、准看護師の免許を取得している者のうち就業しているものの人数。

国の供給推計方法に基づいて算出した令和7年の看護職員の供給推計が78,416人であることを踏まえ、看護職員数を更に増加させることを目指し、目標値を設定。

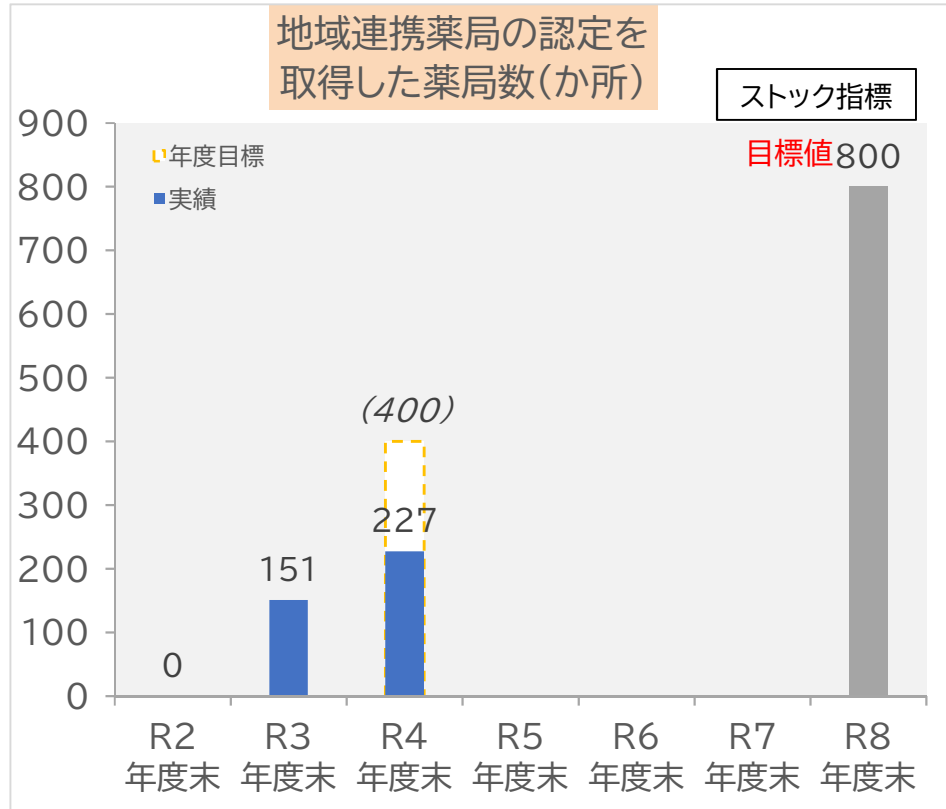
#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 看護学生への支援や新人看護職員の定着支援、潜在看護職員の復職定着支援などに取り組み、看護職員の確保を図ってきたが県内看護職員の離職率が13.3%であり、全国平均(11.6%)より高く定着に課題がある。
- 看護学生への支援や新人看護職員の定着支援、潜在看護職員の復職定着支援などに取り組み、看護職員の確保を図る。令和5年度からは潜在看護職員の復職定着支援を行うナースセンターの機能を強化することでより潜在看護職員の復職を促進する。

# 針路3 施策15 医薬品などの適正使用の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
30. 地域連携薬局の認定を取得した薬局数	か所	0 (R2年度末)	227 (R4年度末)	400 (R4年度末)	56.8%	策定時より改善	800 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

かかりつけ薬剤師・薬局のうち、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく地域連携薬局の認定を取得した薬局数。

日常生活圏域(中学校区)において、患者が自身に適した地域連携薬局を選択できるよう、公立中学校(令和3年度416校)の数を2倍した数を目安に、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

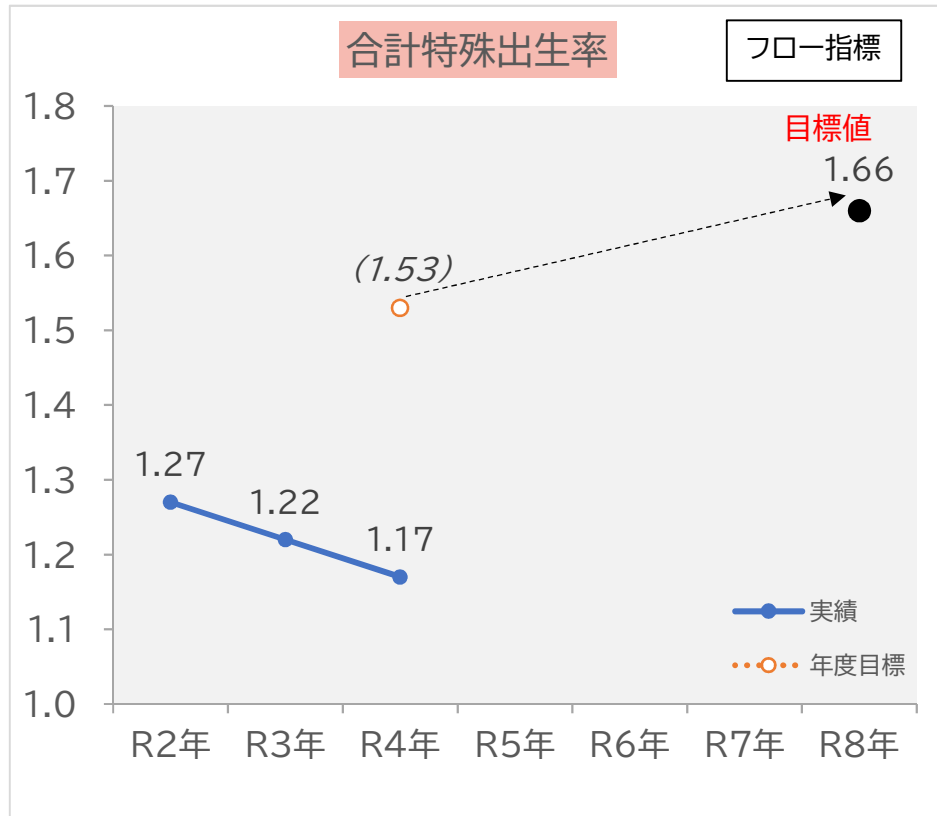
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 県ホームページ、リーフレット、研修会を活用し地域連携薬局の制度を薬局関係者に周知したものの、認定薬局への理解が十分でないことや認定申請書の添付書類作成の困難度が高いこと及びコロナウイルス感染症のため新制度に対応する余裕が薬局になかったことにより年度目標に至らなかった。
- 県ホームページや啓発資材に地域連携薬局に関する制度概要等を掲載及び県薬剤師会と連携し多くの薬局関係者が参加する研修会での説明による周知の取組を進めていく。

# 針路4 施策16 きめ細かな少子化対策の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
31. 合計特殊出生率	-	1.26 (R2年)	1.17 (R4年)	1.53 (R4年)	76.5%	策定時より後退	1.66 (R8年)

※令和2年埼玉県の人口動態概況(概数)。確定値は1.27。  
 ※最新値の数値は人口動態概況(概数)。



### ≪ 指標の説明 ≫

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む子供の数に相当する。  
 令和12年に県民の希望出生率1.78を実現することを目指し、目標値を設定。

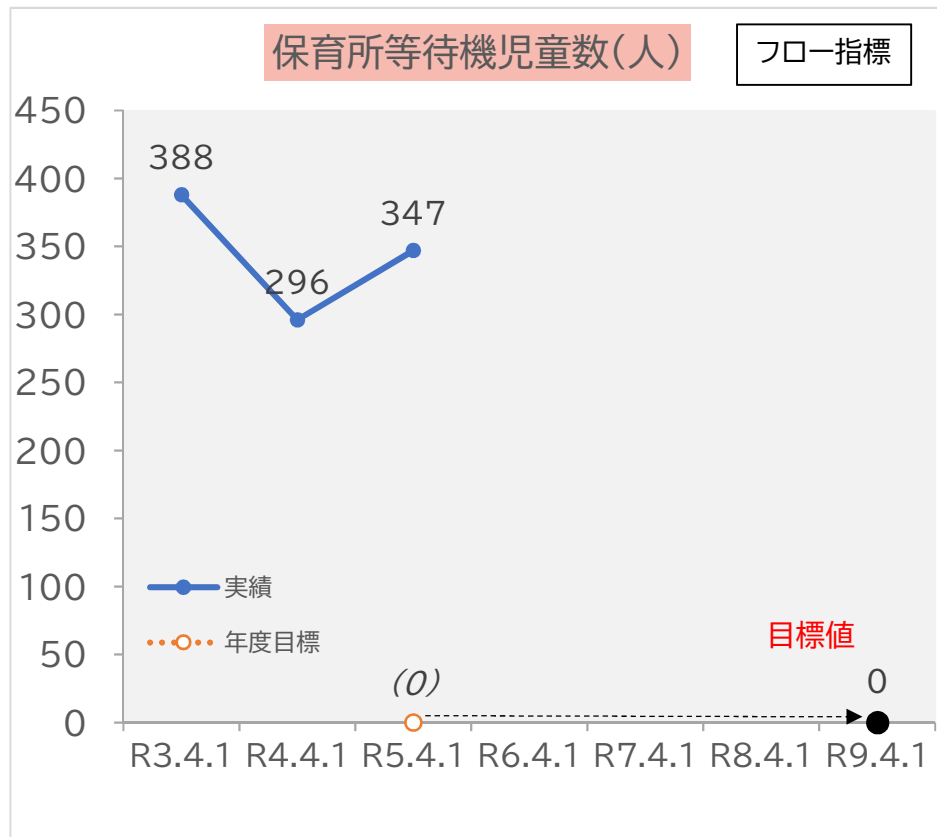
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- これまで、結婚支援や多子世帯支援など結婚・妊娠・出産の段階ごとに支援に取り組んできたが、策定時の値を下回った。要因としては、未婚化の進行やコロナ禍における産み控えの影響などが考えられる。
- 少子化の進行に歯止めをかけるためには、結婚から妊娠・出産、そして子育てまでの切れ目のない支援に加え、経済・雇用、教育、まちづくりなどの幅広い分野にわたって、総合的な取組を継続的に実施していくことが重要であり、引き続き取組を進めていく。

# 針路4 施策17 子育て支援の充実

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
32. 保育所等待機児童数	人	388 (R3.4.1)	347 (R5.4.1)	0 (R5.4.1)	0.0%	策定時より改善	0 (R9.4.1)



### ≪ 指標の説明 ≫

保育の必要性の認定を受け、保育所等の利用の申込みがされているが、利用できていない人数(特定の保育所等への希望や育児休業延長の意思の確認ができた者などを除く)。  
計画期間中は常に待機児童がいない状態を目指し、目標値を設定。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

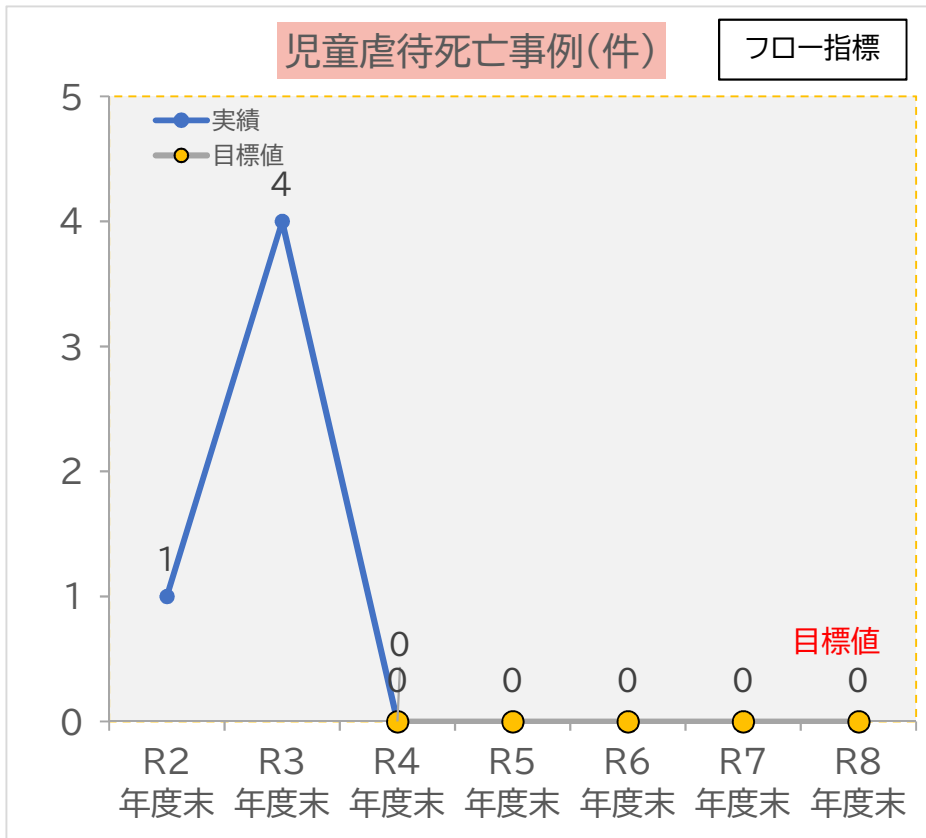
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 保育サービスの充実・拡大に取り組み、受入枠が拡大したものの、保育所等申込者の増加等の影響もあり、年度目標に及ばなかった。
- 待機児童数ゼロに向けて小規模保育事業の活用など、地域の実情に応じた対策を市町村に働きかけていく。



# 針路4 施策18 児童虐待防止・社会的養育の充実

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
33. 児童虐待死亡事例	件	4 (H28~R2年度)	0 (R4年度末)	0 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	0 (R4~R8の各年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

児童虐待により死亡に至った事例の数。  
虐待による死亡事例を根絶するため、毎年度死亡事例を発生させないことを目指し、目標値を設定。

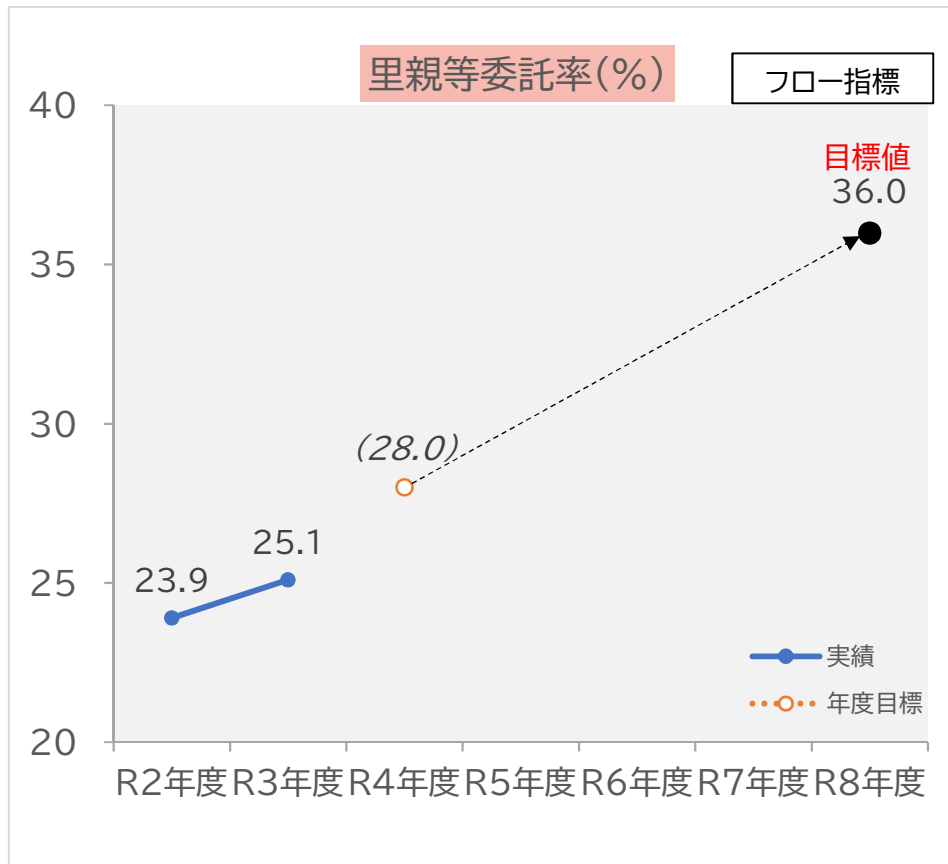
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 児童虐待防止に関する普及啓発、通告や相談窓口の周知、市町村職員への研修の実施等により、虐待の発生予防及び早期発見に努めた。児童相談所の体制強化等により、児童虐待対応の強化を図った。あわせて、再発防止対策に取り組み、市町村や関係機関への共有も図った。
- 引き続き、普及啓発、通告や相談窓口の周知、児童相談所の体制強化、関係機関との連携及び児童虐待重大事例検証委員会の提言を踏まえた取組等を着実に実施し、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応に努めていく。

# 針路4 施策18 児童虐待防止・社会的養育の充実

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
34. 里親等委託率	%	23.9 (R2年度)	25.1 (R3年度)	— (—)	—	—	36.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

社会的養育が必要な児童のうち、里親等(里親及びファミリーホーム)において養育されている児童の割合。  
「埼玉県子育て応援行動計画」における令和6年度の目標値(32%)を踏まえ、里親等委託率を更に向上させることを目指し、目標値を設定。

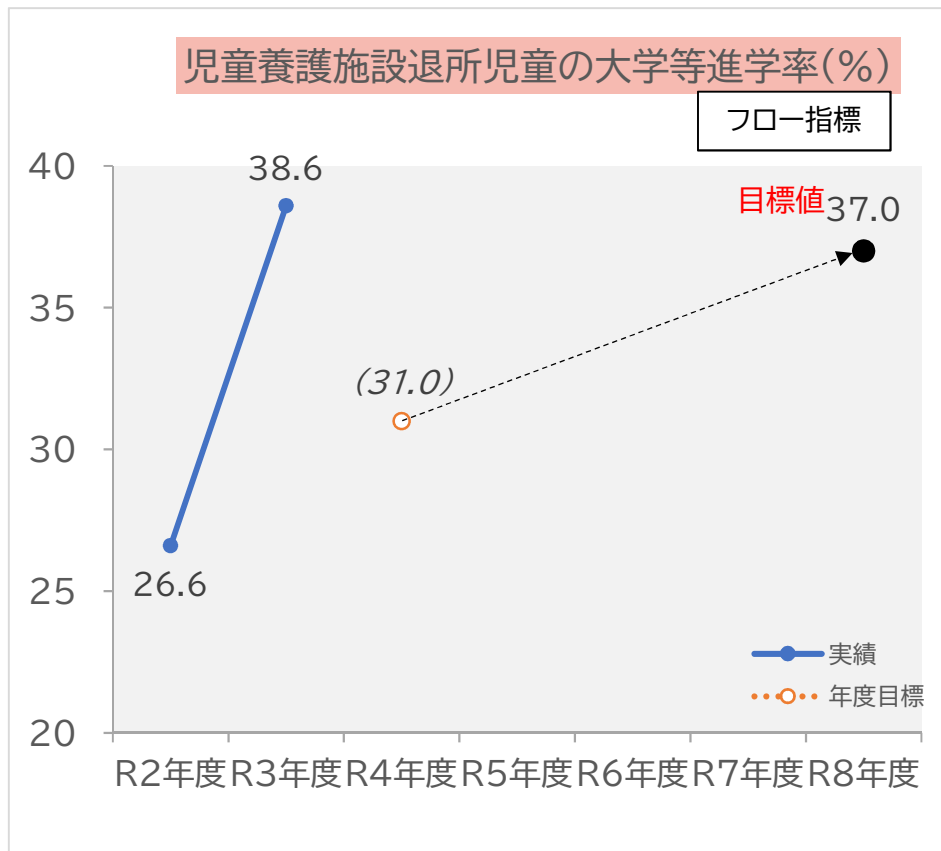
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 要保護児童は虐待等により心に傷を負った児童で、施設において専門的なケアを必要とする児童が多く里親委託に結びつけるのが困難であった。
- 里親養育包括支援事業に児童福祉施設と連携して取り組むなど、民間のノウハウを活用して里親制度の普及、里親の新規開拓、里親委託の拡大に取り組む。県里親会と連携し、未委託里親に対する研修や里親委託前後の支援をきめ細かく行い、里親の養育技術の向上と孤立化の防止に取り組む。

# 針路4 施策18 児童虐待防止・社会的養育の充実

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
35. 児童養護施設退所児童の大学等進学率	%	26.6 (R2年度)	38.6 (R3年度)	- (-)	-	-	37.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

児童養護施設を退所した高等学校卒業児童のうち、高等教育機関(大学・短期大学、高等専門学校及び専門学校)へ進学した者の割合。「埼玉県子育て応援行動計画」における令和6年度の目標値(35%)を踏まえ、毎年着実に進学する児童を増やすことを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

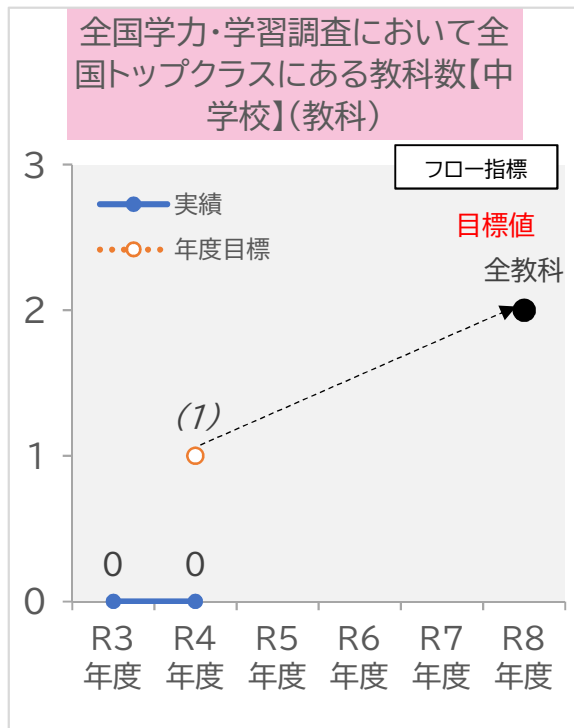
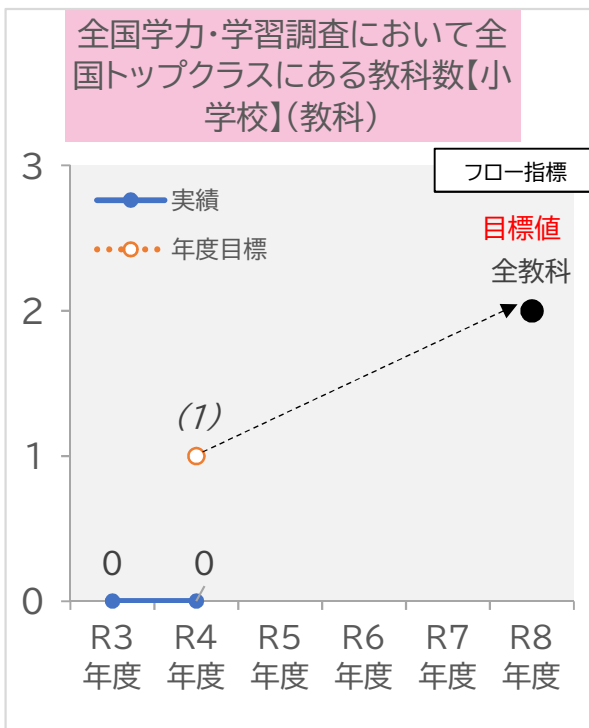
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 学習経費の補助や、希望の家における進学者への支援、自立支援資金の貸付を行うことで計画策定時より上昇している。
- 学習経費や受験料などの補助を引き続き行い、大学等への進学を支援する。

# 針路5 施策19 確かな学力と自立する力の育成

## 施策指標の進捗状況

※総合的な進捗状況は次頁「埼玉県学力・学習状況調査において学力を伸ばした児童生徒の割合」と一体として評価する。

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
36. 学力・学習状況調査における学力状況 ●全国学力・学習状況調査において全国トップクラスにある教科数	教科	小学校 0 中学校 0 (R3年度)	小学校 0 中学校 0 (R4年度)	小学校 1 中学校 1 (R4年度)	0.0% 0.0%	策定時から横ばい	全教科 全教科 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率(公立)を1ポイント以上上回った教科数(調査を毎年行う国語、算数・数学に限る)。

全国学力・学習状況調査の毎年調査を行う小・中学校全ての教科(各2教科)において、全国平均正答率を1ポイント以上上回ることによって全国トップクラスになることを目指し、目標値を設定。

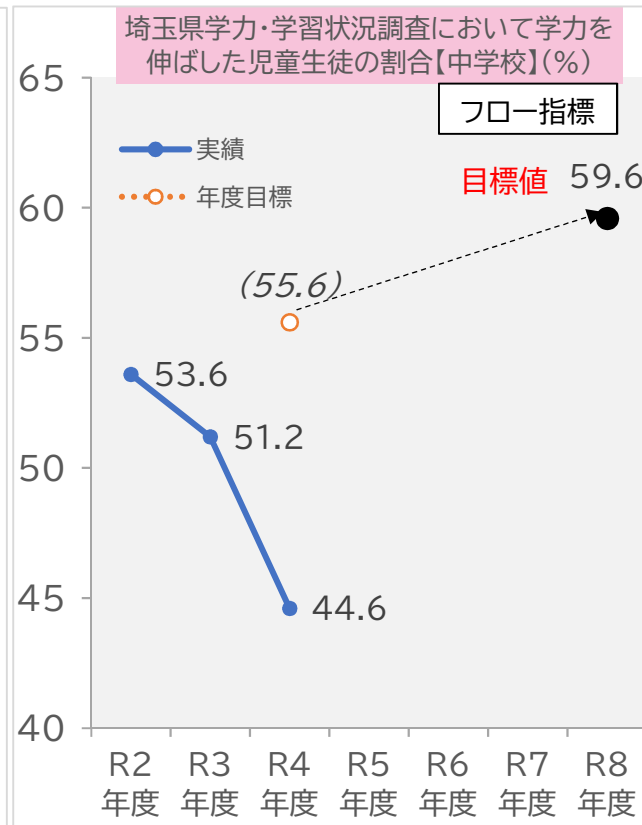
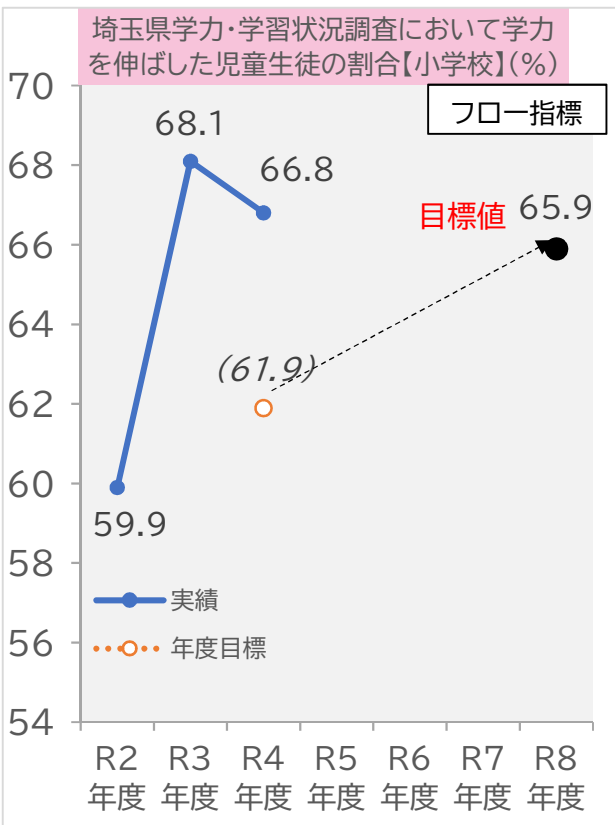
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画策定時と同水準で改善しておらず、目標値達成に向け一層の努力を要する。
- これまでの調査の分析結果から、「主体的・対話的で深い学び」の実践が、児童生徒の非認知能力などの向上を通じて、学力の向上につながることが分かっている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が図られてきているものの十分でない。
- 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研修プログラム」の活用を促すなど、教員の授業改善につなげる取組を継続していく。

# 針路5 施策19 確かな学力と自立する力の育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	(年度目標比)	進捗状況	最終目標値
36. 学力・学習状況調査における学力状況 ● 埼玉県学力・学習状況調査において学力を伸ばした児童生徒の割合	%	小学校 59.9 中学校 53.6 (R2年度)	小学校 66.8 中学校 44.6 (R4年度)	小学校 61.9 中学校 55.6 (R4年度)	107.9% 80.2%	策定時より後退	小学校 65.9 中学校 59.6 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

埼玉県学力・学習状況調査において、小学校4年生から6年生まで及び中学校1年生から中学校3年生までの2年の間に、国語及び算数・数学の学力を36段階中4段階以上伸ばした児童生徒の割合。  
埼玉県学力・学習状況調査において、学力を36段階中4段階伸ばした児童生徒の割合を5年間で5ポイント高めることを目指し、目標値を設定。

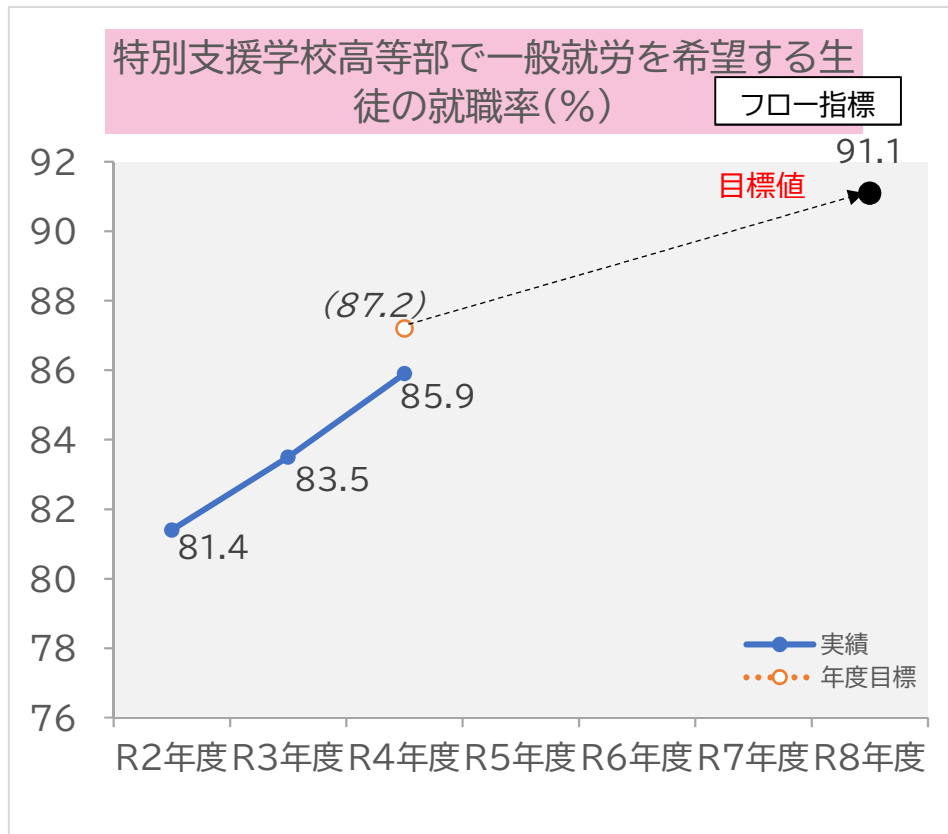
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。(小学校:年度目標達成、中学校:策定時より後退)
- 小学校については、市町村や学校の学力向上に関する取組の成果が現れている一方で、中学校については、中位層に伸び悩みが見られている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が十分でないことなどが原因と考えられる。
- 「主体的・対話的で深い学び」は、中位層を伸ばすためにも有効であることから、学習状況に応じて教科指導の充実を図るとともに「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研修プログラム」の活用を促すなど、学力向上の取組を継続していく。

# 針路5 施策19 確かな学力と自立する力の育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
37. 特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率	%	81.4 (R2年度)	85.9 (R4年度)	87.2 (R4年度)	98.5%	策定時より改善	91.1 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県立特別支援学校高等部の生徒のうち、一般就労を希望した生徒が卒業する時点で一般就労できた割合(内定を含む)。

過去5年間(平成28年度～令和2年度)の平均就職率(81.1%)を今後5年間で10ポイント高めることを目指し、目標値を設定。

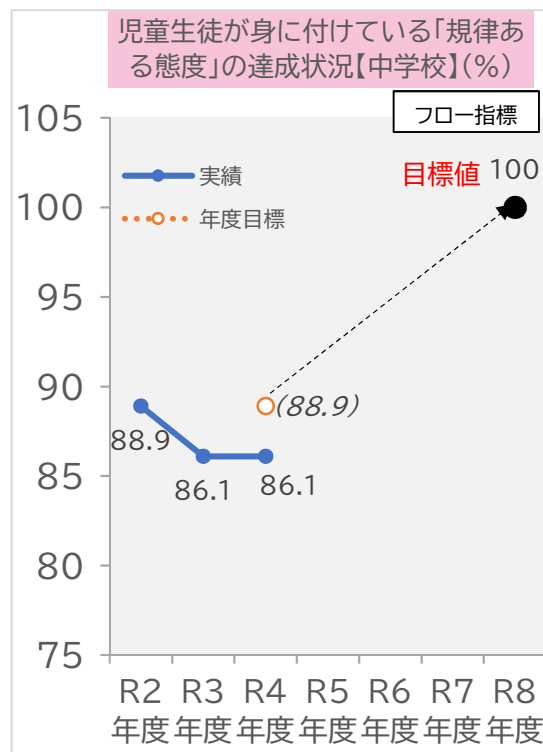
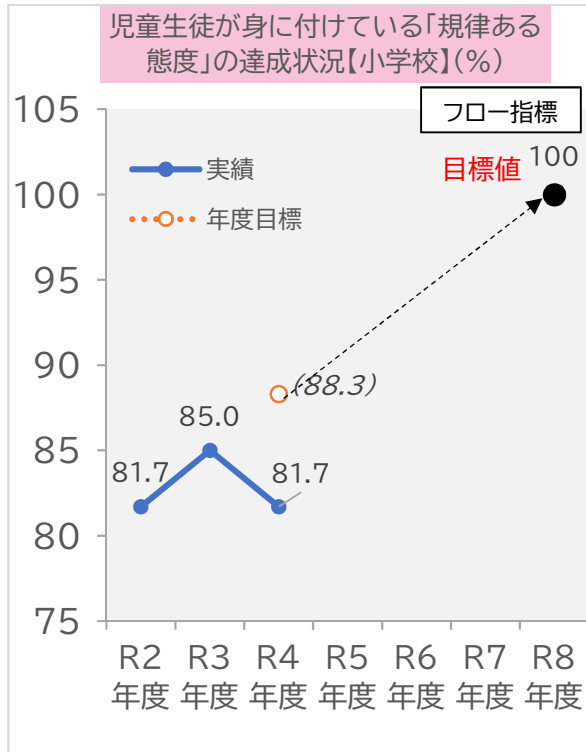
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 障害者を雇用する際は現場実習を経るケースが一般的であるため、雇用を希望する企業に働き掛け、5件の実習先を開拓した結果、策定時より数値は上昇したものの、コロナ拡大の影響により停滞した企業の採用活動がまだ回復途上にあることから、年度目標を下回った。
- 引き続き各特別支援学校に就労支援アドバイザーを配置し、民間等の知見を活用するとともに、埼玉県内経済6団体等関係機関と連携を強化し、実習先の開拓に努め、特別支援学校高等部生徒の更なる就労率向上を図る。

# 針路5 施策20 豊かな心と健やかな体の育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
38. 児童生徒が身に付けている「規律ある態度」の達成状況	%	小学校 81.7 中学校 88.9 (R2年度)	小学校 81.7 中学校 86.1 (R4年度)	小学校 88.3 中学校 88.9 (R4年度)	92.5% 96.9%	策定時より後退	小学校 100 中学校 100 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県が設定した「規律ある態度」(各学年12項目)のうち、小学校2年生から中学校3年生までの8割以上が身に付けている項目の割合。「規律ある態度」の全ての項目について、児童生徒の8割以上が達成できれば規律ある態度が身に付き、基本的な生活・学習習慣の改善が期待できることを踏まえ、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

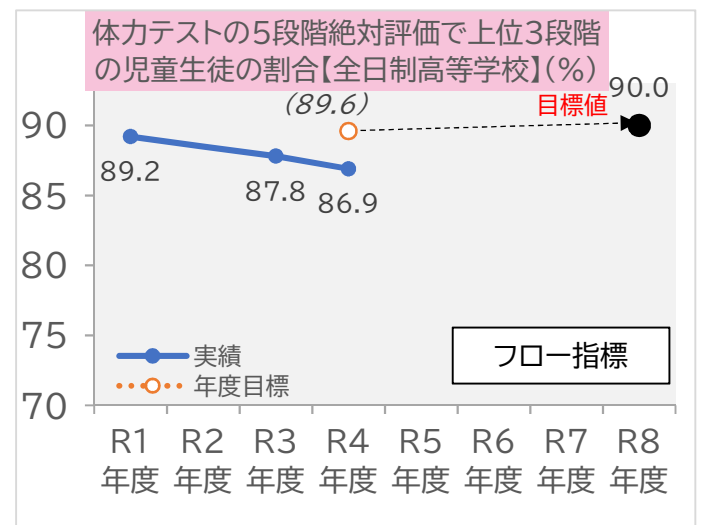
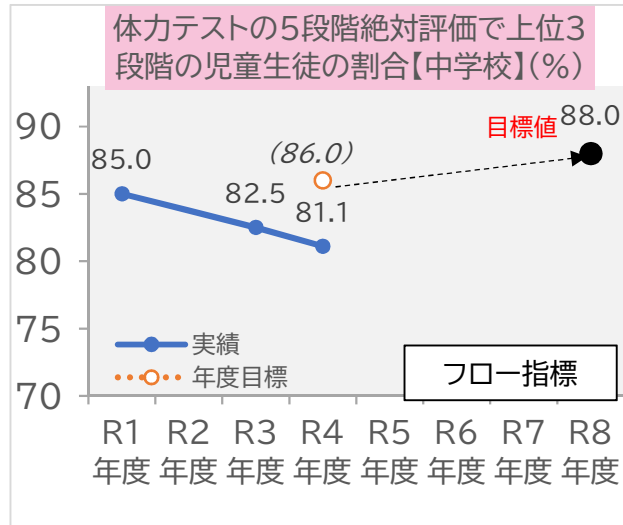
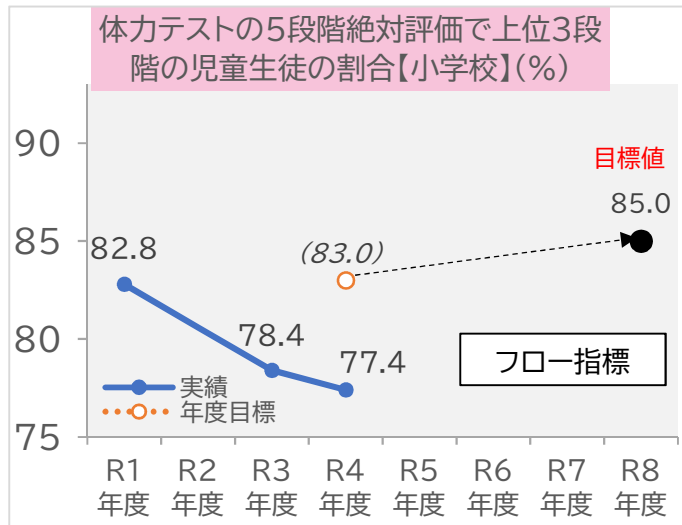
- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。(小学校は策定時と同じ値となっている。)
- 小・中学校ともに、「整理整頓」や「話を聞き、発表する」など、身に付けさせたい学習の決まりや行動の仕方について、8割を下回った学年が増加している。
- これらの課題を踏まえ、指導用リーフレットの改訂や道徳教育研究協議会を通じて、教師の支援によって児童生徒が「規律ある態度」が身に付いたことを実感できるよう努めていく。



# 針路5 施策20 豊かな心と健やかな体の育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
39. 体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童生徒の割合	%	小学校 82.8 中学校 85.0 全日制高等学校 89.2 (R1年度)	小学校 77.4 中学校 81.1 全日制高等学校 86.9 (R4年度)	小学校 83.0 中学校 86.0 全日制高等学校 89.6 (R4年度)	93.3% 94.3% 97.0%	策定時より後退	小学校 85.0 中学校 88.0 全日制高等学校 90.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

各学校で実施している体力テストの各種目の記録を得点化し、その合計を5段階絶対評価した上位3段階に入る児童生徒の割合。

上位3段階に入る児童生徒の割合の過去最高値(小学校 83.7%、中学校 86.4%、全日制高等学校 89.5%)を上回ることを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

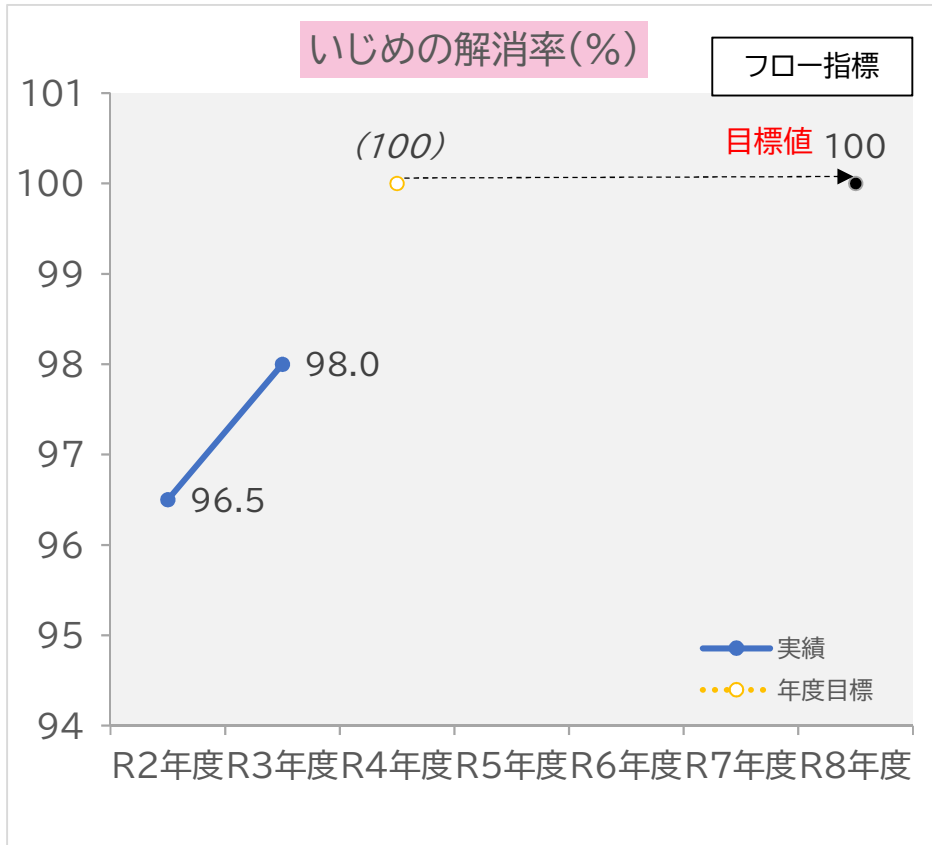
- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、令和4年度においても令和元年度以前に比べて球技大会などの体育的行事が減少している学校が多く、策定時を下回った要因と考えられる。
- 児童生徒が自分の健康や体力に関心を持ち、主体的に運動に取り組むことが重要であるため、「運動好きな児童生徒育成検討委員会」でまとめた効果的な取組の実践について、各学校や市町村に働き掛けていく。

# 針路5

## 施策21 多様なニーズに対応した教育の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
40. いじめの解消率	%	96.5 (R2年度)	98.0 (R3年度)	- (-)	-	-	100 (R8年度)



#### ◀ 指標の説明 ▶

県内公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数のうち、解消された件数の割合。

一人一人の児童生徒にとって明るく安心して学べる学校であるために、認知したいじめを全て解消することを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

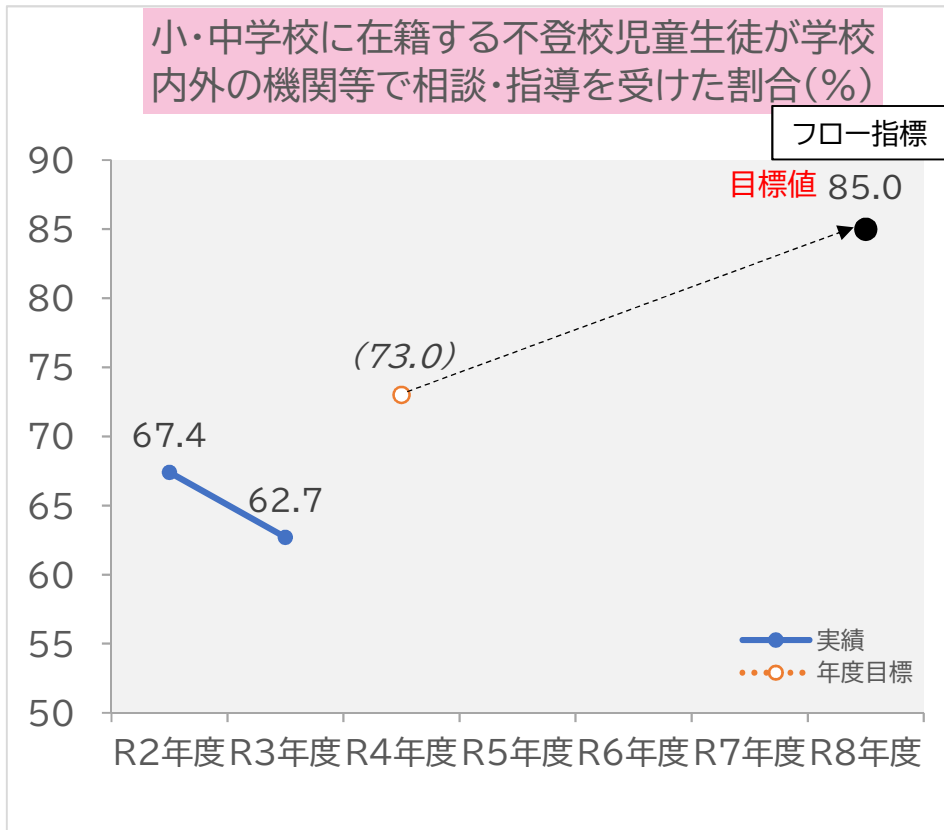
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 重大な事態に至らないよう初期段階から積極的に対応することについて、時機を捉えて呼び掛け等を行った結果、学校現場において丁寧な対応が取られたことなどにより、計画策定時より改善が図られた。
- 各学校に対し、アンケート調査の活用などいじめを打ち明けやすい雰囲気づくりに努めるよう周知を継続する。いじめが疑われる初期段階からの組織的な対応については、スクールカウンセラー等の専門職の活用や関係機関等との具体的な連携事例の周知などにより、教育相談体制の充実を図る。

# 針路5

## 施策21 多様なニーズに対応した教育の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
41. 小・中学校に在籍する不登校児童生徒が学校内外の機関等で相談・指導を受けた割合	%	67.4 (R2年度)	62.7 (R3年度)	- (-)	-	-	85.0 (R8年度)



#### ≪ 指標の説明 ≫

教育支援センターなど学校外における機関等で相談・指導を受けた、もしくは、学校内において養護教諭やスクールカウンセラーなどによる専門的な相談・指導を受けた公立小・中学校の不登校児童生徒の割合。

過去最高値(平成29年度84.6%)を上回ることを目指し、目標値を設定。

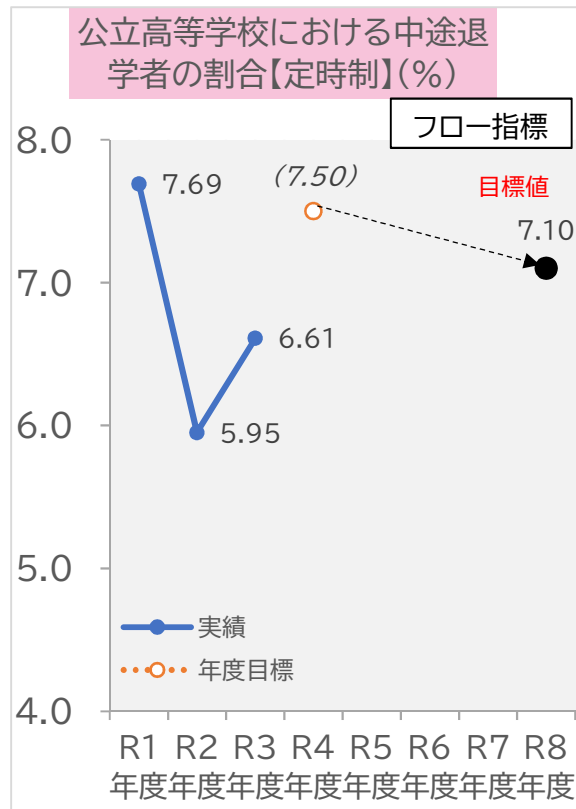
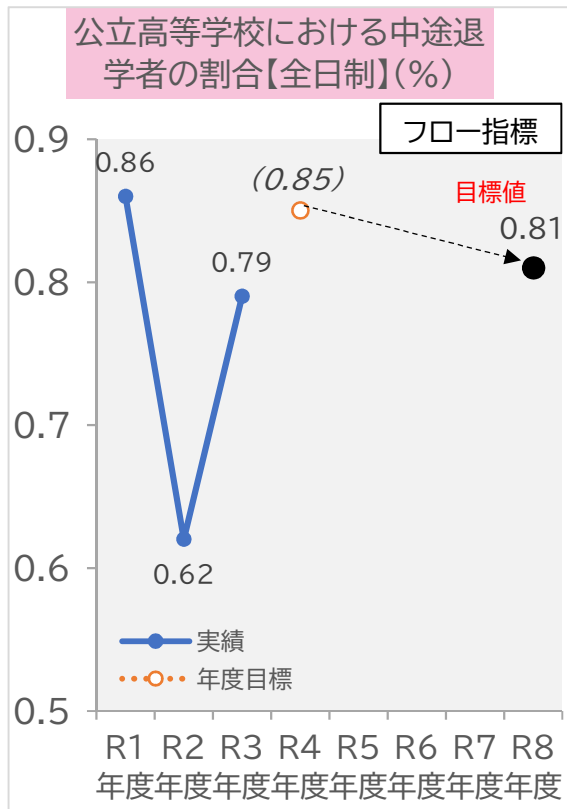
#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- スクールカウンセラー等の専門人材の配置拡充や、不登校児童生徒及びその保護者を対象とした個別相談会の実施などに取り組んでいるものの、不登校児童生徒数が大幅に増加する中、計画策定時より数値が下降した。
- 学校内においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職の活用が図られるよう教職員の理解向上に引き続き取り組むとともに、令和5年度は小学校及び高等学校へのスクールカウンセラーの配置拡充を行い、教育相談体制の充実に努める。

# 針路5 施策21 多様なニーズに対応した教育の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
42. 公立高等学校における中途退学者の割合	%	全日制0.86 定時制7.69 (R1年度)	全日制0.79 定時制6.61 (R3年度)	— — (—)	— —	—	全日制0.81 定時制7.10 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

公立高等学校における全日制・定時制別の中途退学者の割合。  
「第3期埼玉県教育振興基本計画」における令和5年度目標値(全日制 0.84%以下、定時制7.40%以下)を踏まえ、中途退学者の割合を更に減少させることを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

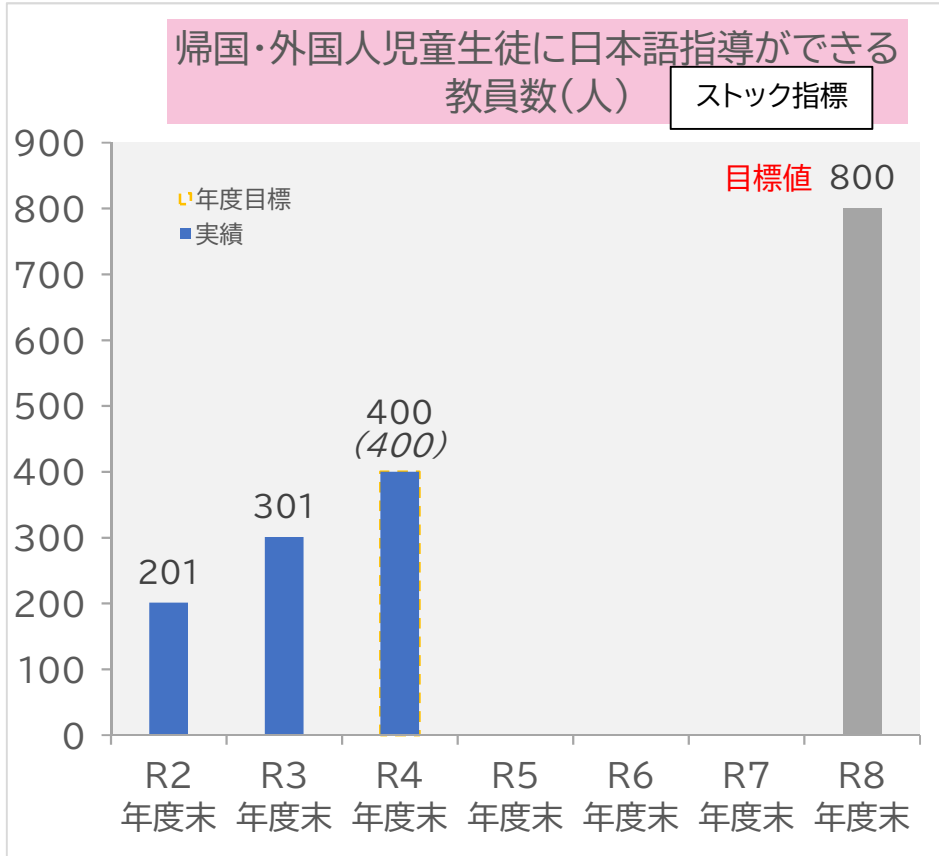
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 中途退学防止に向けた面談指導や家庭訪問、学び直し指導など学校におけるきめ細かい指導の結果、計画策定時を上回る数値となった。
- 令和5年度においては、全日制高校に対するスクールカウンセラーの配置拡充を行い、学校の教育相談体制の更なる充実を図っている。引き続き、学校におけるきめ細かな指導を行うとともに、スクールカウンセラー等の専門家を活用した支援の推進などに取り組む。

# 針路5

## 施策21 多様なニーズに対応した教育の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
43. 帰国・外国人児童生徒に日本語指導ができる教員数	人	201 (R2年度末)	400 (R4年度末)	400 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	800 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

帰国・外国人児童生徒と接するときの心構えや日常生活に必要な日本語の指導に関する研修を受講した小・中学校の教員数。毎年100人以上に対して研修を実施し、日本語指導の指導力が高い教員を増やすことを目指し、目標値を設定。

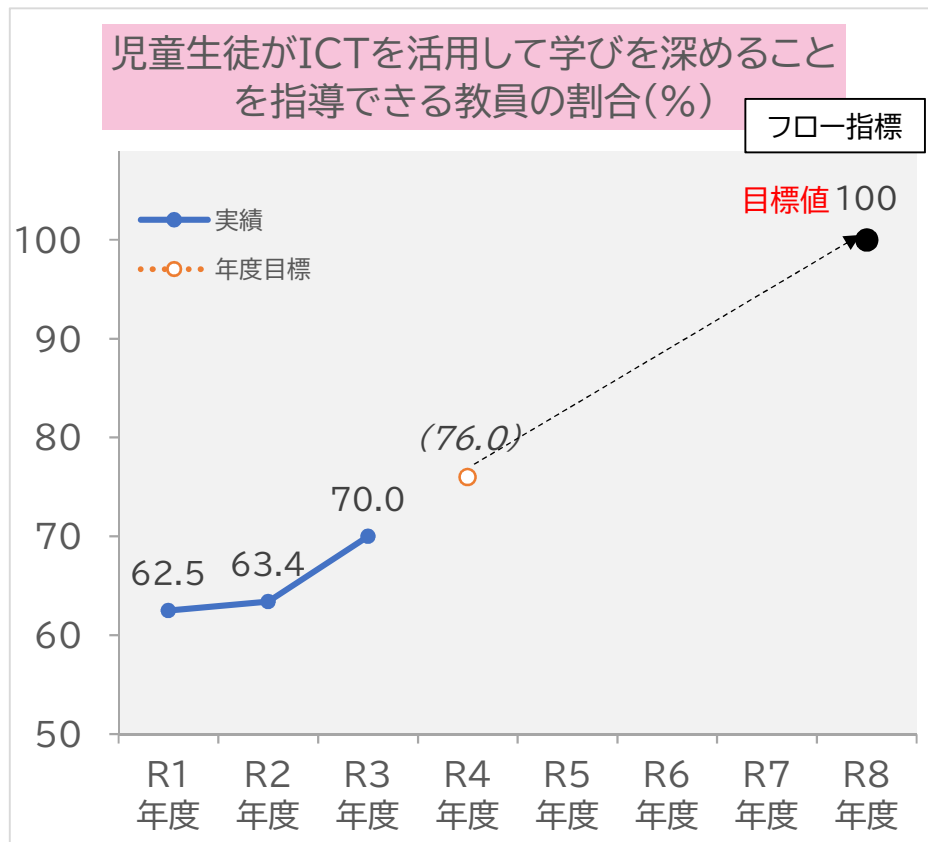
#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 日本語指導に関する研修会を実施し、帰国・外国人児童生徒に日本語指導ができる教員を増やすことができた。
- 引き続き、日本語指導に関する研修会を実施し、日本語指導ができる教員を増やしていく。

# 針路5 施策22 質の高い学校教育の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
44. 児童生徒がICTを活用して学びを深めることを指導できる教員の割合	%	62.5 (R1年度)	70.0 (R3年度)	- (-)	-	-	100 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」において、「児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する」に対して「できる」、「ややできる」と回答した教員の割合。

児童生徒の端末1人1台環境が整備される中で、主体的・対話的で深い学びを実現するため、全ての教員がICTを活用して指導できることを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

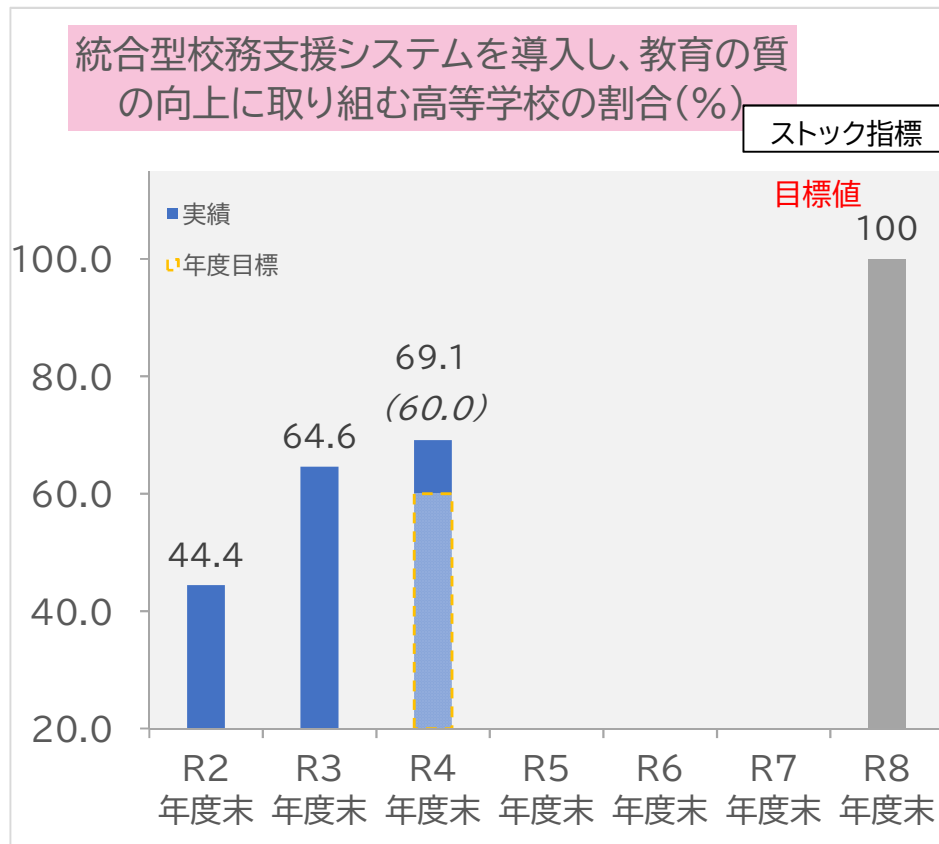
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- ICT活用について教員同士が切磋琢磨するプロジェクトの実施、学校の悩みに寄り添うWeb相談やICT支援員の配置、最新の活用方法などを入手できるポータルサイトの設置などにより、学びを深める手段としてICT活用が促進された。
- 引き続き、これらの取組を通じ、教員を支援していく。

# 針路5

## 施策23 私学教育の振興

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
45. 統合型校務支援システムを導入し、教育の質の向上に取り組む高等学校の割合	%	44.4 (R2年度末)	69.1 (R4年度末)	60.0 (R4年度末)	115.2%	年度目標達成	100 (R8年度末)



#### ≪ 指標の説明 ≫

統合型校務支援システムを導入して、校務の効率化を図り、教育の質の向上に取り組む私立高等学校の割合。  
 全ての私立高等学校において統合型校務支援システムの導入を目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

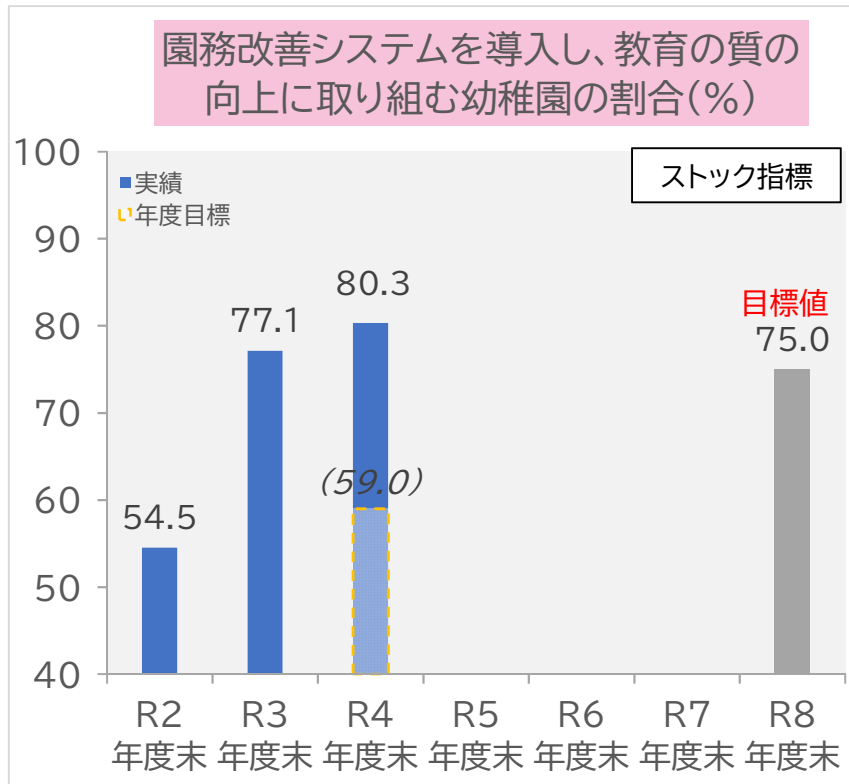
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 私立学校運営費補助金において、統合型校務支援システムの導入や運用の費用に対する配分基準を設定し、補助を実施したことで、私立学校における統合型校務支援システムの新規導入に結びついた。
- 令和5年度以降も引き続き、私立学校運営費補助金において、システム導入や運用の費用に対する補助を実施する。



# 針路5 施策23 私学教育の振興

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
46. 園務改善システムを導入し、教育の質の向上に取り組む幼稚園の割合	%	54.5 (R2年度末)	80.3 (R4年度末)	59.0 (R4年度末)	136.1%	最終目標を上回る	75.0 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

園務改善システムを導入して、園務の効率化を図り、教育の質の向上に取り組む私立幼稚園の割合。

私立幼稚園のうち、今後園務改善システムを導入予定の幼稚園及び導入を進めるべき幼稚園(小規模園等を除く)の割合を踏まえ、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は最終目標値以上の水準にあり、順調に推移している。
- 私立幼稚園ICT化支援補助金において、園務支援システムの導入や運用の費用に対する、補助を実施したことで、私立幼稚園における園務支援システムの新規導入に結びついた。
- 令和5年度以降も引き続き、私立幼稚園ICT化支援補助金において導入や運用の費用に対する補助を実施する。

# 針路5 施策24 家庭・地域の教育力の向上

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
47.「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合	%	42.2 (R2年度)	47.6 (R4年度)	46.0 (R4年度)	103.5%	年度目標達成	54.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。  
 平成29年度から令和2年度までの実績値の伸び(年平均約2ポイント)を踏まえ、同等の伸びを維持することを目指し、目標値を設定。

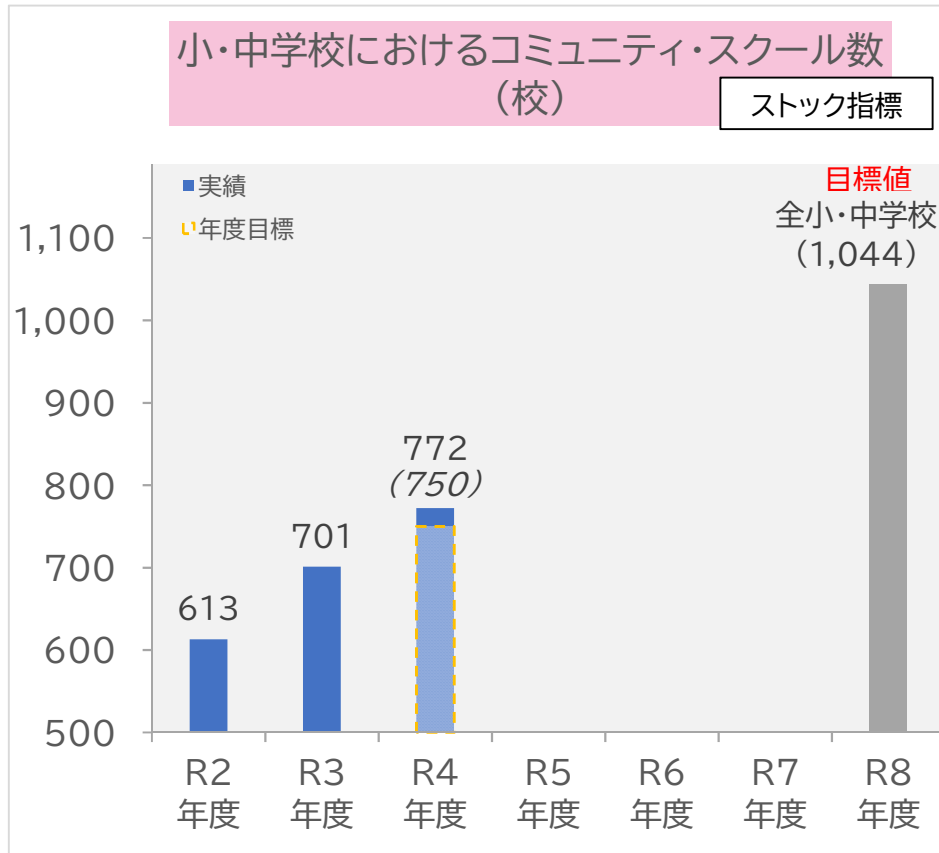
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 研修や事例集により幅広く活動内容の周知を行うなど、市町村の学校応援団活動の支援を行ったことが要因と考えられる。
- 地区別担当者会議や研修の実施とともに、事例集等により幅広く活動内容を周知することで、学校応援団に対する理解増進を図る。こうした取組を通じて、活動の幅の拡充や学校応援団への参加者の増加を図ることで、地域と学校が連携・協働した取組を支援する。

# 針路5 施策24 家庭・地域の教育力の向上

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
48. 小・中学校におけるコミュニティ・スクール数	校	613 (R2年度)	772 (R4年度)	750 (R4年度)	102.9%	年度目標達成	1,044 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

育てたい子供像、目指すべき教育ビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて共に協働する仕組みである学校運営協議会を設置している小・中学校数。

平成29年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、学校運営協議会の設置が努力義務化され、国の「第3期教育振興基本計画」においても、全ての公立学校に学校運営協議会の導入を目指すとしていることを踏まえ、目標値を設定。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 国の補助金を活用した市町村への支援や、研修会や導入事例の紹介などを行った結果、年度目標を達成した。
- 引き続き、コミュニティ・スクール未設置自治体へ直接訪問し、積極的な働き掛けを行っていく。

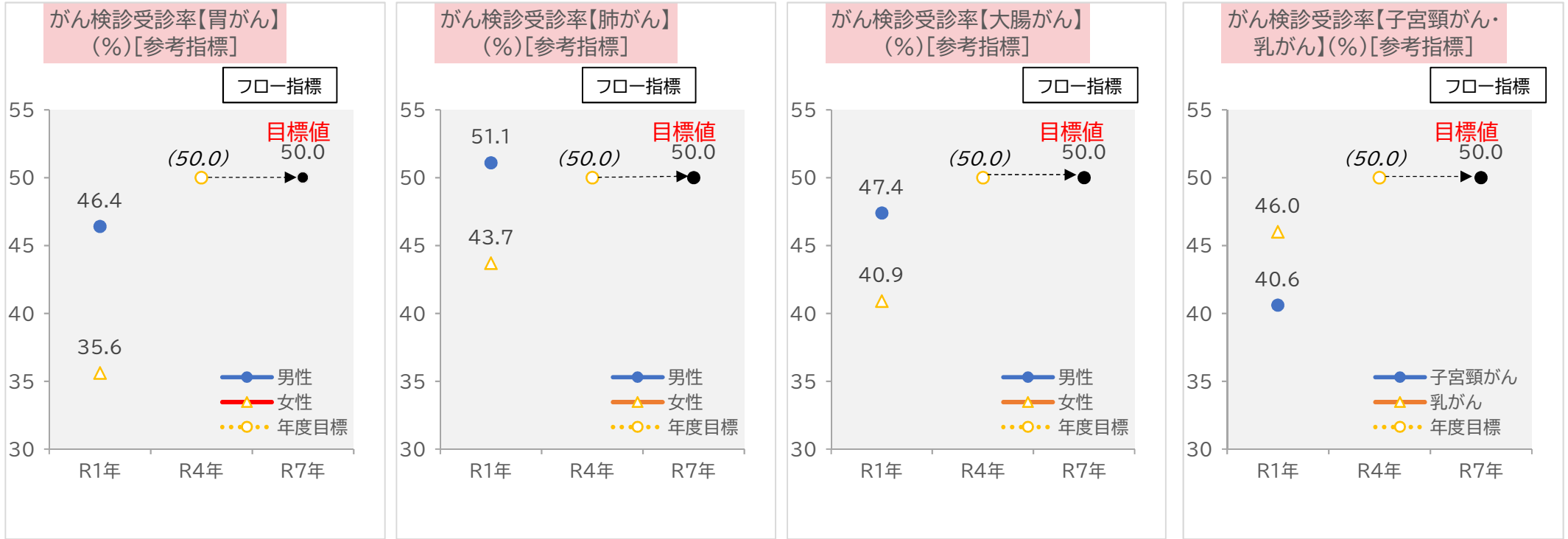
## 針路6 施策25 生涯を通じた健康の確保

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
49. がん検診受診率【参考指標】	%	胃がん男性 46.4	46.4	—	—	—	左記全ての がん種の受 診率50.0
		女性 35.6	35.6				
		肺がん男性 51.1	51.1				
		女性 43.7	43.7				
		大腸がん男性 47.4	47.4				
		女性 40.9	40.9				
		子宮頸がん 40.6	40.6				
		乳がん 46.0	46.0				
		(R1年)	(R1年)	(—)		(R7年)	

# 針路6 施策25 生涯を通じた健康の確保

## 施策指標の進捗状況



### ◀ 指標の説明 ▶

厚生労働省が実施する国民生活基礎調査におけるがん検診受診率。

国の「がん対策推進基本計画」において、がん検診受診率の目標値が50%であることを踏まえ、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

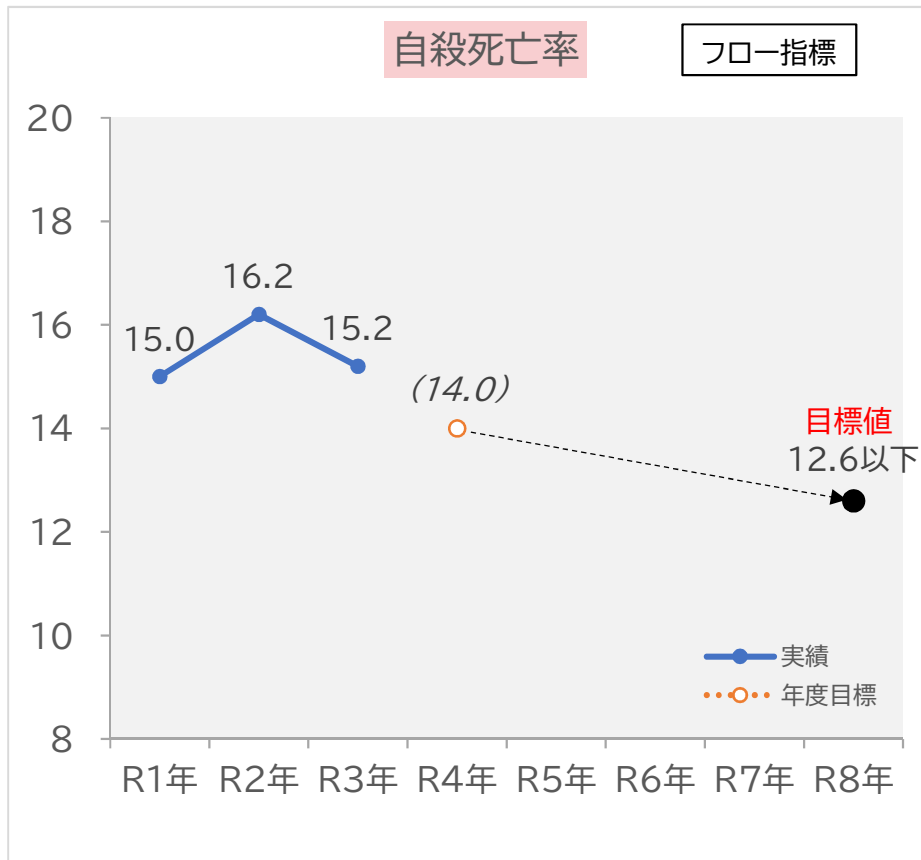
- 最新値は策定時と同値である。
- 特定健診にはがん検診が含まれず、個別に市町村へのがん検診の申し込みが必要であることが要因の1つである。また、令和元年9月公表の内閣府調査では、受診しない理由として、「受ける時間がない」という回答が最も多かった。
- 医師会と連携した、医療機関受診者へのがん検診受診促進リーフレットの配布、市町村がん検診と協会けんぽの特定健診の同時実施に向けた体制整備の促進、企業や住民向けのがん検診サポーターの養成などに引き続き取り組む。

## 針路6

## 施策25 生涯を通じた健康の確保

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
50. 自殺死亡率	-	15.0 (R1年)	15.2 (R3年)	- (-)	-	-	12.6以下 (R8年)



#### ◀ 指標の説明 ▶

人口10万人当たりの自殺者数。  
国の「自殺総合対策大綱」において、自殺死亡率を平成27年から令和8年までに30%以上減少させることを目指していることを踏まえ、目標値を設定。

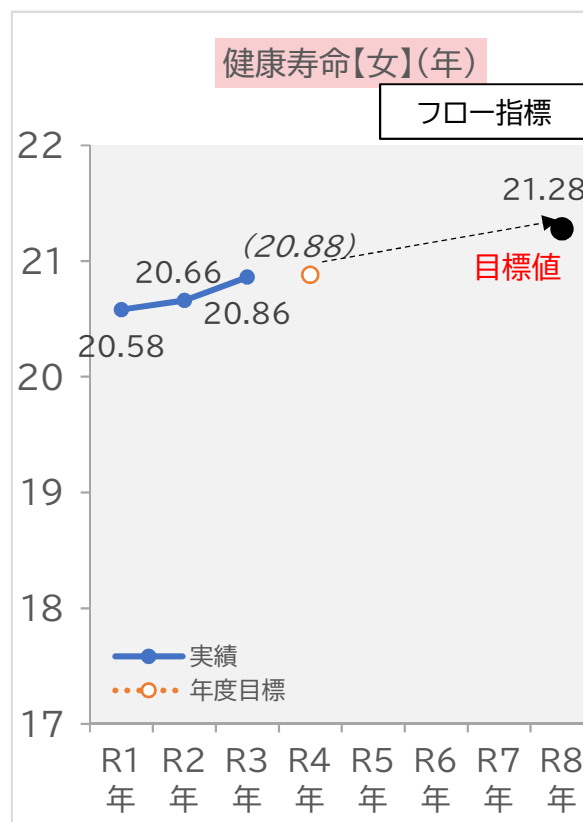
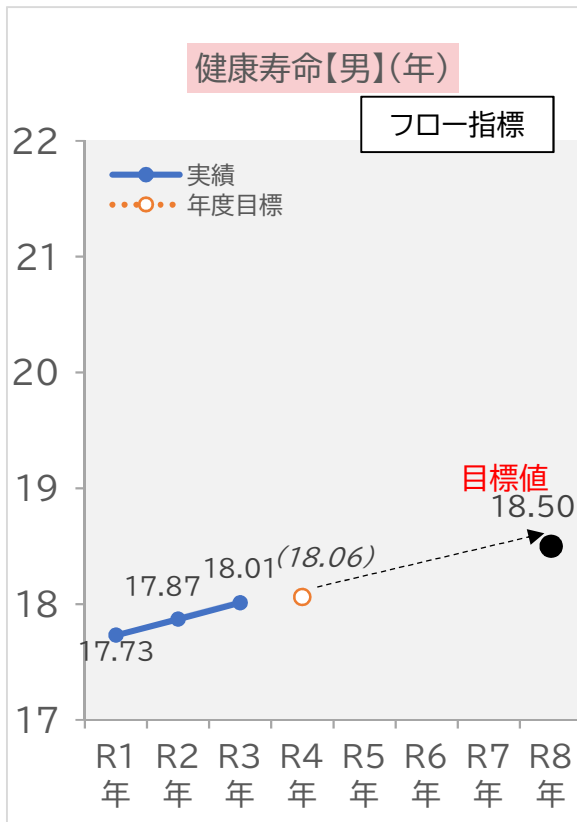
#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 令和3年の傾向としては、20歳代や若年女性の自殺の増加が目立った。また、前年より減少(36人減)しているものの、数としては40, 50代の自殺者が多く、70歳以上も増加(24人増)しており、幅広い年齢を対象とした課題と言える。
- 暮らしとところの総合相談会は、月4回に拡充して対応しているが、引き続き、相談体制を維持していく。更に、SNS相談を令和3年7月より通年での事業を開始しているが、当事業においても拡充を図っていく。

# 針路6 施策25 生涯を通じた健康の確保

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
51. 健康寿命	年	男性 17.73 女性 20.58 (R1年)	男性 18.01 女性 20.86 (R3年)	— — (—)	—	—	男性 18.50 女性 21.28 (R8年)



### ≪ 指標の説明 ≫

65歳に到達した人が健康で自立した生活を送ることができる期間(要介護2以上になるまでの期間)。各年の変動を踏まえ、長期的な視点から過去10年間(平成22年～令和元年)の実績値の伸び(年平均 男0.11年 女0.10年)を踏まえ、目標値を設定。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

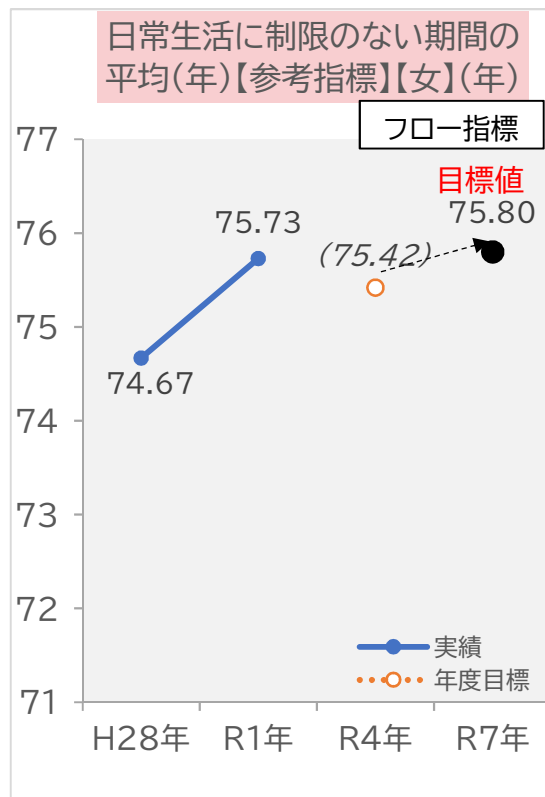
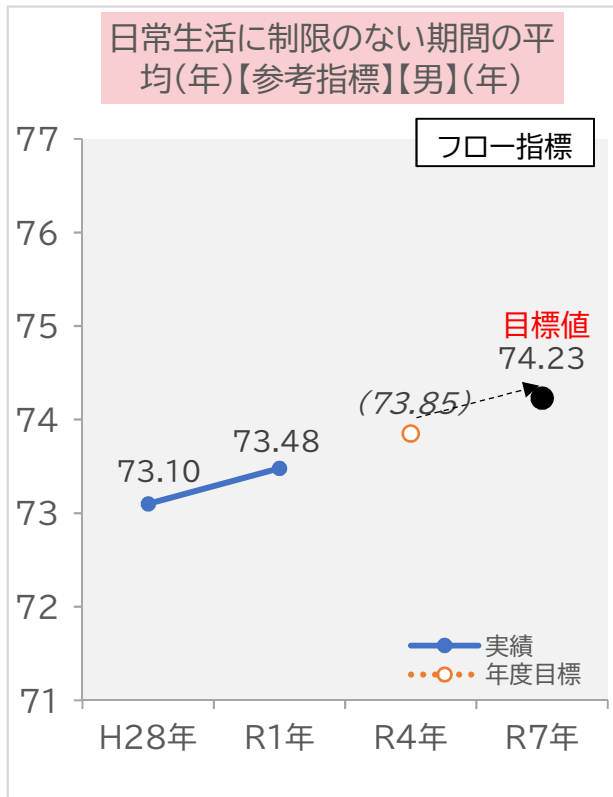
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 健康寿命の延伸には、平均寿命の延伸と介護状態を予防することが必要である。受動喫煙防止対策、特定健診受診率の向上、栄養改善や歯科保健、介護予防等の取組を進めた結果、概ね順調である。
- 今後、後期高齢者が増える割合が増えることから、介護認定者が増加する可能性が考えられる。引き続き、生活習慣病予防等の健康づくりや介護予防の取組の強化を図っていく。



# 針路6 施策25 生涯を通じた健康の確保

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
52. 日常生活に制限のない期間の平均(年) 【参考指標】	年	73.10	73.48	—	—	—	74.23
		74.67 (H28年)	75.73 (R1年)	(—)			75.80 (R7年)



### ≪ 指標の説明 ≫

厚生労働省が実施する国民生活基礎調査において、「あなたは現在、健康の問題で日常生活に何か影響がありますか。」の質問に対し、「なし」と回答した人の割合。

国の目標(平成28年から令和22年までの24年間で3年延伸)を基準とし、その場合の1年あたりの伸び平均である0.125年を、最終年まで積み上げ、目標値を設定。

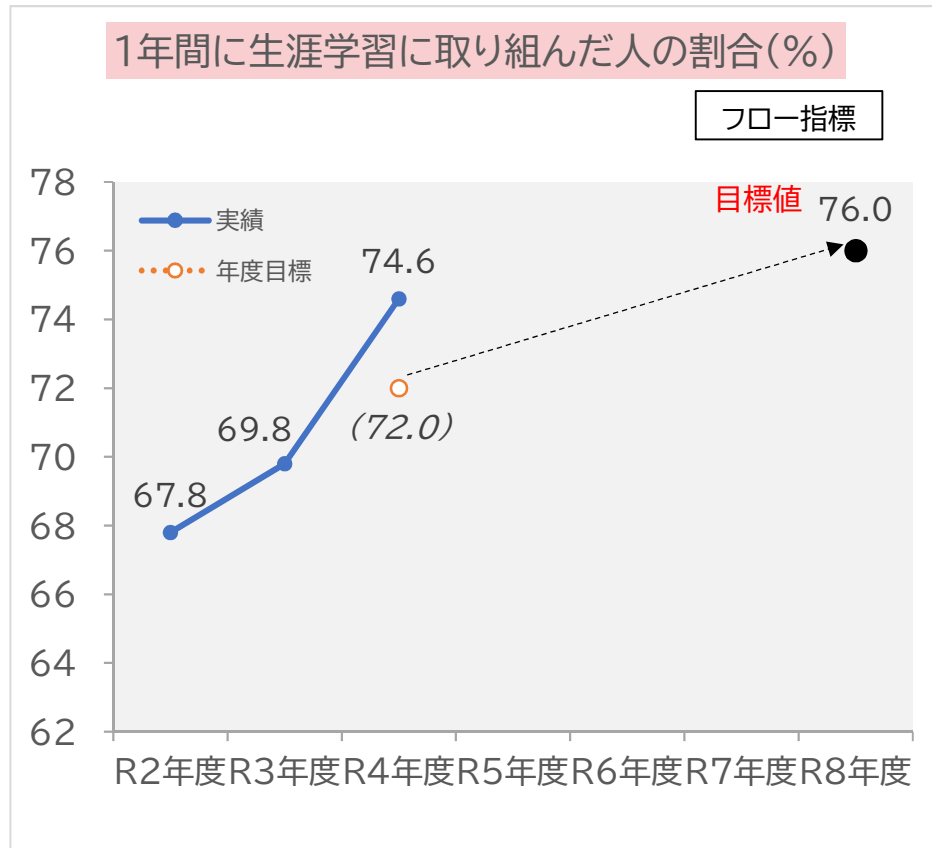
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 健康寿命の延伸には、平均寿命の延伸と介護状態を予防することが必要である。受動喫煙防止対策、特定健診受診率の向上、栄養改善や歯科保健、介護予防等の取組を進めた結果、最終目標達成の可能性が高い。
- 今後、後期高齢者が占める割合が増えることから、介護認定者が増加する可能性が考えられる。引き続き、健康づくりや介護予防の取組の強化を図っていく。

# 針路6 施策26 生涯にわたる学びの推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
53. 1年間に生涯学習に取り組んだ人の割合	%	67.8 (R2年度)	74.6 (R4年度)	72.0 (R4年度)	103.6%	年度目標達成	76.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県政サポーターアンケートにおいて、「この1年間に取り組んだ生涯学習活動の経験の有無」に「経験した」と回答した人の割合。「第3期埼玉県教育振興基本計画」における令和5年度の目標値(73.0%)を踏まえ、更に割合を毎年度1ポイントずつ向上させることを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

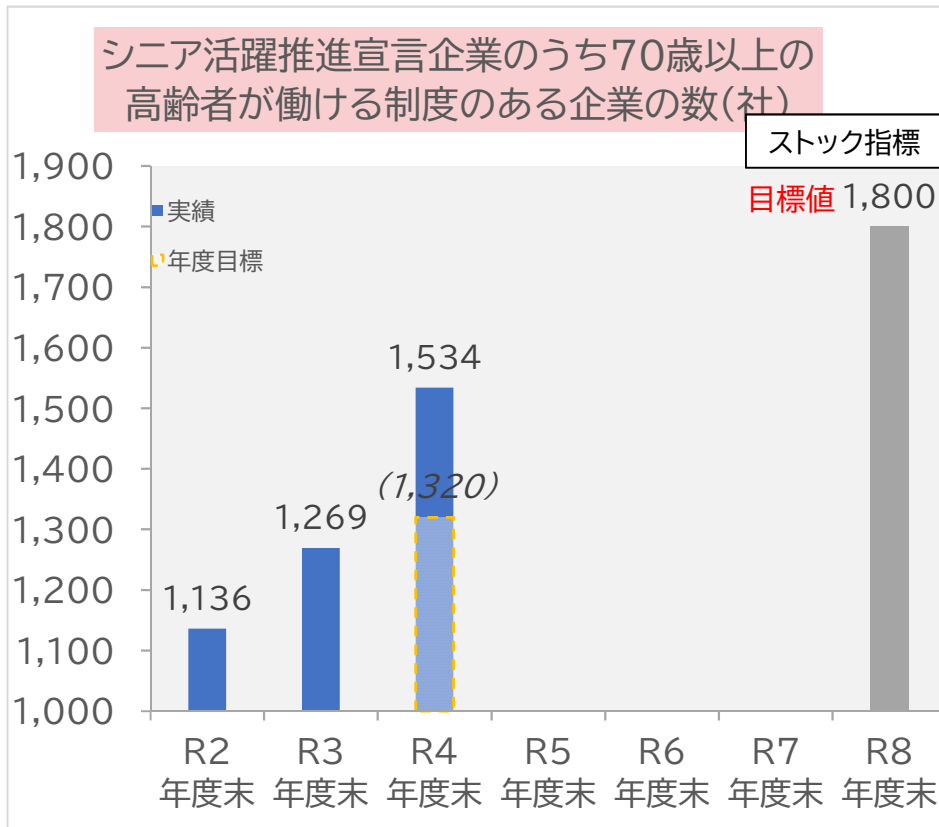
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- コロナ禍3年目となる中で、オンラインコンテンツの活用が進むとともに、社会経済活動の再開に伴い、コンサート等への参加者数が増加していることなどが指標の伸びに繋がっているものと推測される。
- 引き続き、県民へのアンケート調査を実施し、年代別の生涯学習に対するニーズや、オンラインコンテンツに対する意識・課題などを把握し、社会人や高齢者層を含め、幅広い県民が生涯学習活動に取り組めるよう各種事業に生かしていく。

# 針路6

## 施策27 高齢者の活躍支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
54. シニア活躍推進宣言企業のうち70歳以上の高齢者が働ける制度のある企業の数	社	1,136 (R2年度末)	1,534 (R4年度末)	1,320 (R4年度末)	116.2%	年度目標達成	1,800 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

定年の廃止や定年・継続雇用の年齢延長、働きやすい職場環境づくりなどに取り組む、県が認定した企業のうち、70歳以上の高齢者が働ける制度のある企業の数。

70歳以上の高齢者が働ける制度のある企業数の過去5年間(平成28年～令和2年)の増加数(594社)を踏まえ、それを上回る成果を目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

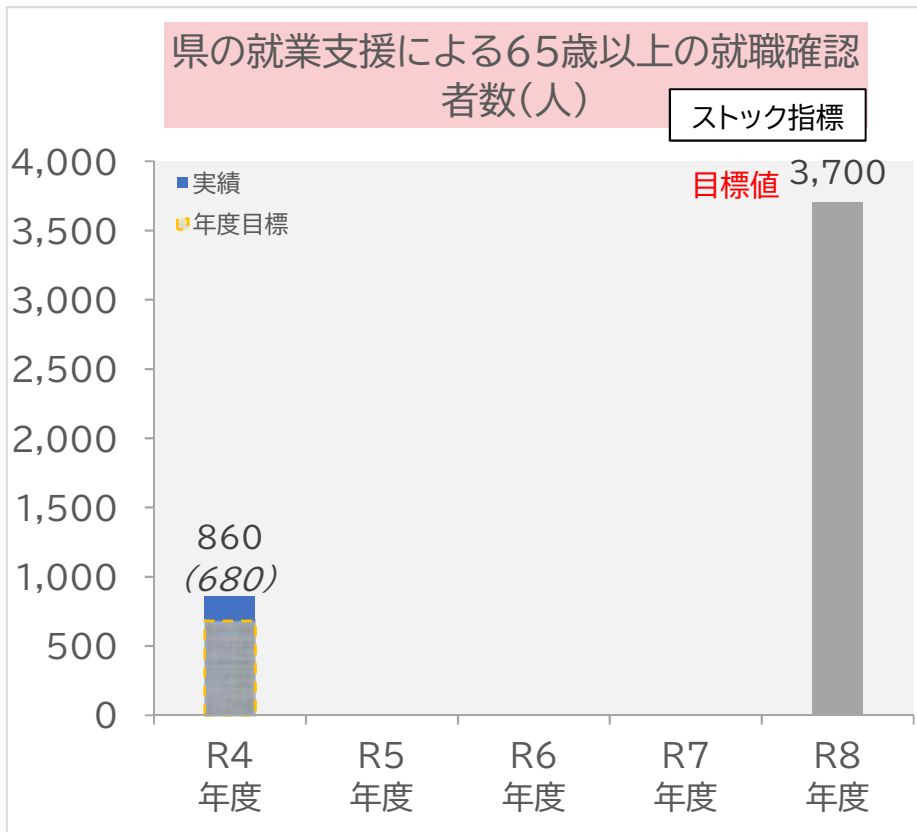
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 企業訪問(1,099社)や70歳雇用確保助成金の交付(36社)により、年度目標を達成した。
- 引き続き、企業訪問や70歳雇用確保助成金の交付により、70歳以上の高齢者が働ける制度のある企業の認定を拡大する。

# 針路6

## 施策27 高齢者の活躍支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
55. 県の就業支援による65歳以上の就職確認者数	人	- (-)	860 (R4年度)	680 (R4年度)	126.5%	年度目標達成	3,700 (R4~R8年度の累計)



#### ◀ 指標の説明 ▶

セカンドキャリアセンターなどで県の就業支援を受けた65歳以上の利用者のうち、就職が確認できた人数。  
過去5年間(平成28年度～令和2年度)の推計値(3,400人)を踏まえ、それを上回る就職確認者数を目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

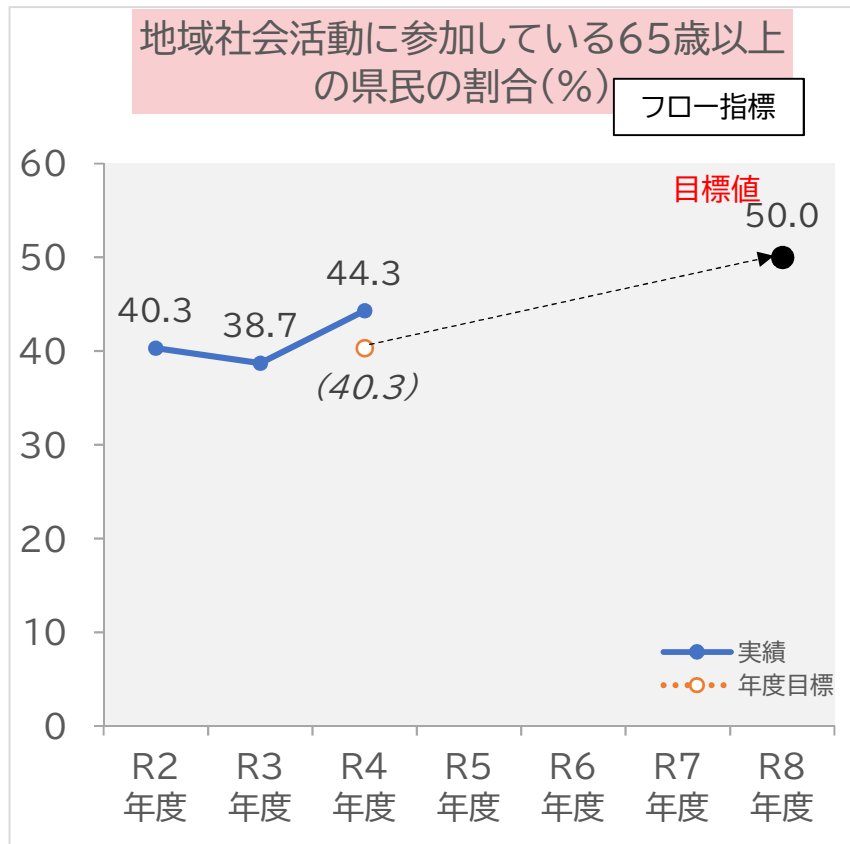
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 企業の人手不足と高齢者の就業意欲の高さを背景に高齢者の就業が進んでいる。セカンドキャリアセンターでは求職者の希望に沿った求人の開拓や丁寧なマッチングを行うことで過去最高の就職者数を挙げ、年度目標を大幅に上回った。
- シニアの希望と企業の求人内容にミスマッチがある。そこで、セカンドキャリアセンターでは専任のキャリアコンサルタントが就職相談で求職者の希望を詳細に把握し、希望に沿った求人の紹介や、求人要件について企業と交渉を行い、就職を支援する。

# 針路6

## 施策27 高齢者の活躍支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
56. 地域社会活動に参加している65歳以上の県民の割合	%	40.3 (R2年度)	44.3 (R4年度)	40.3 (R4年度)	109.9%	年度目標達成	50.0 (R8年度)



#### ◀ 指標の説明 ▶

県政世論調査で「過去1年間に地域社会活動(自治会、PTAなどによる地域活動及びNPO、ボランティアなどによる障害者・高齢者支援や青少年健全育成などの活動)に参加したことがある」と回答した65歳以上の県民の割合。

現状値を踏まえ、2人に1人の高齢者が参加することを目指し、目標値を設定。

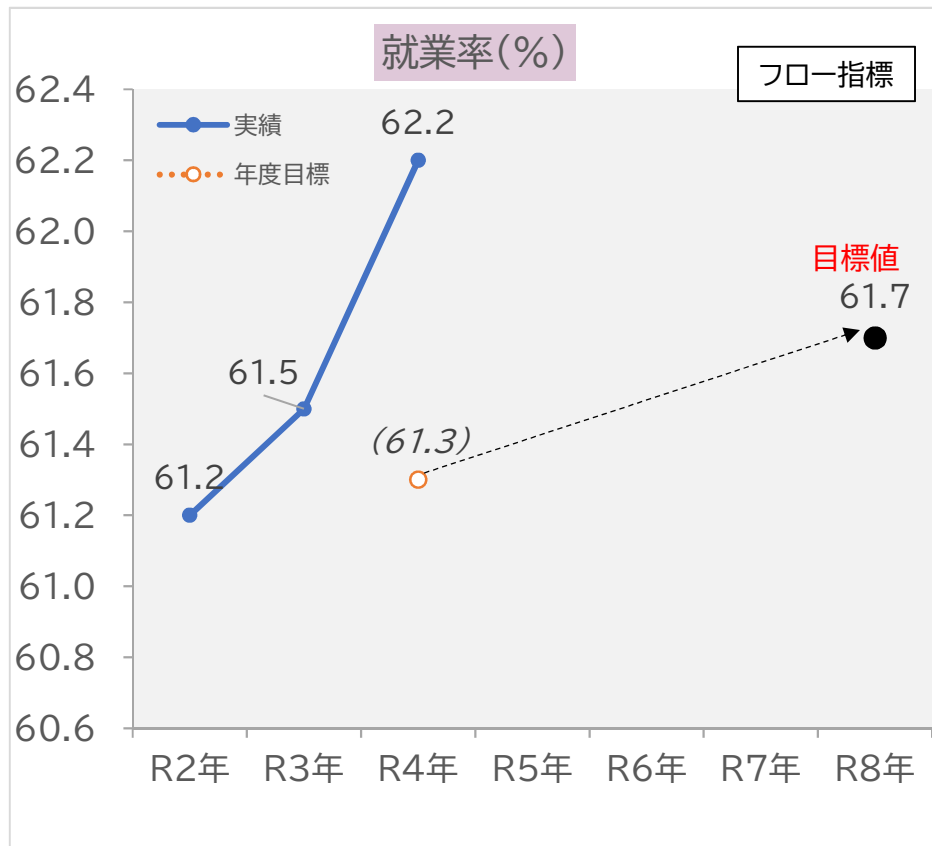
#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 60歳を過ぎても働き続ける人が増加していることから、R4年度からの5か年計画においては、指標を見直し65歳以上とした。定年後の日々の生活の中で、地域社会活動全般が想定していたよりも好意的に受け取られたものと考えられる。
- 埼玉未来大学などの取組を充実させ、引き続きシニアの社会参加のきっかけづくりや情報発信を行う。

# 針路7 施策28 就業支援と雇用環境の改善

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
57. 就業率	%	61.2 (R2年)	62.2 (R4年)	61.3 (R4年)	101.5%	最終目標を上回る	61.7 (R8年)



### ≪ 指標の説明 ≫

15歳以上の人口に占める就業者の割合。  
 就業率を令和元年の水準(61.7%)まで回復させることを目指し、目標値を設定。  
 ※新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す目標値。

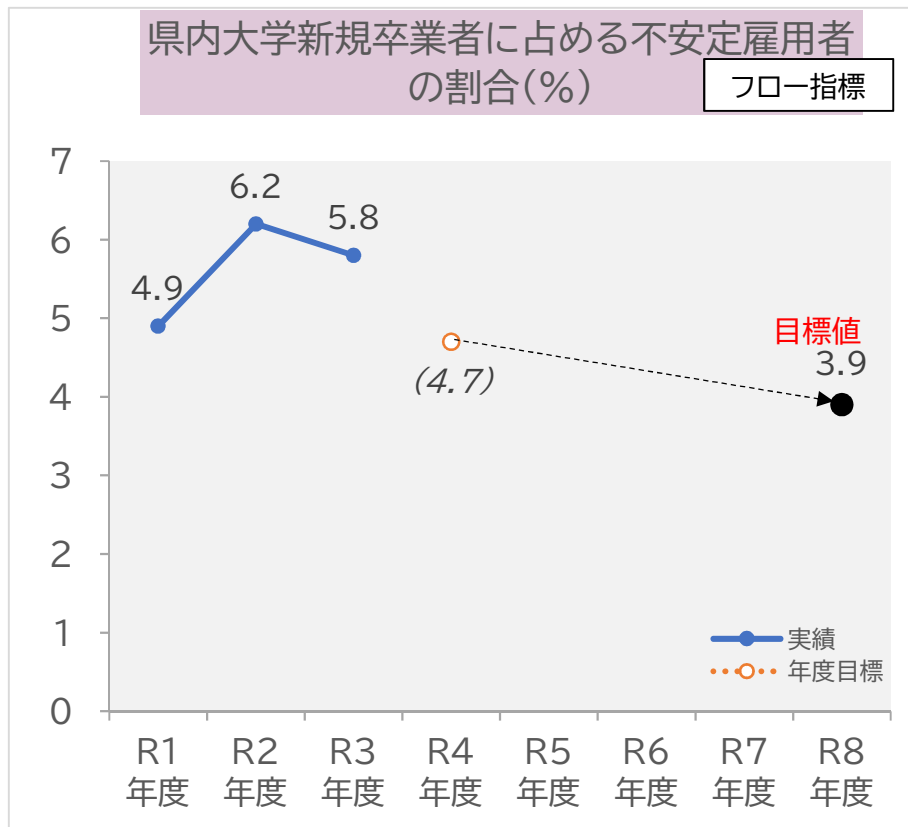
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は最終目標値以上の水準にあり、順調に推移している。
- 埼玉しごとセンター等において、求職者への就業支援を行っている。また、コロナ禍において停滞した経済活動の回復傾向に伴い、雇用情勢も緩やかに持ち直している。
- 令和5年度は、引き続き、埼玉しごとセンター等において求職者への県内企業への就業支援に取り組む。

# 針路7 施策28 就業支援と雇用環境の改善

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
58. 県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者の割合	%	4.9 (R1年度)	5.8 (R3年度)	- (-)	-	-	3.9 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者(有期雇用労働者及び臨時労働者)の割合。  
令和元年度における全国平均値(3.9%)まで減少させることを目指し、目標値を設定。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

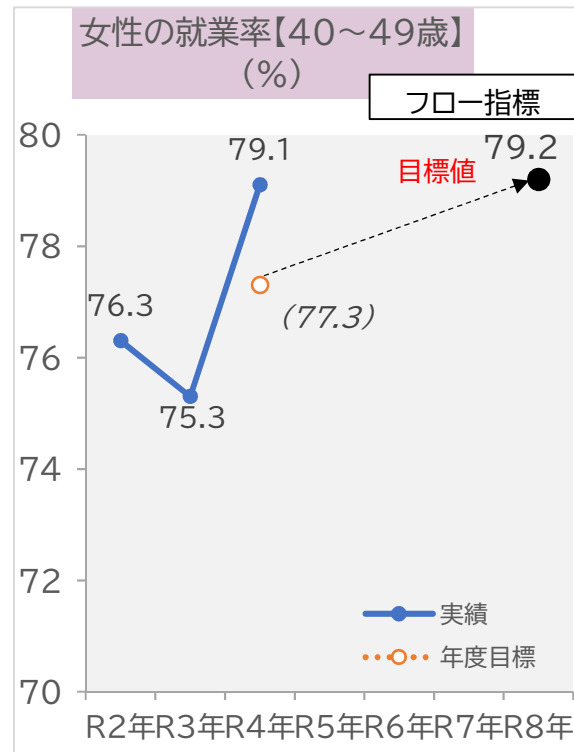
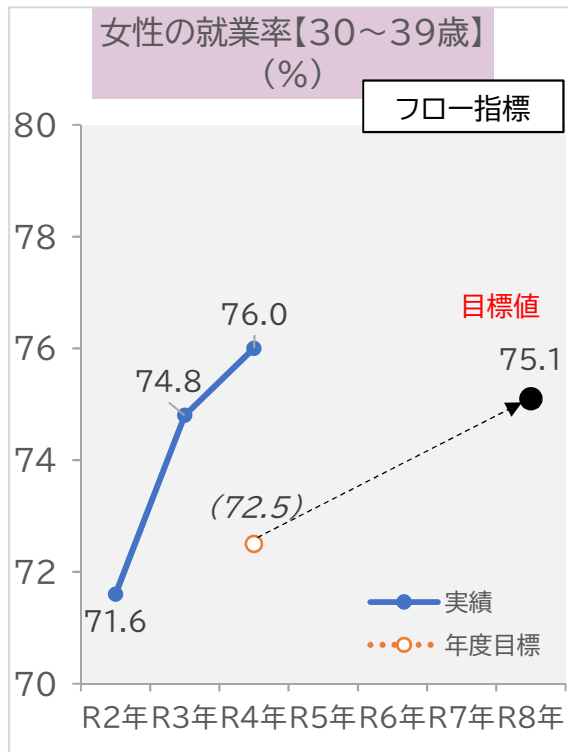
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 令和元年度の4.9%から、令和2年度に6.2%に悪化した後、令和3年度は5.8%に改善した。新型コロナウイルスの感染拡大により企業が採用を手控えた影響があったと考えられる。
- 令和5年度においては、県内大学の学生等に対する県内企業への正社員就職を支援する取組を継続する。具体的には、県内大学の学生等に県内企業の魅力を伝えるため、企業情報の提供や、合同企業説明会の開催などを行う。



# 針路7 施策29 女性の活躍推進と男女共同参画の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
59. 女性(30~39歳、40~49歳)の就業率	%	30~39歳 71.6	76.0	72.5	104.8%	年度目標達成	75.1
		40~49歳 76.3 (R2年)	79.1 (R4年)	77.3 (R4年)	102.3%		79.2 (R8年)



### ◀ 指標の説明 ▶

女性(30~39歳、40~49歳)に占める就業者の割合。令和元年の全国平均(30~39歳:75.1%、40~49歳:79.2%)の水準まで引き上げることを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

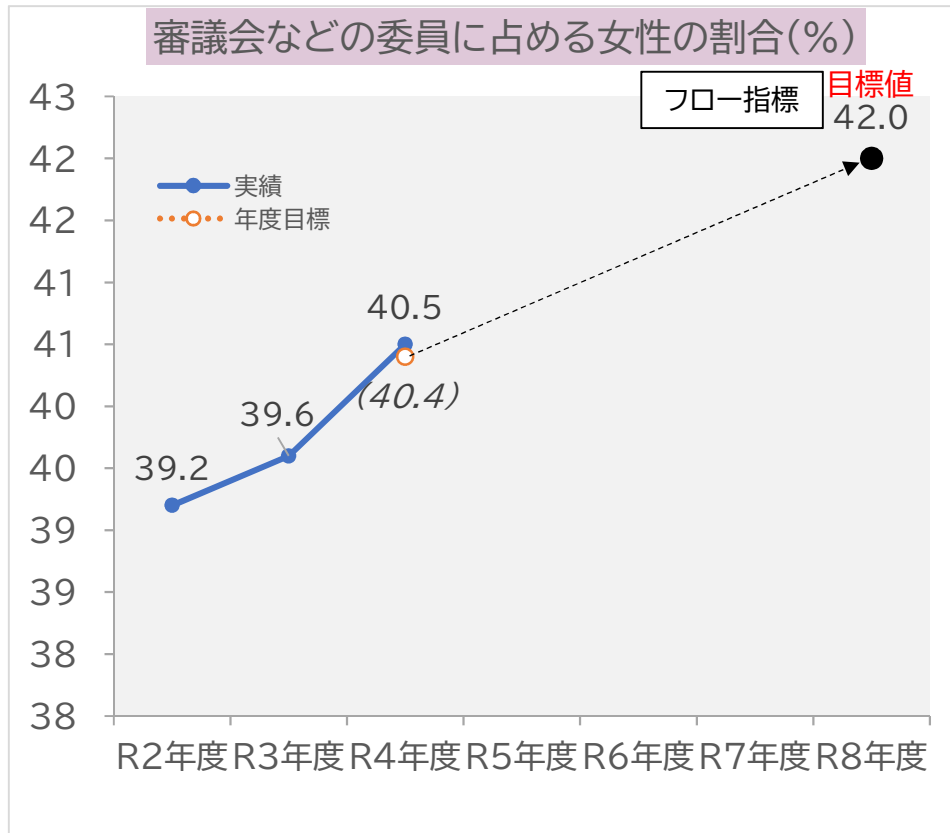
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。(30~39歳は最終目標を上回る)
- 女性キャリアセンターを働く女性のワンストップ支援拠点と位置づけ、女性の就業から就労継続、キャリアアップまでを支援したことに加え、短時間勤務制度など多様な働き方の促進に取り組んだことにより、就業率の改善に寄与したと考えられる。
- 同センターにおけるきめ細かい支援に加え、女性のデジタル人材育成を推進するなど、学び直しを通じた就業支援も強化していく。また、引き続き、多様な働き方実践企業の認定等を通じて、男女問わず働きやすい職場環境づくりを推進していく。

# 針路7

## 施策29 女性の活躍推進と男女共同参画の推進

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
60. 審議会などの委員に占める女性の割合	%	39.2 (R2年度)	40.5 (R4年度)	40.4 (R4年度)	100.2%	年度目標達成	42.0 (R8年度)



#### ◀ 指標の説明 ▶

県の各種審議会などにおける女性委員の割合。  
 国の「第5次男女共同参画基本計画」において、令和7年までに女性委員の割合を40%以上60%以下にすることを目指していることを踏まえ、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

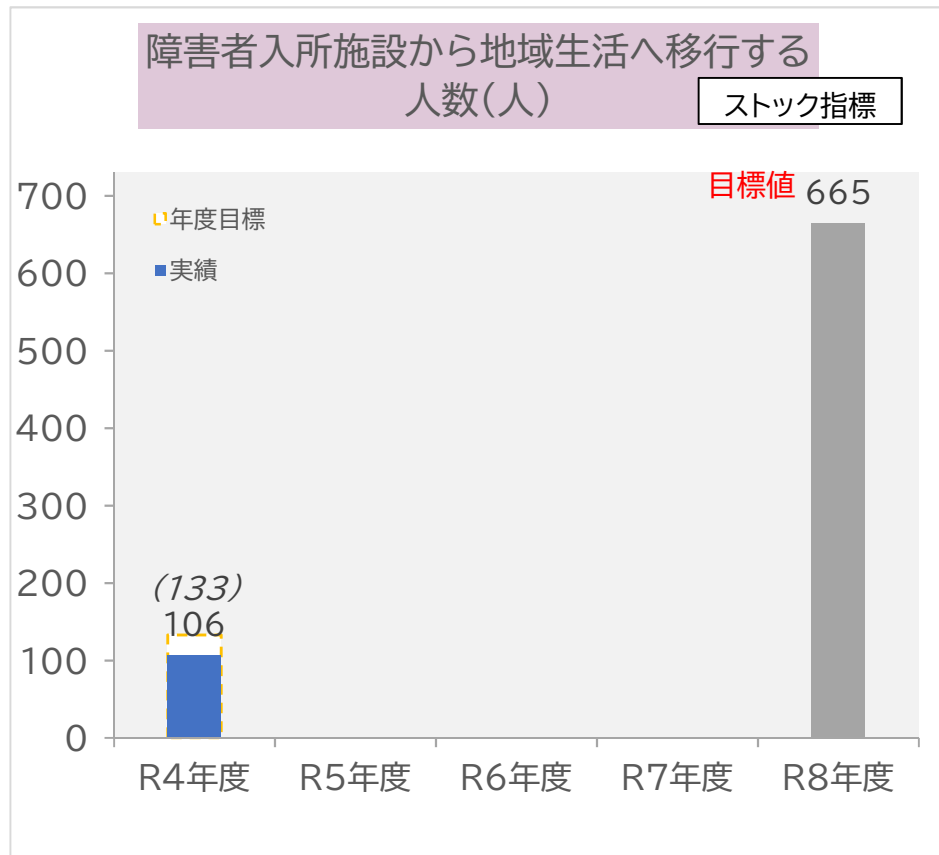
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 審議会等における女性委員の割合が令和8年度末の達成目標値である42%に満たず審議会委員を委嘱する場合には、任命の前に協議を行い、できる限り女性の適任者の登用に努めた。
- 女性委員の割合が令和8年度末の達成目標値(42%)を下回る審議会等を所管する部局に対して、法令に定めがあるものを除き、委員の充て職や推薦団体の変更など、委員の選任に係る運用の見直しや設置要綱等の改正に係る検討を部局長に対し依頼している。

# 針路7

## 施策30 障害者の自立・生活支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
61. 障害者入所施設から地域生活へ移行する人数	人	— (-)	106 (R4年度)	133 (R4年度)	79.7%	策定時より改善	665 (R4～R8年度の累計)



#### ≪ 指標の説明 ≫

障害者入所施設から地域生活へ移行する人数。  
 国の指針において、地域生活に移行する者の令和5年度末の目標値は「令和元年度末の施設入所者数の6%以上」とされているところ、本県では「第6期埼玉県障害者支援計画」において定めた目標値である7.5%(令和3年度～5年度で399人)を踏まえ、令和6年度以降も同様の移行人数を目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 令和4年度は106名と従前と比較して停滞から減少傾向にあり、コロナ禍の影響が想定される。
- 居住系サービス地域生活での相談や日常生活上の援助を行うグループホームの定員を増やしていく。また、日中活動系サービスは、生活介護事業所や就労継続支援事業所など通所事業所の整備も進め、地域生活が継続できるようにする。さらに、ホームヘルプなどの訪問系サービスは、居宅介護事業所など訪問系の事業所整備も進め、地域生活が継続できるよう支援する。

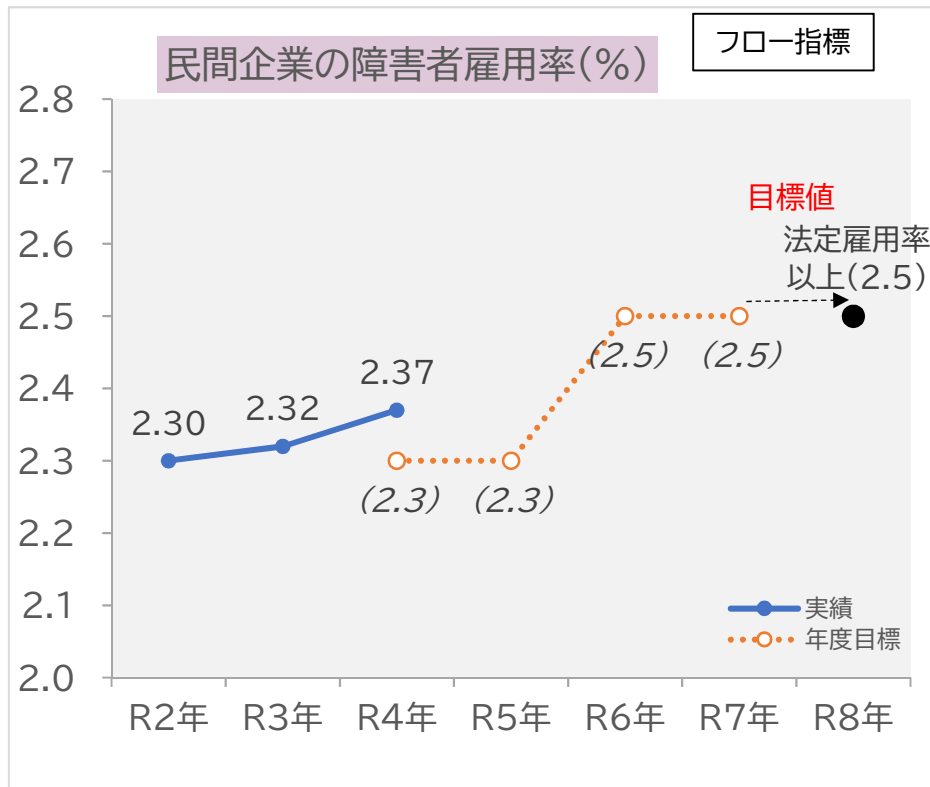
# 針路7

## 施策30 障害者の自立・生活支援

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
62. 民間企業の障害者雇用率	%	2.30 (R2年)	2.37 (R4年)	2.3 (R4年)	103.0%	年度目標達成	2.5 (R8年)

※年度目標値及び最終目標値は、各年6月1日時点の法定雇用率以上



#### ≪ 指標の説明 ≫

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく、民間企業における障害者の雇用率。  
 「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、民間企業に対し義務づけられている法定雇用率以上を目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

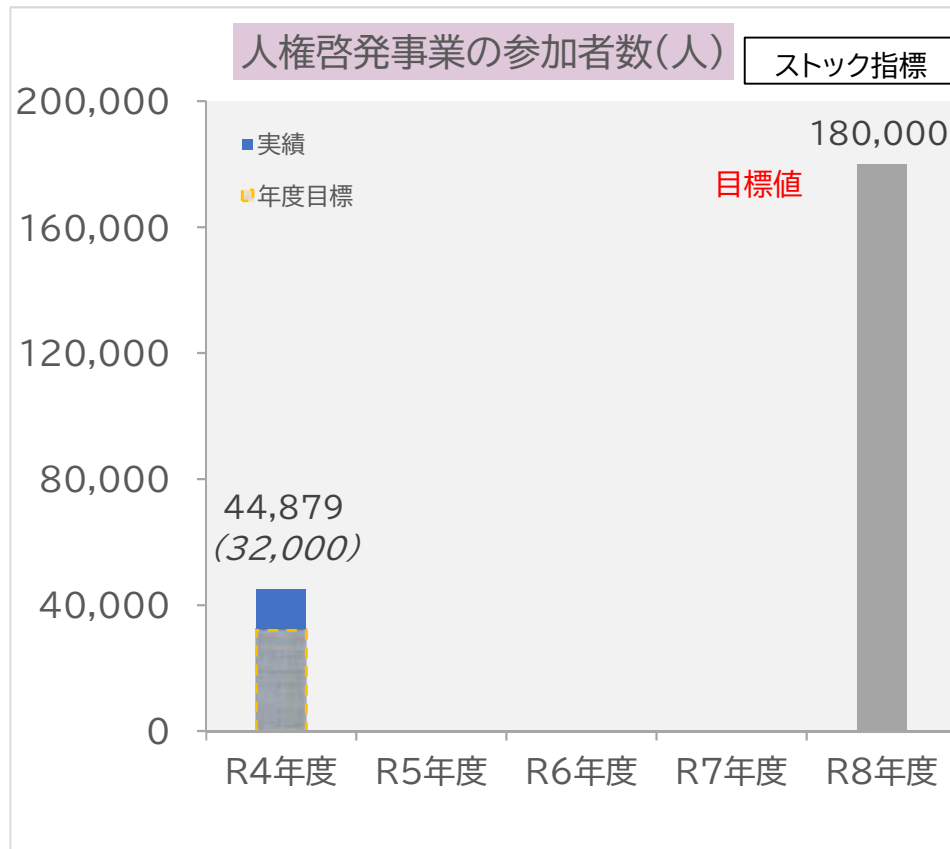
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 障害者の雇用開拓から就労支援、職場定着支援まで一連の取組を進めた結果、令和4年時点での法定雇用率(2.3%)を超える水準となった。
- 障害者の法定雇用率引上げに向けて、民間企業における障害者雇用の拡大について、引き続き取組を進めていく。

# 針路7

## 施策31 人権の尊重

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
63. 人権啓発事業の参加者数	人	— (-)	44,879 (R4年度)	32,000 (R4年度)	140.2%	年度目標達成	180,000 (R4~R8年度の累計)



#### ≪ 指標の説明 ≫

人権尊重社会をめざす県民運動の各種事業や市町村・企業向け講師派遣研修会などへの参加者数の累計。

人権啓発事業の参加者数について、過去5年間(平成28年度～令和2年度)の最高値(27,214人)を上回る30,000人から、令和4年度以降更に毎年度2,000人ずつ増加させることを目指し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

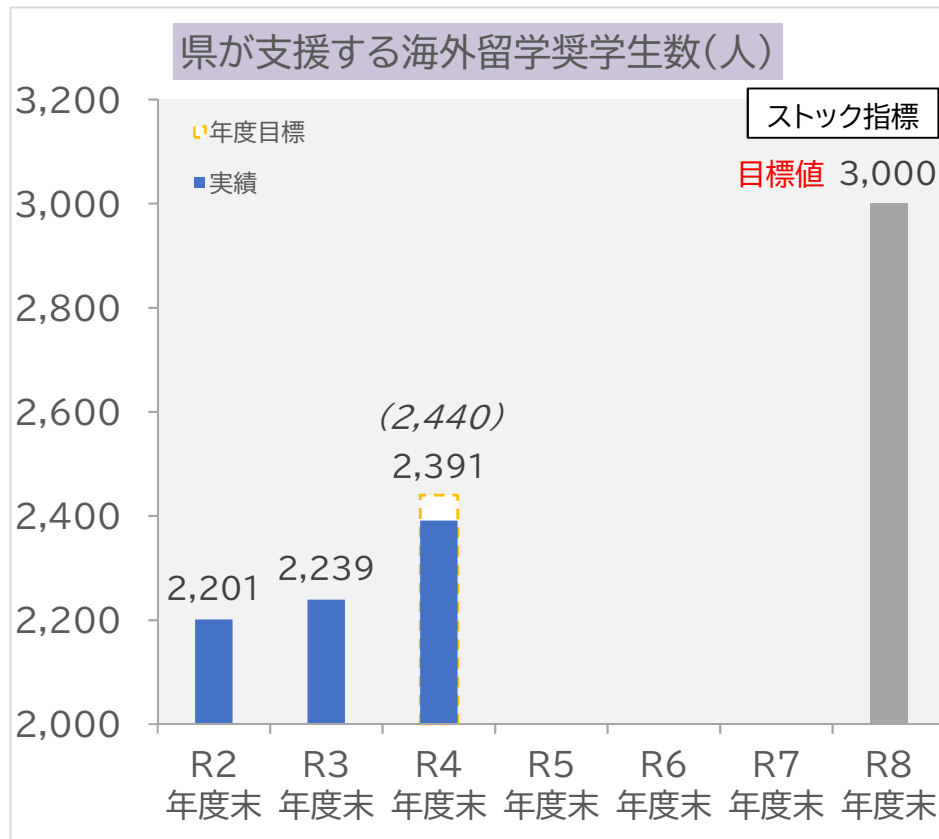
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 人権啓発講師の派遣状況が回復状況にあることに加え、新型コロナウイルス感染防止のためオンラインでのイベントや研修を行ったことなどにより、年度目標を達成した。
- 今後もオンライン開催に適した動画配信や映像の活用といった啓発手法の工夫や、SNSを活用した広報の拡充を行うなどし、啓発事業の参加者数を増やしていく。

# 針路8

## 施策32 多文化共生と国際交流のSAITAMAづくり

### 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
64. 県が支援する海外留学奨学生数	人	2,201 (R2年度末)	2,391 (R4年度末)	2,440 (R4年度末)	98.0%	策定時より改善	3,000 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

「埼玉発世界行き」奨学生数と姉妹友好州省派遣者数の累計。  
過去の実績(毎年度140人程度)を踏まえ、同水準の若者の留学支援を継続することを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

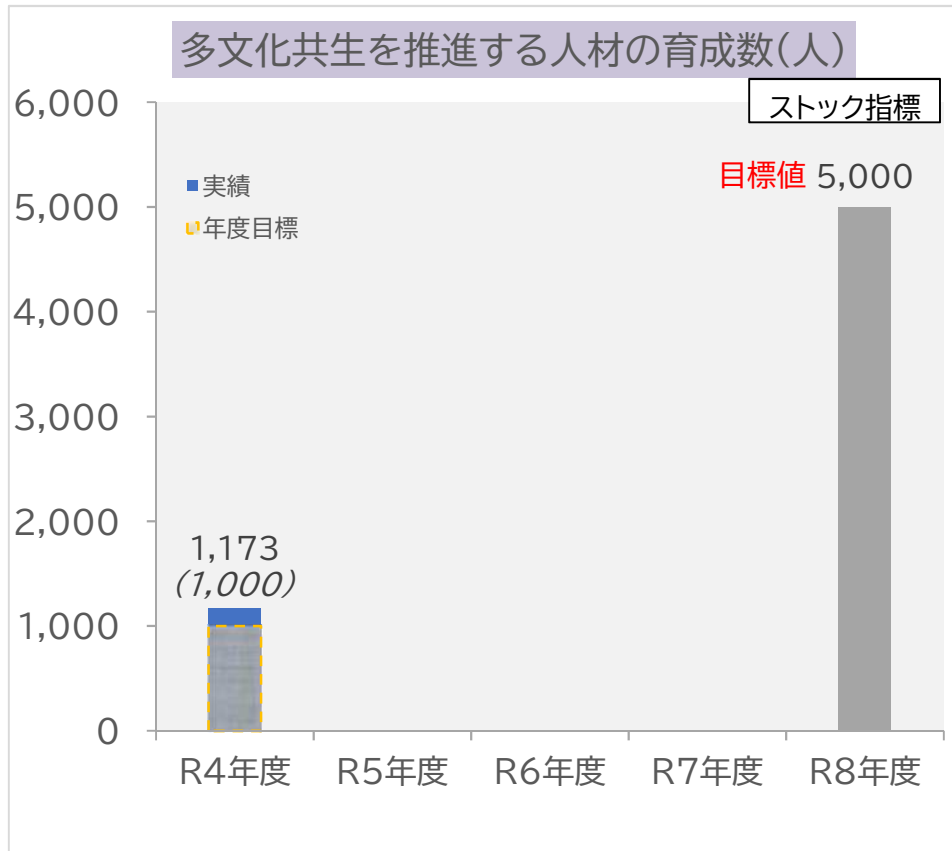
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度及び令和3年度は海外への渡航が制限されたことにより、県が支援する海外留学奨学生は少なかったが、渡航制限が大幅に緩和された令和4年度は年度目標に近い留学生を海外に送り出すことができた。
- 海外情勢を考慮しながら柔軟な対応をすることで、引き続き若者の留学を支援していく。

# 針路8

## 施策32 多文化共生と国際交流のSAITAMAづくり

### 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
65. 多文化共生を推進する人材の育成数	人	- (-)	1,173 (R4年度)	1,000 (R4年度)	117.3%	年度目標達成	5,000 (R4~R8年度の累計)



#### ◀ 指標の説明 ▶

県が実施する「やさしい日本語講座」や「日本語学習支援者研修」などを受講した人数の累計。  
毎年度約1,000人に対し研修等を実施し、外国人住民が求める支援を行う人材を増やすことを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

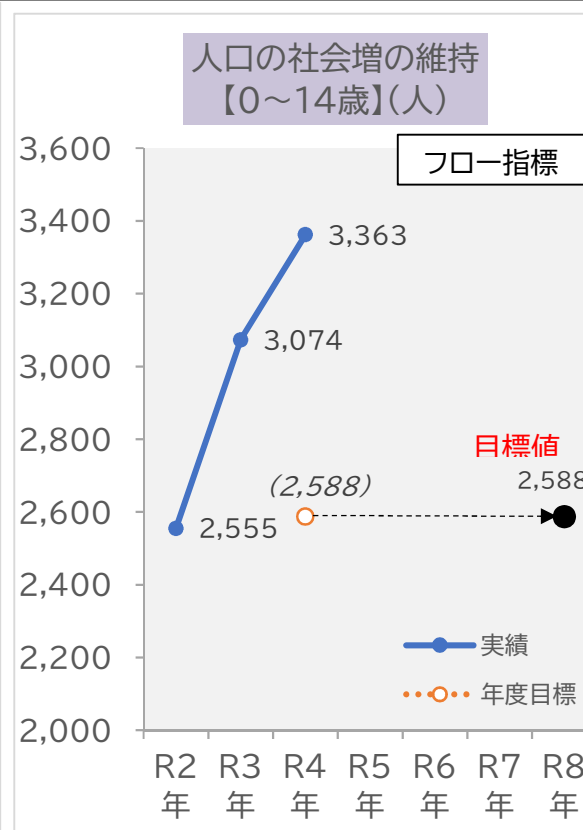
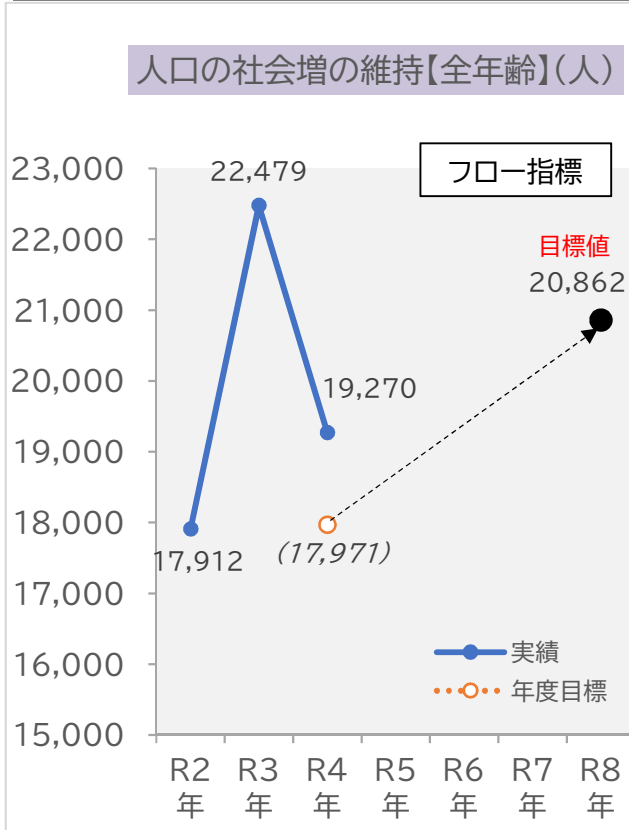
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 研修を県内4地域で開催したこと、オンラインでの開催も組み合わせることにより、県内の様々な地域から参加できたことにより、年度目標を上回った。
- 引き続き、研修のオンライン対応を進めるとともに、県内の学校や企業にも受講を働きかけ、幅広い年代の育成を目指していく。



# 針路8 施策33 地域の魅力創造発信と観光振興

## 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
66. 人口の社会増の維持	人	全年齢17,912 0~14歳2,555 (R2年)	19,270 3,363 (R4年)	17,971 2,588 (R4年)	107.2% 129.9%	年度目標達成	20,862 2,588 (R8年)



### ◀ 指標の説明 ▶

本県への転入者数と転出者数の差。  
 全年齢は、過去5年間(平成28年~令和2年)の平均値及び伸び率を踏まえ、増加させることを目指し、目標値を設定。  
 0~14歳は、少子化が見込まれる中、過去5年間(平成28年~令和2年)の平均値を維持することを目指し、目標値を設定。

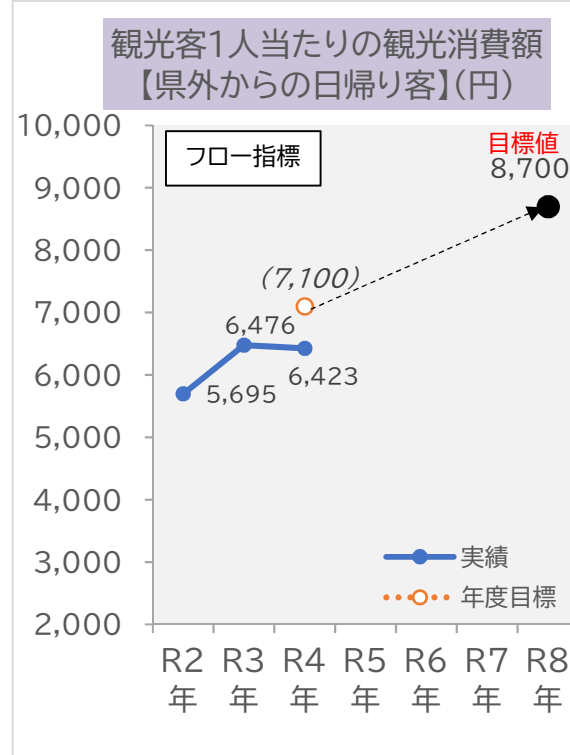
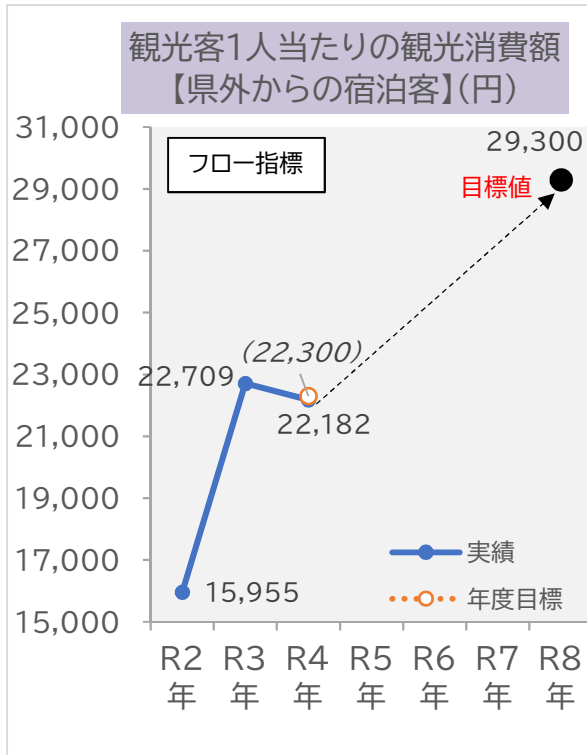
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。(0~14歳は最終目標を上回る)
- 0歳から9歳及び35歳から39歳では増加したほか、25歳から34歳の働き盛りの世代も引き続き転入超過の状態が継続しており、年度目標を達成した。要因としては、東京圏への人口集中の継続や、リモートワークなど新たな働き方の普及による移住促進などが考えられる。
- 働き方の見直しに伴う都市部から地方への新たな人の流れを捉えることで、引き続き関係人口の創出や移住・定住を促進していく。

# 針路8 施策33 地域の魅力創造発信と観光振興

## 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
67. 観光客1人当たりの観光消費額	円	県外からの宿泊客 15,955	22,182	22,300	99.5%	策定時より改善	29,300
		県外からの日帰り客 5,695 (R2年)	6,423 (R4年)	7,100 (R4年)	90.5%		8,700 (R8年)



### ◀ 指標の説明 ▶

県外からの宿泊客及び日帰り客1人1回当たりの旅行における消費額。

令和4年に平成30年と令和元年の平均値まで回復させた上で、平成23年から令和元年の実績値の伸びを踏まえ、宿泊客は毎年7%、日帰り客は毎年5%増やすことを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

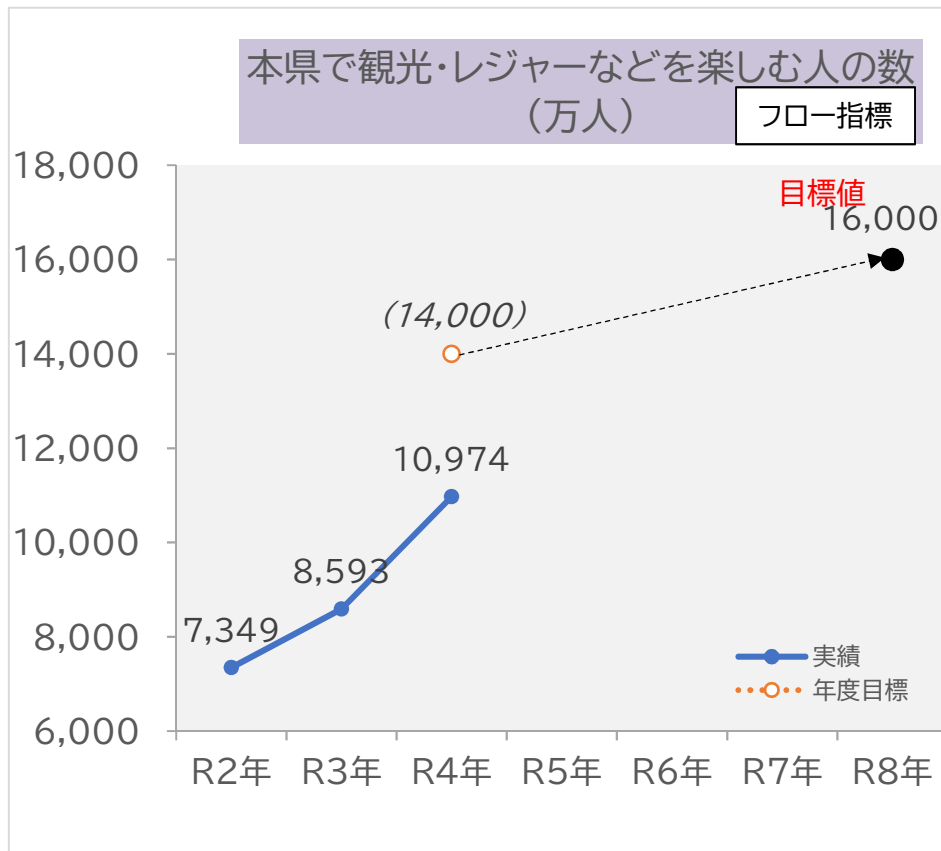
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた観光事業者を、国の全国旅行支援をはじめとする観光応援キャンペーンなどにより支援し、県内の観光消費を促進した。
- 観光資源のより一層の発掘・磨き上げを通じて宿泊客の滞在時間を延長し、消費額の増加を図っていく。

# 針路8

## 施策33 地域の魅力創造発信と観光振興

### 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
68. 本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数	万人	7,349 (R2年)	10,974 (R4年)	14,000 (R4年)	78.4%	策定時より改善	16,000 (R8年)



#### ◀ 指標の説明 ▶

県内の観光地及び祭り、イベントなどに訪れた人数の合計(観光入込客の数)。

令和4年に平成30年と令和元年の平均値まで回復させた上で、平成23年から令和元年の実績値の伸びを踏まえ、毎年3%増やすことを目指し、目標値を設定。

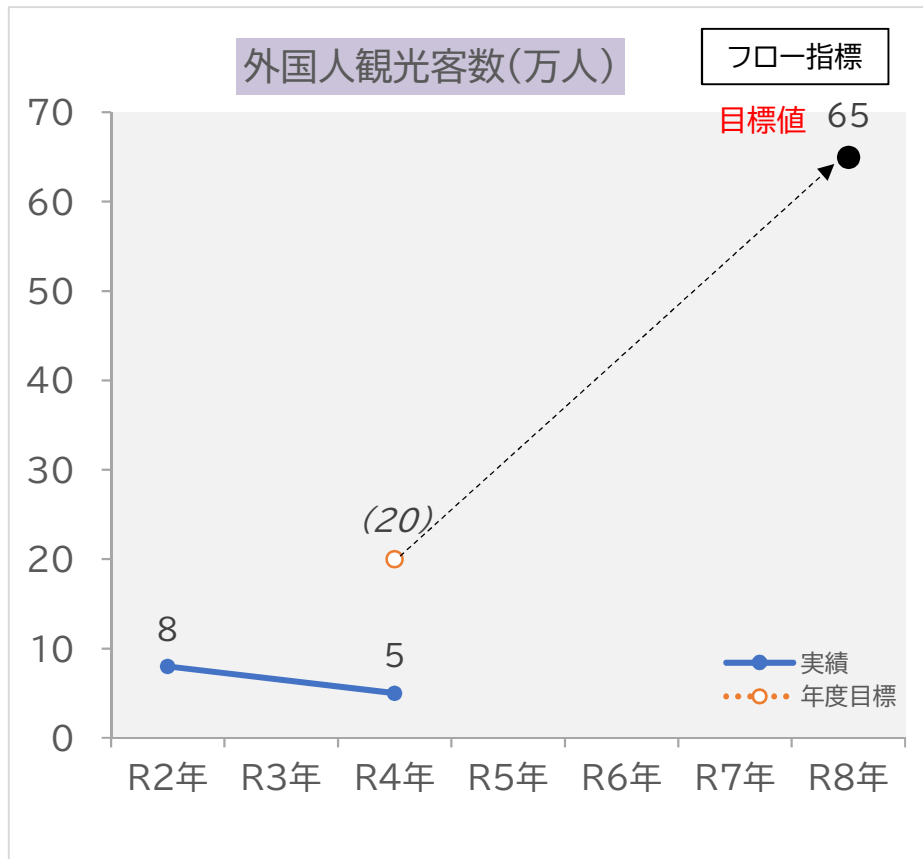
#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた観光事業者を、国の全国旅行支援をはじめとする観光応援キャンペーンなどにより支援し、県内への誘客を促進した。
- 観光資源のより一層の発掘・磨き上げを通じて誘客を図っていく。

# 針路8 施策33 地域の魅力創造発信と観光振興

## 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
69. 外国人観光客数	万人	8 (R2年)	5 (R4年)	20 (R4年)	25.0%	策定時より後退	65 (R8年)



### ≪ 指標の説明 ≫

1年間に本県を訪れた外国人観光客数(推計)。  
外国人観光客数を令和元年の水準(65万人)まで回復させることを目指し、目標値を設定。  
※新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す目標値。

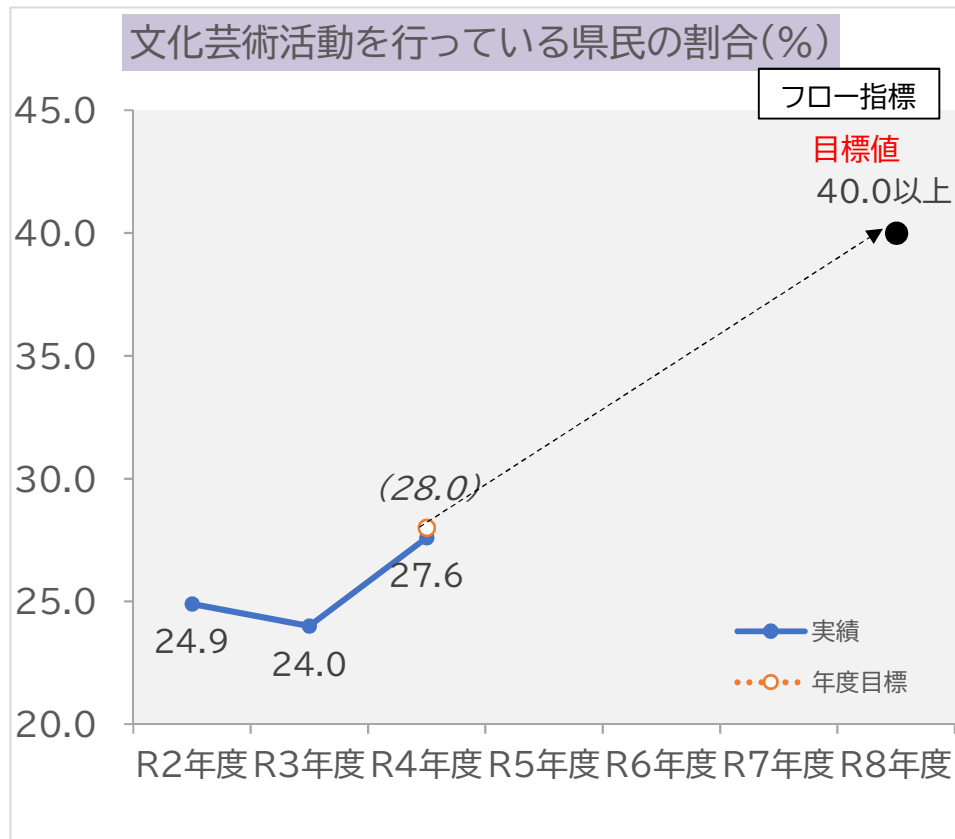
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの入国制限措置等が実施されたことから、令和2年4月から令和4年6月まで外国人観光客の入国が制限されたため。
- 東京に滞在する外国人観光客やビジネス客に対し、東京からの近さをPRすることで埼玉県に誘客する取組を実施する。

# 針路8 施策34 文化芸術の振興

## 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
70. 文化芸術活動を行っている県民の割合	%	24.9 (R2年度)	27.6 (R4年度)	28.0 (R4年度)	98.6%	策定時より改善	40.0以上 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

県政世論調査で「1年間に文化芸術活動を行ったことがある」と回答した県民の割合。

国の「文化芸術推進基本計画(第1期)」において、鑑賞以外の文化芸術活動をする者の割合が約40%まで増加することを目指していることを踏まえ、目標値を設定。

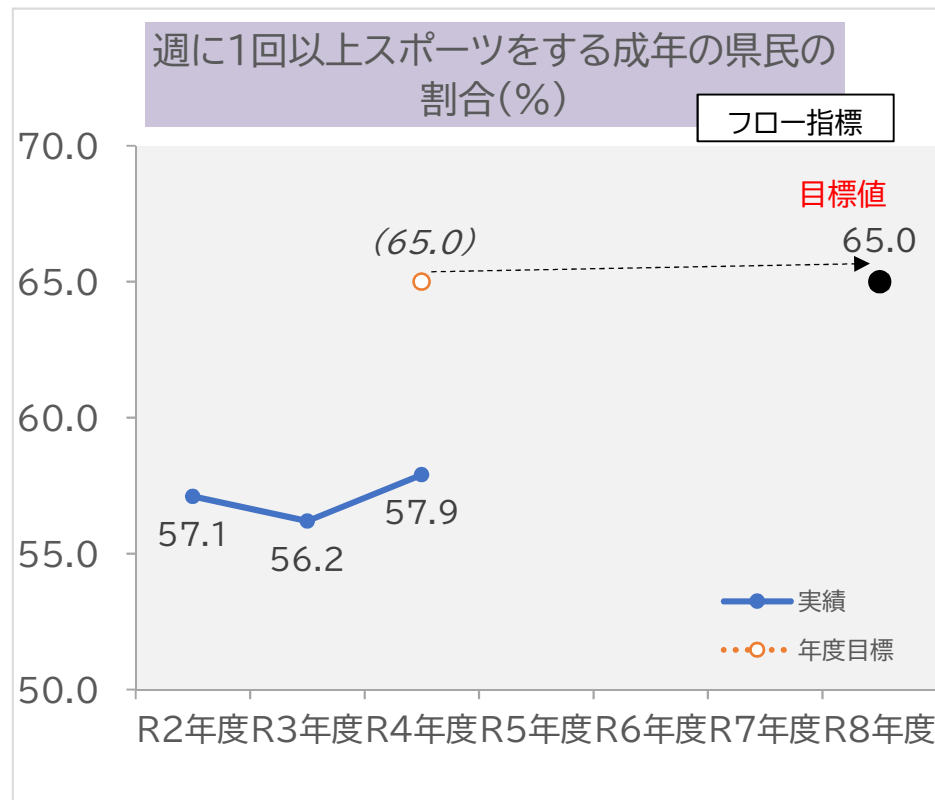
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、県民の文化芸術活動は大きく停滞していたが、感染症対策やオンライン配信を行う事業に助成するなど、コロナ禍であっても安心して文化芸術活動が行えるよう支援を行ったことなどにより、指標はほぼ年度目標に近い数値まで回復した。
- 新型コロナウイルスによって落ち込んだ県民の文化芸術活動を活性化するため、一時的に団体への支援を強化していく。

# 針路8 施策35 スポーツの振興

## 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
71. 週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合	%	57.1 (R2年度)	57.9 (R4年度)	65.0 (R4年度)	89.1%	策定時より改善	65.0 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県政世論調査で「週に1回以上スポーツをする」と回答した成年の県民の割合。

国の「スポーツ基本計画」において、成年の週1回以上のスポーツ実施率が65%程度となることを目指していることを踏まえ、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

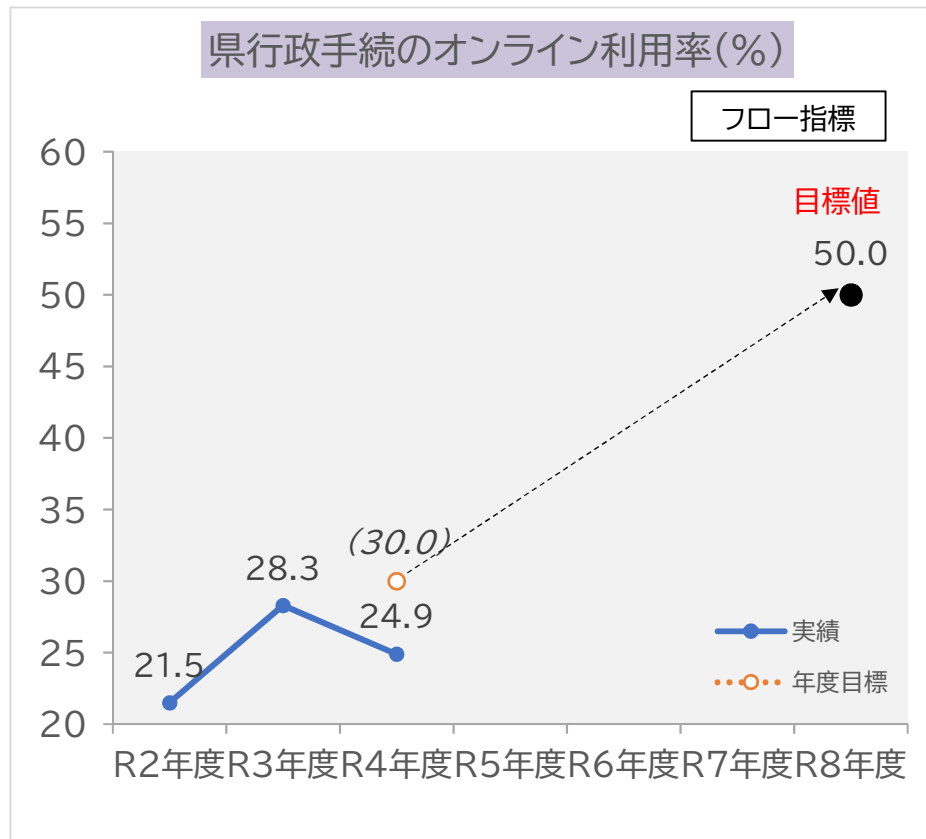
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 国の社会生活基本調査によると、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークが浸透し、通勤時間が減少した分を運動の時間に充てられたことがスポーツ実施率の増加につながっているとの結果が出ており、策定時より改善したと考えられる。
- 働き盛り世代、子育て世代(30歳代から50歳代)は他の年代に比べスポーツ実施率が低い。他の世代よりも実施率が低い世代や、スポーツ実施率が前年度と比較して低下した世代を中心としたスポーツ活動を推進する。

# 針路8

## 施策36 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上

### 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
72. 県行政手続のオンライン利用率	%	21.5 (R2年度)	24.9 (R4年度)	30.0 (R4年度)	83.0%	策定時より改善	50.0 (R8年度)



#### ≪ 指標の説明 ≫

県の行政手続の総申請件数に対する、オンライン申請件数の割合。国の「規制改革実施計画」における、各省庁の所管する行政手続のオンライン利用率の引上げについての方針を踏まえ、県の現状値を勘案し、目標値を設定。

#### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

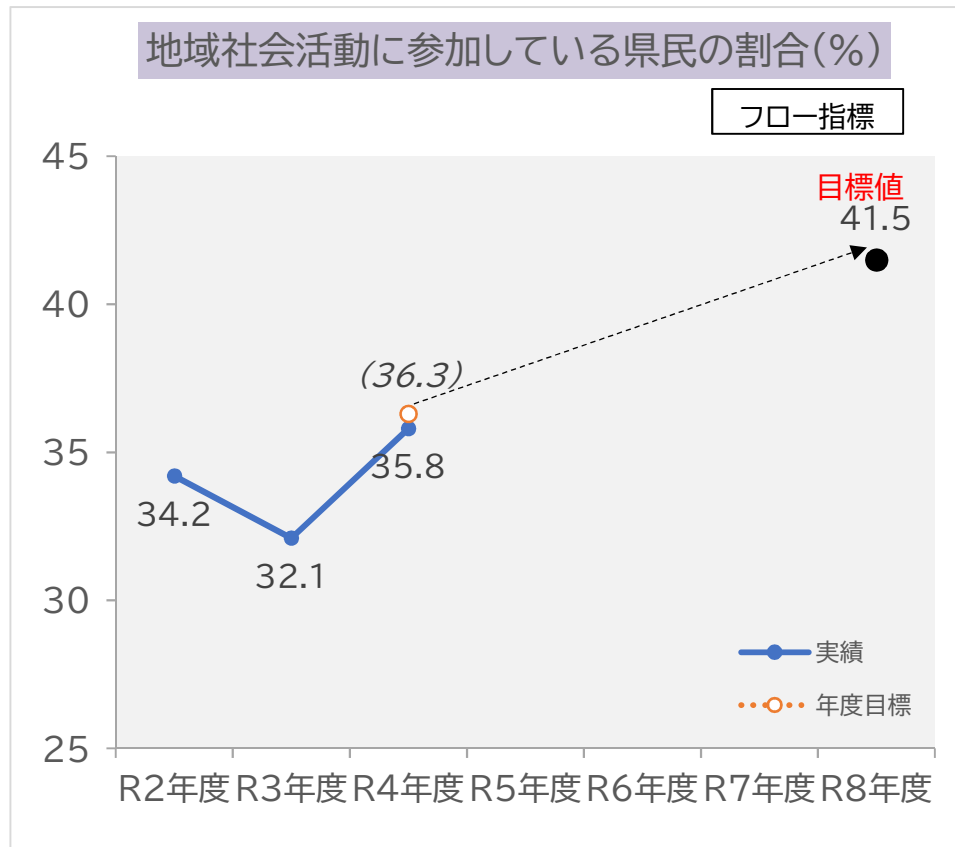
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 電子化している手続のオンライン利用率は年度目標を上回っている(33%)が、申請件数の多い福祉・医療分野では診断書等を紙で提出する必要があるため、オンライン化できていないものが多いため、全体としては目標値を下回った。
- DXの第2ステップ「業務プロセス改革」を通じて、紙で提出する必要がある手続等の見直しを行い、手続のオンライン化を進めるとともに、ユーザビリティに配慮したシステム構築等を推進することにより、オンライン利用率の向上を図る。



# 針路8 施策37 多様な主体による地域社会づくり

## 施策指標の進捗状況

	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
73. 地域社会活動に参加している県民の割合	%	34.2 (R2年度)	35.8 (R4年度)	36.3 (R4年度)	98.6%	策定時より改善	41.5 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県政世論調査で「過去1年間に地域社会活動(自治会、PTAなどによる地域活動及びNPO、ボランティア活動など)に参加したことがある」と回答した県民の割合。

過去最高値(平成26年度 41.5%)まで回復させることを目指し、目標値を設定。

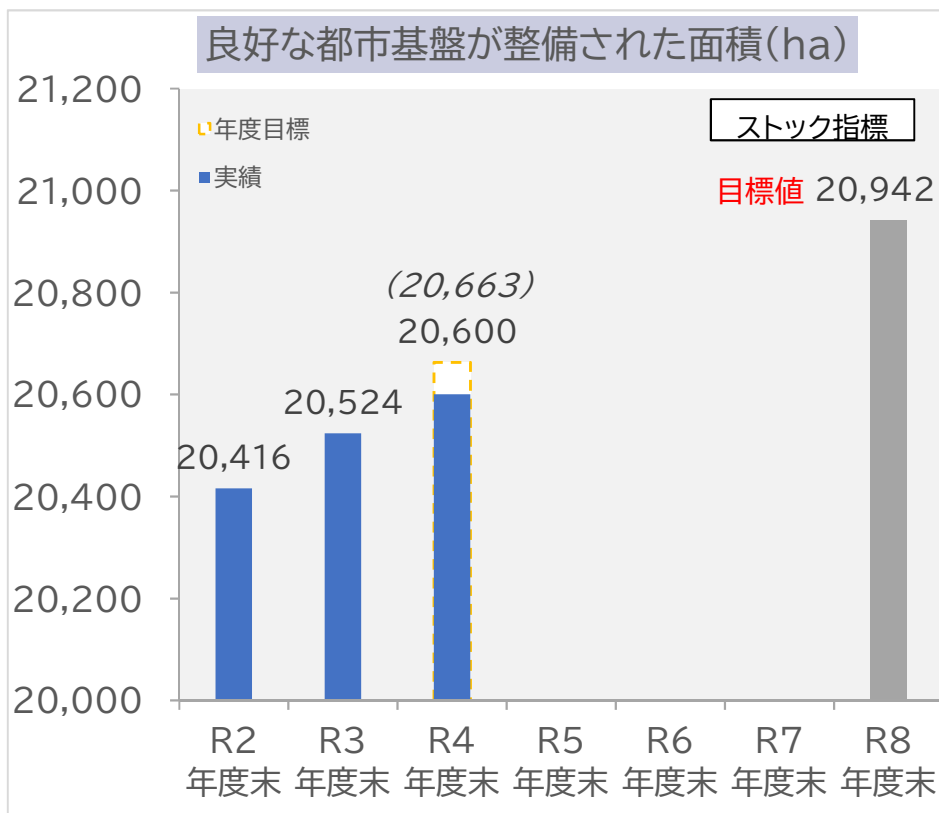
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」「参加するきっかけが得られない」「興味がない」が上位にあがっている。また、65歳以上では指標を達成しており、65歳以上の数値が全体を引き上げたものと想定される。
- 企業・団体等多様な主体による地域課題解決の取組や企業・団体等とNPOの連携の促進により、仕事や日常生活の中でも地域社会活動に取り組むことができるよう、支援していく。

# 針路9 施策38 住み続けられるまちづくり

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
74. 良好な都市基盤が整備された面積	ha	20,416 (R2年度末)	20,600 (R4年度末)	20,663 (R4年度末)	99.7%	策定時より改善	20,942 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

土地区画整理事業、市街地再開発事業により、良好な都市基盤(住宅地や商業地)が整備され、災害対応力が向上した土地の面積。  
各事業主体が令和8年度までに予定している住宅地や商業地の整備を着実に推進することを目指し、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

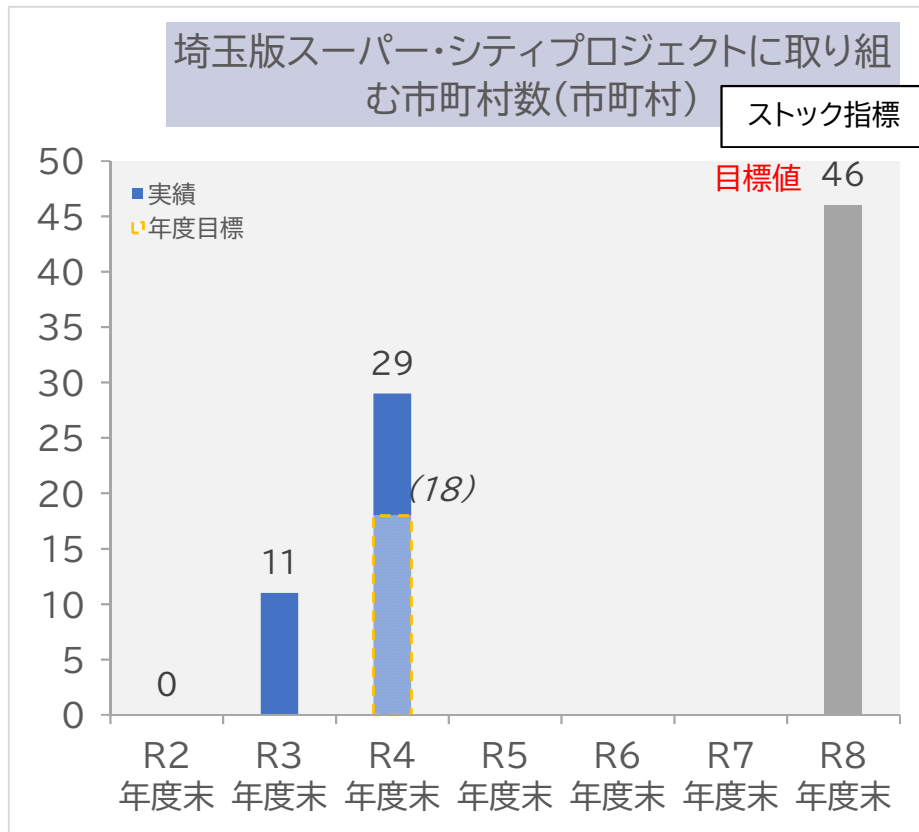
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 土地区画整理事業や市街地再開発事業への一部補助など事業の実施と促進に取り組んだ結果、ほぼ年度目標に近い整備ができ、目標達成に向けて進んでいる。
- 引き続き、円滑な事業の実施と促進に取り組んでいく。

# 針路9

## 施策38 住み続けられるまちづくり

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
75. 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数	市町村	0 (R2年度末)	29 (R4年度末)	18 (R4年度末)	161.1%	年度目標達成	46 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

「埼玉版スーパー・シティプロジェクトの基本的な考え方(骨格)」に基づくまちづくりの検討に着手した市町村の数。

令和3年度に実施した市町村意向調査で取組意向を示した市町村において、プロジェクトに基づくまちづくりが進むことを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

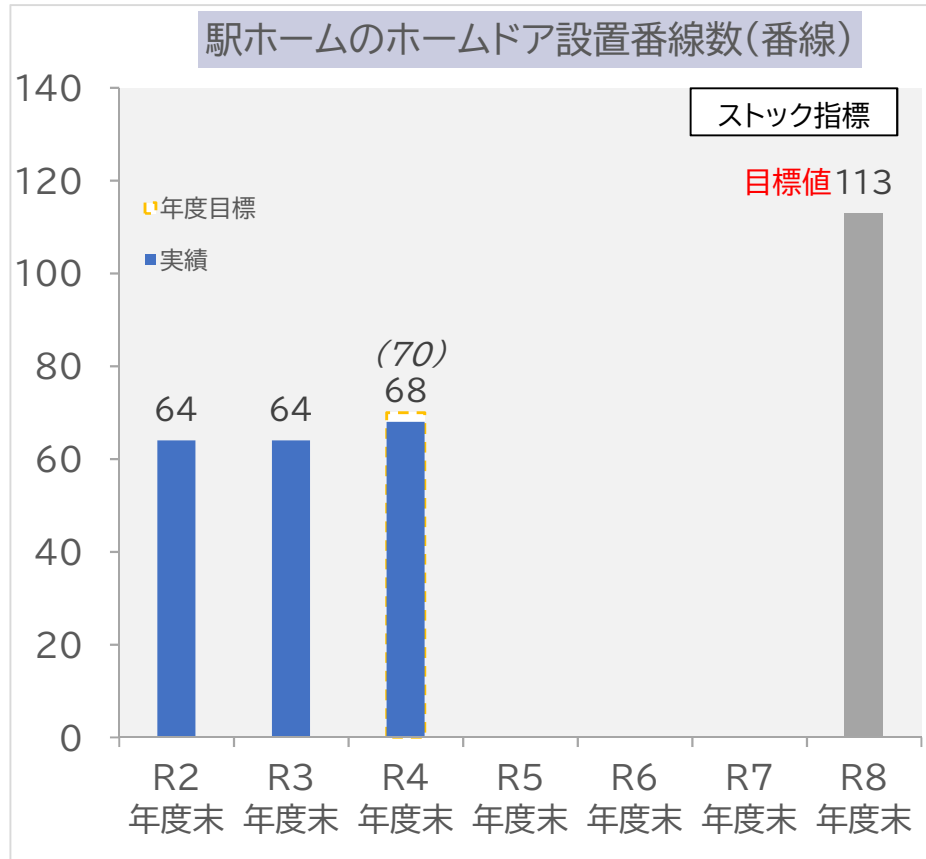
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- プロジェクトの推進に向け、ワンストップ窓口として各市町村からの相談に対応するとともに、プロジェクトに関する市町村説明会やまちづくりの先進事例等を学ぶセミナーを開催した。また、市町村を個別訪問し、今後のまちづくりに向けた意見交換を行った。
- 引き続き、プロジェクトに取り組む市町村に対して関係各課で構成するチームでの支援や財政支援、市町村勉強会の開催などを行う。また、応援企業等登録制度の推進や、市町村と企業等の交流機会の拡大及びマッチング強化を進めていく。

# 針路9

## 施策39 埼玉の価値を高める公共交通網の充実

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
76. 駅ホームのホームドア設置番線数	番線	64 (R2年度末)	68 (R4年度末)	70 (R4年度末)	97.1%	策定時より改善	113 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

ホームドアが設置されている駅の番線数。  
鉄道事業者が作成したホームドア整備計画に基づき、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 鉄道事業者が行うホームドアの整備を支援する市町村に対し、補助金による支援等を行った結果、策定時の数値を上回った。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響や半導体不足等による鉄道事業者の整備計画の見直し等により、年度目標に到達しなかった。
- 市町村と連携してホームドアの整備を行う鉄道事業者を支援していくなど、令和5年度においても引き続き取組を進めていく。

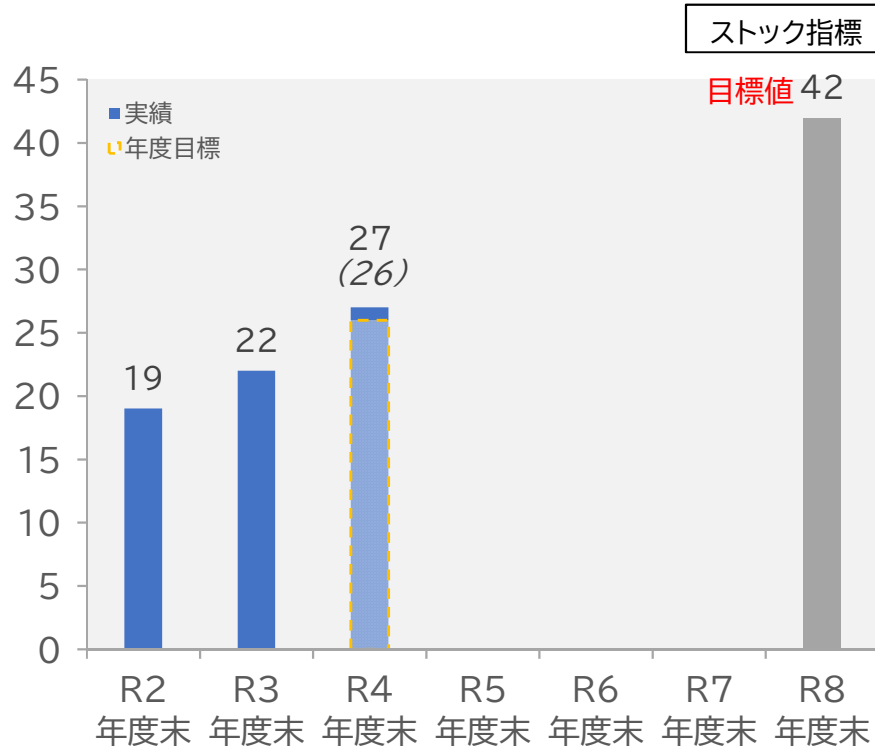
# 針路9

## 施策39 埼玉の価値を高める公共交通網の充実

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
77. 地域公共交通計画の策定市町村数	市町村	19 (R2年度末)	27 (R4年度末)	26 (R4年度末)	103.8%	年度目標達成	42 (R8年度末)

地域公共交通計画の策定市町村数(市町村)



#### ◀ 指標の説明 ▶

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」において、努力義務とされている地域公共交通計画(マスタープラン)を策定した市町村数。平成26年度から令和2年度までの策定実績を踏まえ、毎年度4件ずつ増加させることを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

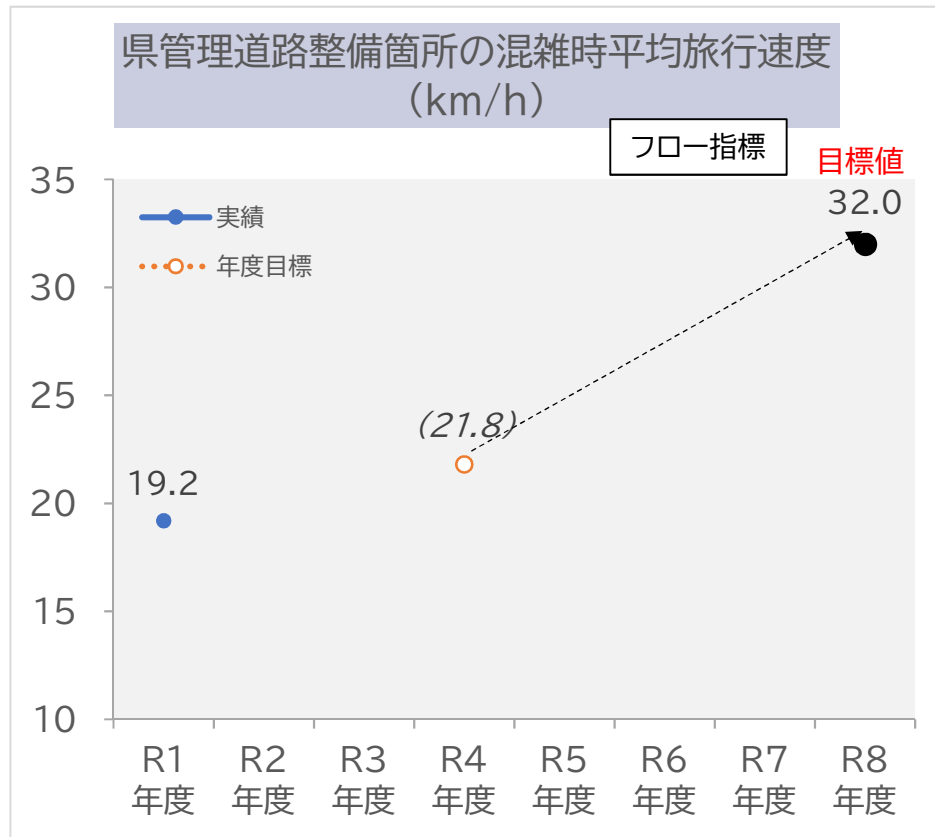
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 市町村が地域公共交通計画を策定するインセンティブとして、地域公共交通計画に基づく取組への財政支援を行うとともに、市町村向けの研修会や市町村の地域公共交通会議などを通して積極的に市町村に働きかけた結果、年度目標を上回った。
- 引き続き、地域公共交通計画策定のインセンティブとなる財政支援や研修会や交通会議を通じた市町村への積極的な働きかけによって、地域公共交通計画の策定促進を図る。

# 針路9

## 施策40 埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
78. 県管理道路整備箇所の混雑時平均旅行速度	km/h	19.2 (R1年度)	集計中 (-)	- (-)	-	-	32.0 (R8年度)



#### ◀ 指標の説明 ▶

朝夕ピーク時の混雑などを解消するために整備を進めている県管理道路における混雑時平均旅行速度。  
 自動車が円滑に走行できるよう道路整備を進めて渋滞が緩和し、全国平均(32.0km/h)水準まで改善することを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

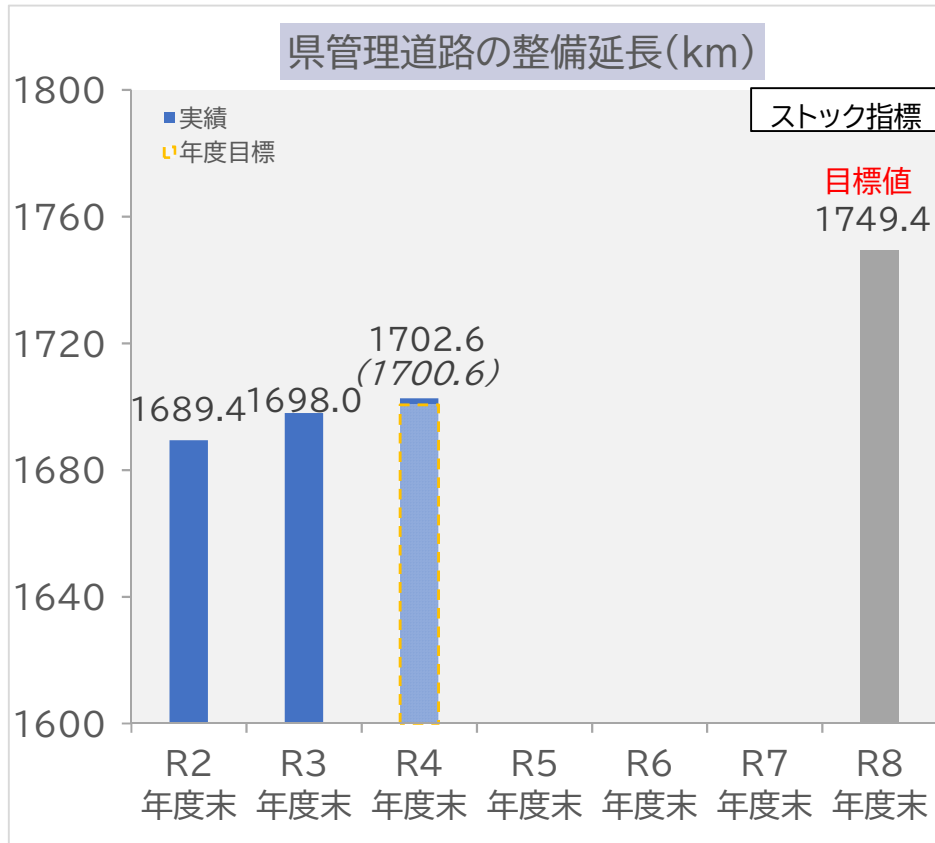
- 最新値は集計中である。
- 県管理道路延長の整備については、着実に達成しているため、旅行速度についても改善が想定される。
- 旅行速度の改善のために、引き続き県管理道路の整備などに取り組む。

# 針路9

## 施策40 埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築

### 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
79. 県管理道路の整備延長	km	1,689.4 (R2年度末)	1,702.6 (R4年度末)	1,700.6 (R4年度末)	100.1%	年度目標達成	1,749.4 (R8年度末)



#### ◀ 指標の説明 ▶

バイパス整備、現道拡幅及び交差点改良が行われた距離の累計。過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績を踏まえ、同水準の整備延長を完了することを目指し、目標値を設定。

#### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

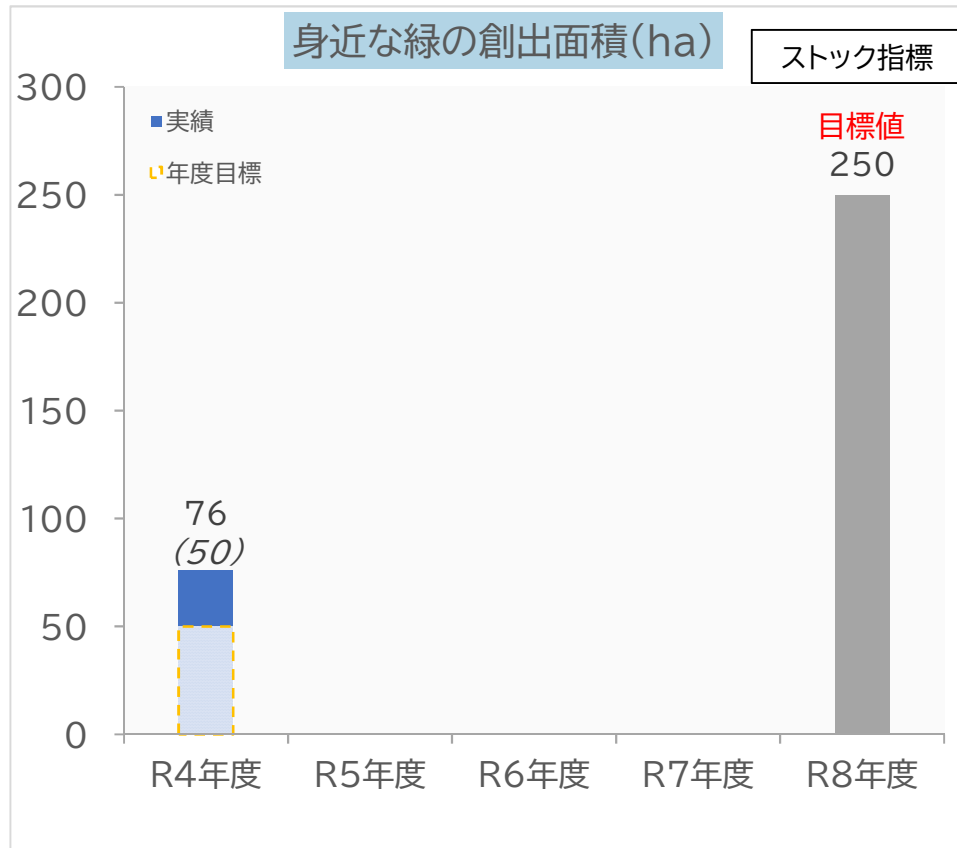
- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 道路整備に向けて関係者との協議が進んだため、年度目標を上回る県管理道路の整備延長となった。
- 協議が難航している整備予定箇所も含め、引き続き取組を進めていく。



# 針路10 施策41 みどりの保全と創出

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
80. 身近な緑の創出面積	ha	— (—)	76 (R4年度)	50 (R4年度)	152.0%	年度目標達成	250 (R4~R8年度の累計)



### ≪ 指標の説明 ≫

県や市町村の条例に基づく緑化計画届出制度等による緑化面積及び園庭・校庭の芝生化などによる緑の創出面積の合計。  
類似制度を持つ都府県の中でトップクラスの創出面積を目指し、毎年50haを目標値に設定。

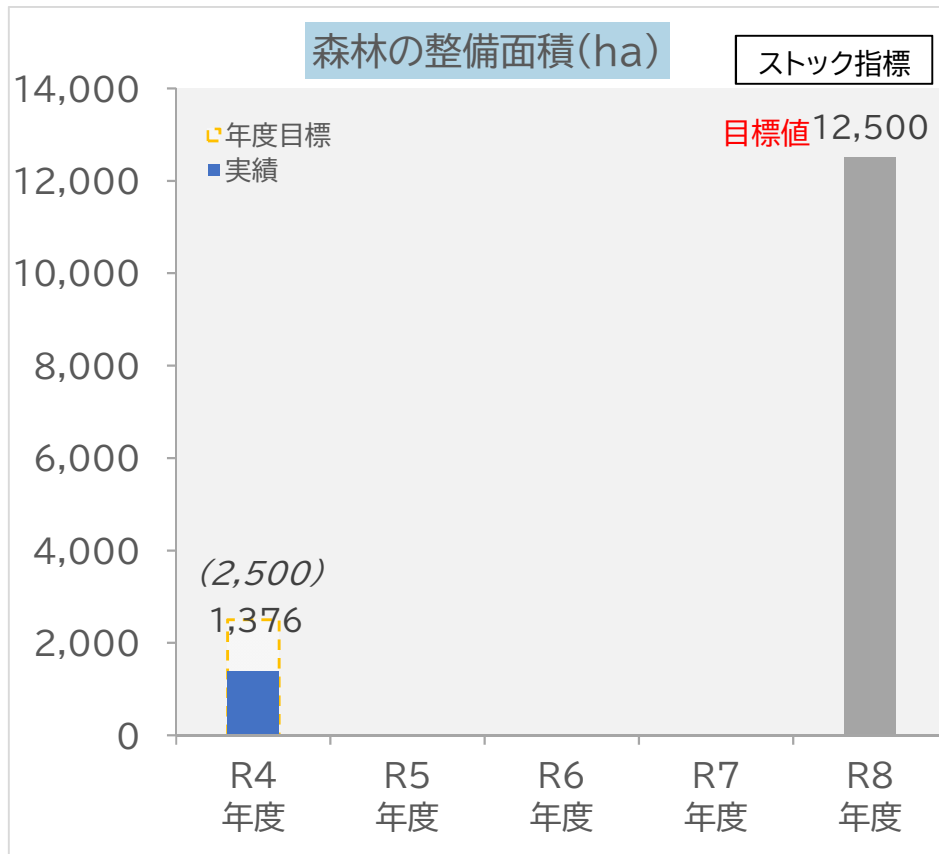
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 緑化計画届出については適切に届け出がされているか、建築確認データをもとに未届者への指導を適宜行っており、地道な指導が目標達成につながっているといえる。
- 緑化計画届出制度では事業者側に維持管理などの面で負担をかける一面もあることから、認定・表彰制度を引き続き継続し、事業者側の実績として箔をつけるだけでなく、「埼玉県みどりのアドバイザー制度」により支援する。

# 針路10 施策41 みどりの保全と創出

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
81. 森林の整備面積	ha	— (—)	1,376 (R4年度)	2,500 (R4年度)	55.0%	策定時より改善	12,500 (R4～R8年度の累計)



### ≪ 指標の説明 ≫

間伐や植栽、下刈りなどの森林整備を実施した面積。  
将来にわたり森林を適正に維持していくため、間伐や植栽、下刈り、獣害等による被害地の再生などの森林整備を、年間2,500ha実施することを目指し、目標値を設定。

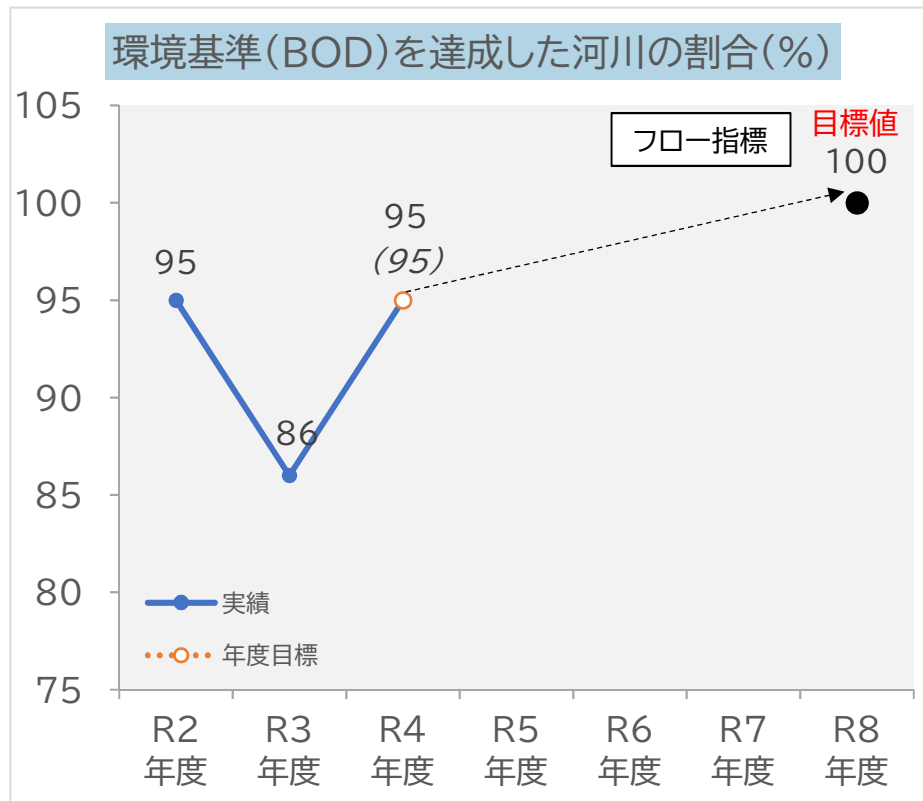
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 間伐や植栽、下刈などに取り組んだものの、市町村の森林環境譲与税を活用した森林整備がまだ十分に行われていないこと、コロナ禍で減少したボランティアによる森林整備がコロナ前の水準まで戻っていないこと、県道の土砂崩落による事業の一部中止などにより、年度目標を下回った。
- 森林環境譲与税を活用した森林整備が進むよう市町村を支援するとともに、森林ボランティア団体と積極的に意見交換を行い、ボランティアがより活動しやすい状況を作り、森林整備面積の向上を図る。

# 針路10 施策42 恵み豊かな川との共生

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
82. 環境基準(BOD)を達成した河川の割合	%	95 (R2年度)	95 (R4年度)	95 (R4年度)	100.0%	年度目標達成	100 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

「埼玉県公共用水域水質測定計画」に基づく測定を行う河川におけるBOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準の達成率。  
測定対象の全ての河川で環境基準を達成することを目指し、目標値を設定。

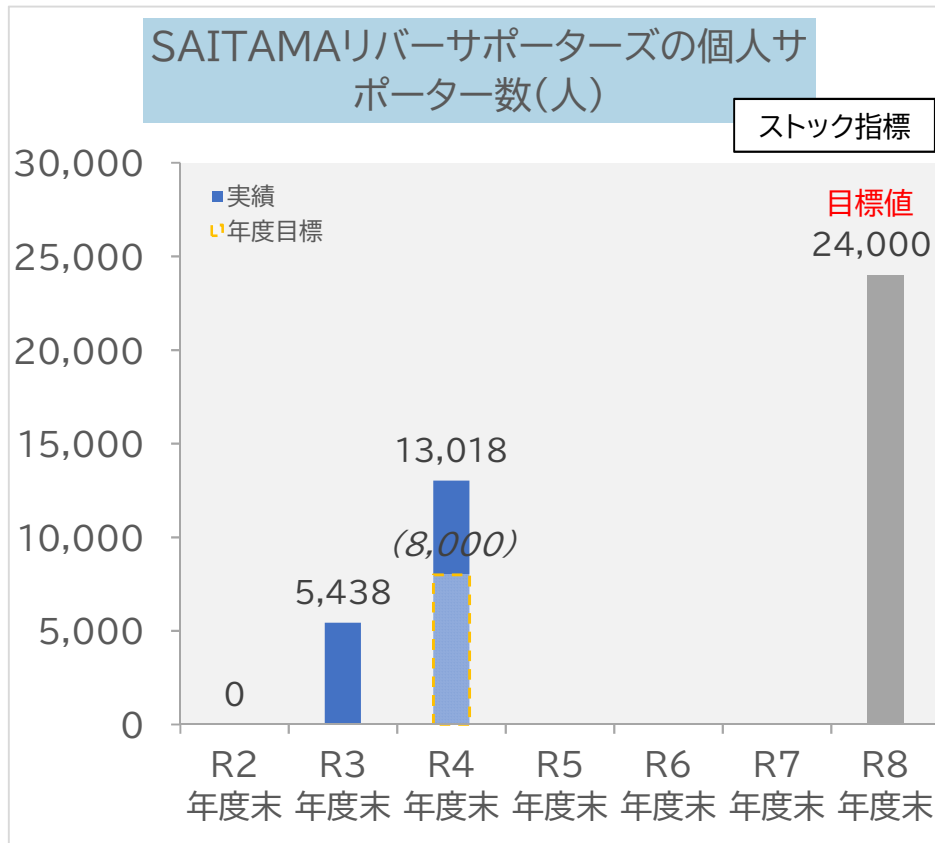
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 河川水質を改善するためには、その原因の約7割を占める生活排水を適切に処理することが重要であるところ、当該生活排水処理率向上に伴い河川水質も改善してきている。
- 引き続き、下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備による生活排水処理率の向上を図っていく。

# 針路10 施策42 恵み豊かな川との共生

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
83. SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数	人	0 (R2年度末)	13,018 (R4年度末)	8,000 (R4年度末)	162.7%	年度目標達成	24,000 (R8年度末)



### ≪ 指標の説明 ≫

川との共生や保全に取り組むSAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数。

過去の市町村や環境団体によるイベント等への参加者数の年平均2,700人を踏まえ、それを上回る数の個人サポーターの増加(年間4,000人)を目指し、目標値を設定。

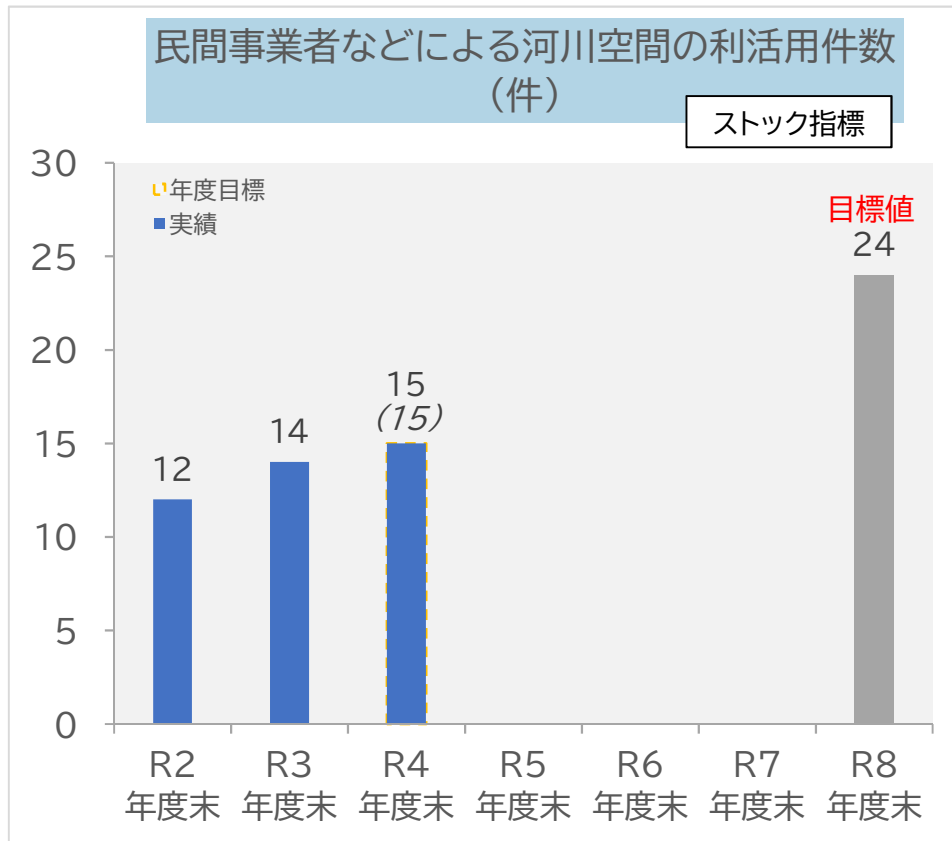
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 新規登録促進や登録継続のため、生き物調査、川遊びイベントなど川を楽しむ情報の発信、河川清掃活動の協力者募集や川の国応援団の活動の発信、川での活動に役立つ情報やコラムの発信などを行った。令和4年度は川に行く機会がある人に清掃活動を実施していただくなど、川の保全や共生に繋がる民間企業の取組を支援し、拡大を図った。
- これまでの情報発信を継続して行うほか、令和5年度は鉄道ファンやハイキング愛好者をターゲットに取組を行い、取組を拡大していく。

# 針路10 施策42 恵み豊かな川との共生

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
84. 民間事業者などによる河川空間の利活用件数	件	12 (R2年度末)	15 (R4年度末)	15 (R4年度末)	100.0%	年度目標達成	24 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

県管理河川において民間事業者などが河川空間を安らぎとにぎわいの場として利活用する件数。  
民間事業者などと連携して新たに河川空間を利活用する件数として、これまでの取組実績などを踏まえ、目標値を設定。

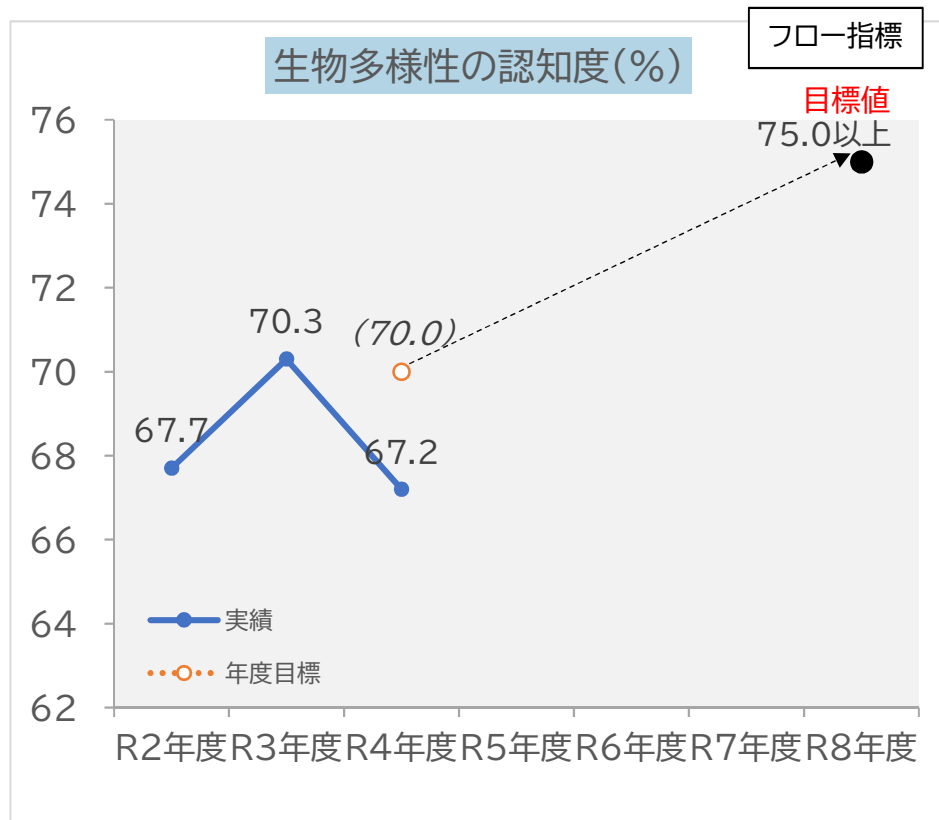
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 民間事業者等が河川空間の商業利用に意欲を持つよう、先行事例について幅広くSNS等で情報発信を行った。
- 市町村からの相談・要望をヒアリングしながら、地元市町村が事務局の利用調整協議会で、地域活性化の方針、施設使用者の募集方法、選定方法等を審議し、「水辺空間とことん活用プロジェクト」による河川空間の利活用件数の増加を図る。「水辺deベンチャーチャレンジ」にて、実施候補箇所(13箇所)の具体的な利活用計画の検討を進める。

# 針路10 施策43 生物多様性の保全

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
85. 生物多様性の認知度	%	67.7 (R2年度)	67.2 (R4年度)	70.0 (R4年度)	96.0%	策定時より後退	75.0以上 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県政世論調査で「生物多様性」という言葉について、言葉の意味も含め知っている又は言葉は聞いたことがあると回答した県民の割合。  
 国の「生物多様性国家戦略」の数値目標に合わせて設定した「埼玉県生物多様性保全戦略」の目標値(75.0%以上)を踏まえ、目標値を設定。

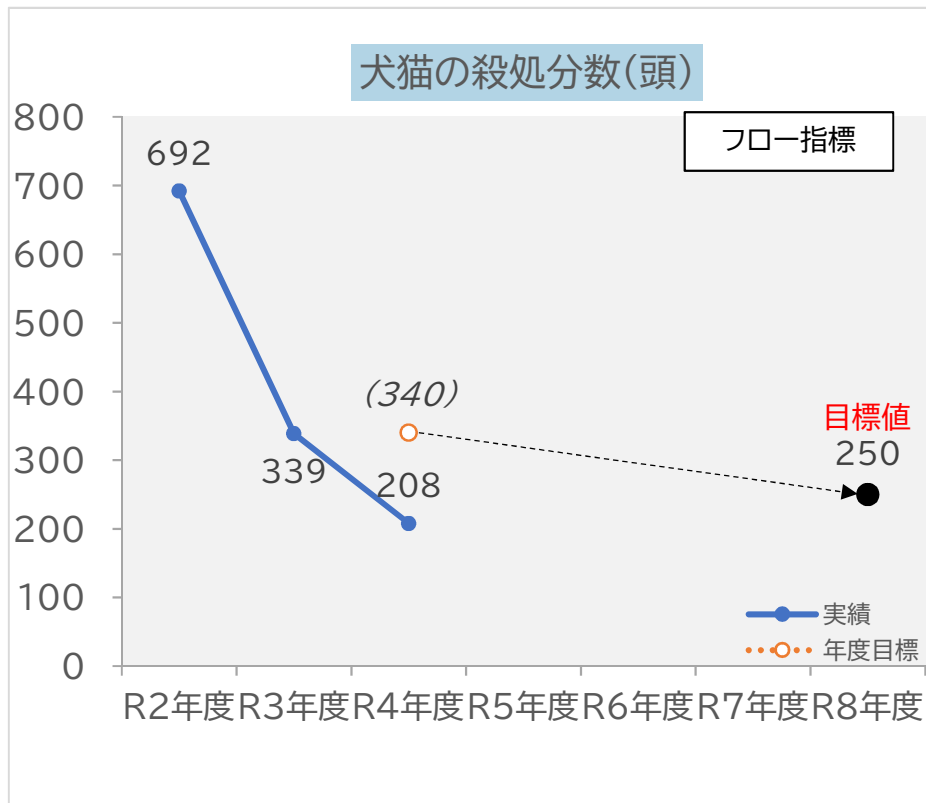
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- 県政出前講座や自然ふれあい施設における講座・イベント開催等を通じ、生物多様性についての普及啓発に取り組んだが、講座、イベント等に参加しづらいと考えられる40、50代の認知度が低く、最新値は策定時からやや下回った。
- 日常生活の中で目につきやすくすることも意識しつつ、様々な手法で継続的に情報発信することが重要であるため、今後は出前講座等の実施に加え、HP・SNSや県広報物等あらゆる機会・媒体を活用し、分かりやすく効果的な情報発信に努めていく。

# 針路10 施策43 生物多様性の保全

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
86. 犬猫の殺処分数	頭	692 (R2年度)	208 (R4年度)	340 (R4年度)	163.5%	最終目標を上回る	250 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県(指定都市及び中核市を含む)が収容した犬猫のうち殺処分された数。  
 「埼玉県動物愛護管理推進計画(第二次改定版)」において、令和12年度末までに犬猫の殺処分数ゼロの達成を目指していることを踏まえ、目標値を設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

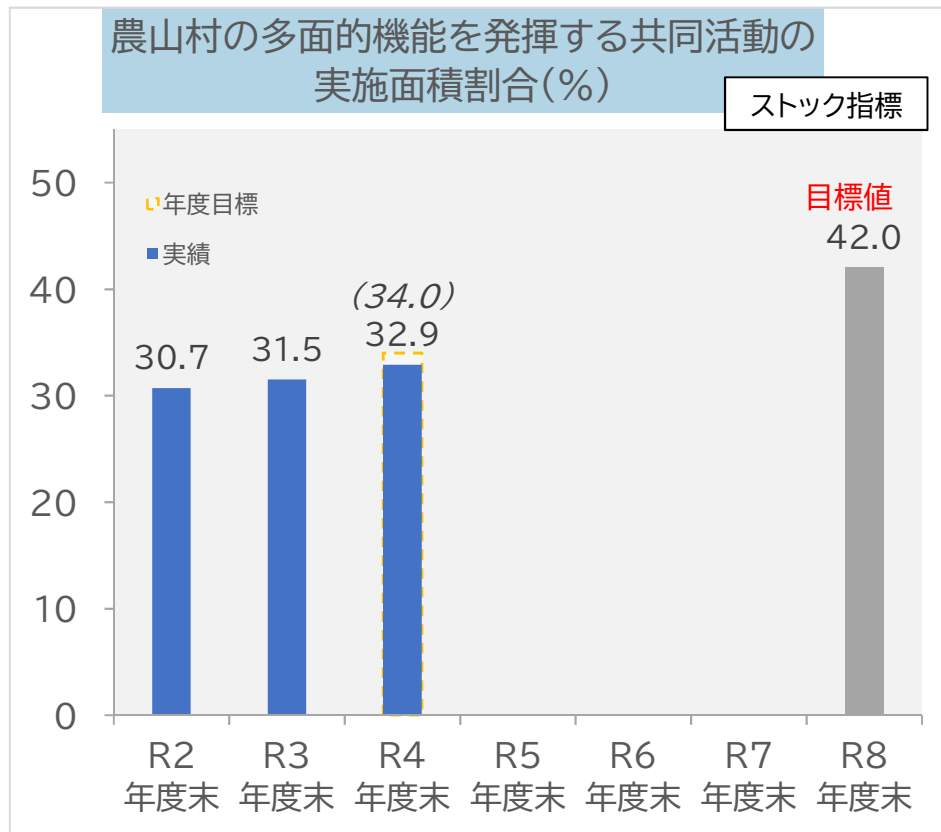
- 最新値は最終目標値以上の水準にあり、順調に推移している。
- 野良猫の繁殖抑制により、殺処分数の多くを占める飼い主不明の猫の収容数が大幅に減少したことや、ボランティア等と連携した譲渡事業の促進に取り組んだことなどにより、最終目標を前倒して達成した。
- 今後も引き続き、犬猫の適正飼養の啓発や、飼い主のいない猫の繁殖抑制と譲渡事業の拡充等を進め、更なる殺処分数削減に取り組んでいく。



# 針路10 施策44 活力ある農山村の創造

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
87. 農山村の多面的機能を発揮する共同活動の実施面積割合	%	30.7 (R2年度末)	32.9 (R4年度末)	34.0 (R4年度末)	96.8%	策定時より改善	42.0 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

農振農用地(田畑)に占める、農地や農業用排水路の草刈りや泥上げなど地域の共同活動を実施した面積の割合。  
過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績値の伸び(年平均約2ポイント)を踏まえ、同等の伸びを維持することを目指し、目標値を設定。

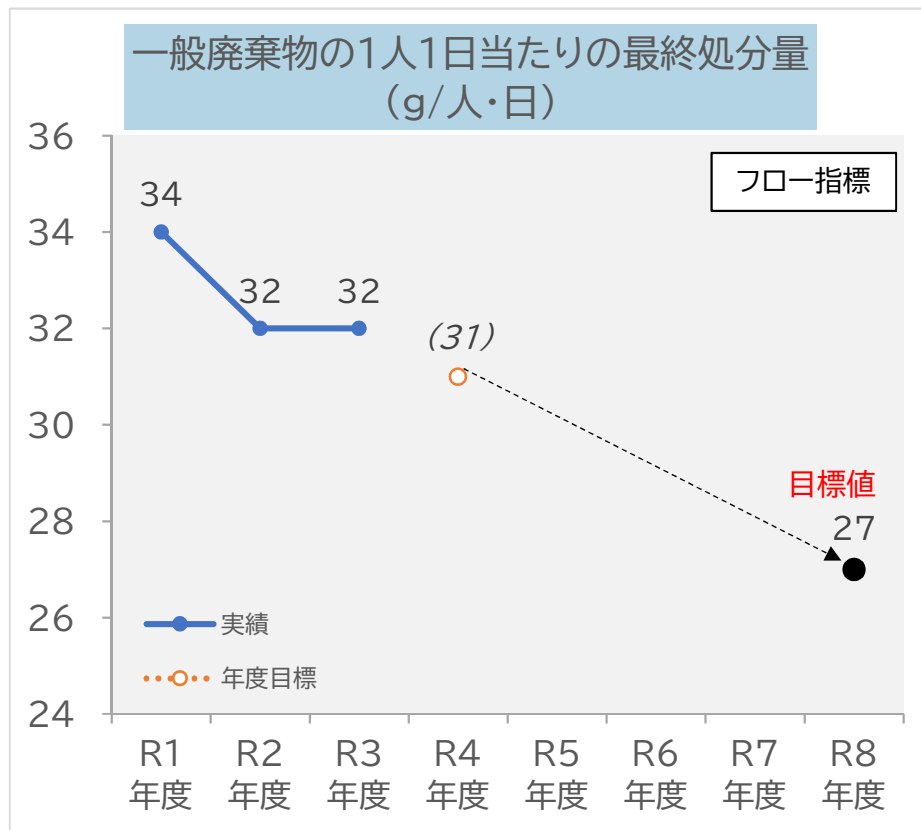
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 説明会やPR活動を実施したものの、高齢化等により地域のリーダーや活動を行う人材の確保が難しい状況もあり、年度目標に及ばなかった。
- 目標達成に向け、各市町村に重点推進地区を設定し、地域の実情に応じて推進するとともに、説明会の実施やPR活動を行い、制度への理解を進め、事業の拡大を図っていく。

# 針路10 施策45 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
88. 一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量	g/人・日	34 (R1年度)	32 (R3年度)	— (—)	—	—	27 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

1人1日当たりの一般廃棄物の最終処分(埋立処分)量。  
国の基本方針における削減目標を踏まえて設定した「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」における令和7年度の目標値(28g/人・日)を更に削減することを目指し、目標値を設定。

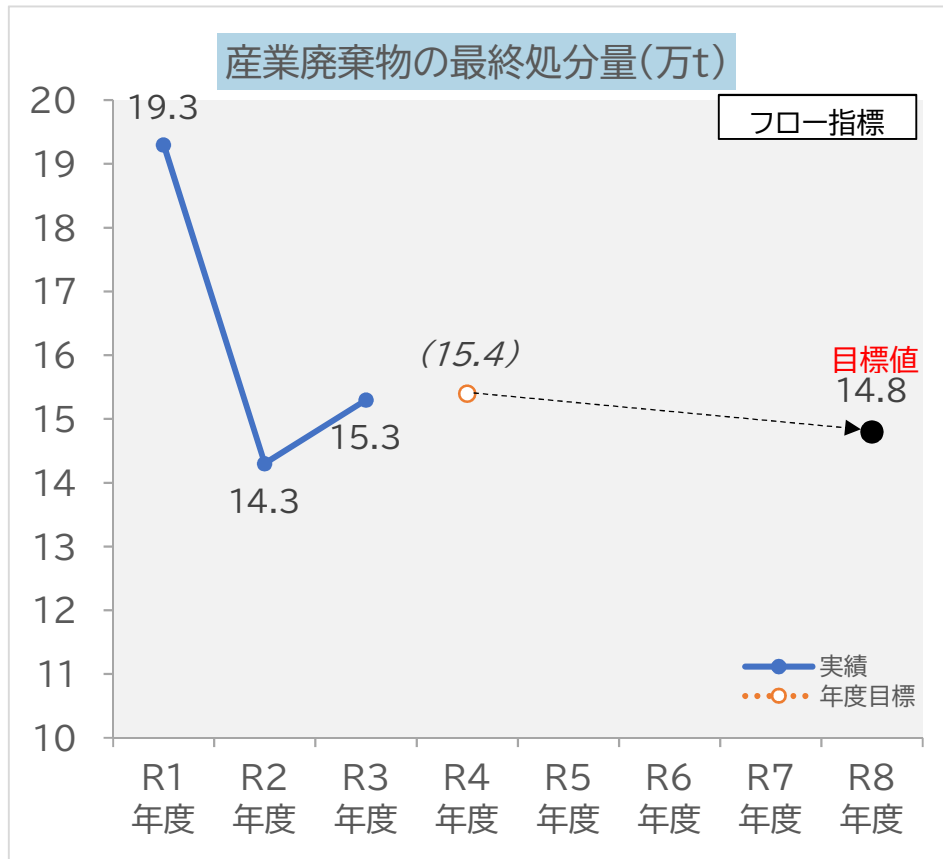
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- ごみを出さないライフスタイルの普及や食品ロス削減に取り組んだほか、資源化を行う民間業者での処理が進み、策定時より改善した。
- 今後も引き続き、ごみを出さないライフスタイルの普及や食品ロス削減などに取り組み、更なる削減を図る。

# 針路10 施策45 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
89. 産業廃棄物の最終処分量	万t	19.3 (R1年度)	15.3 (R3年度)	- (-)	-	-	14.8 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

年間の産業廃棄物の最終処分(埋立処分)量。  
国の基本方針における削減目標を踏まえて設定した「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」における令和7年度の目標値(15万t)を更に削減することを目指し、目標値を設定。

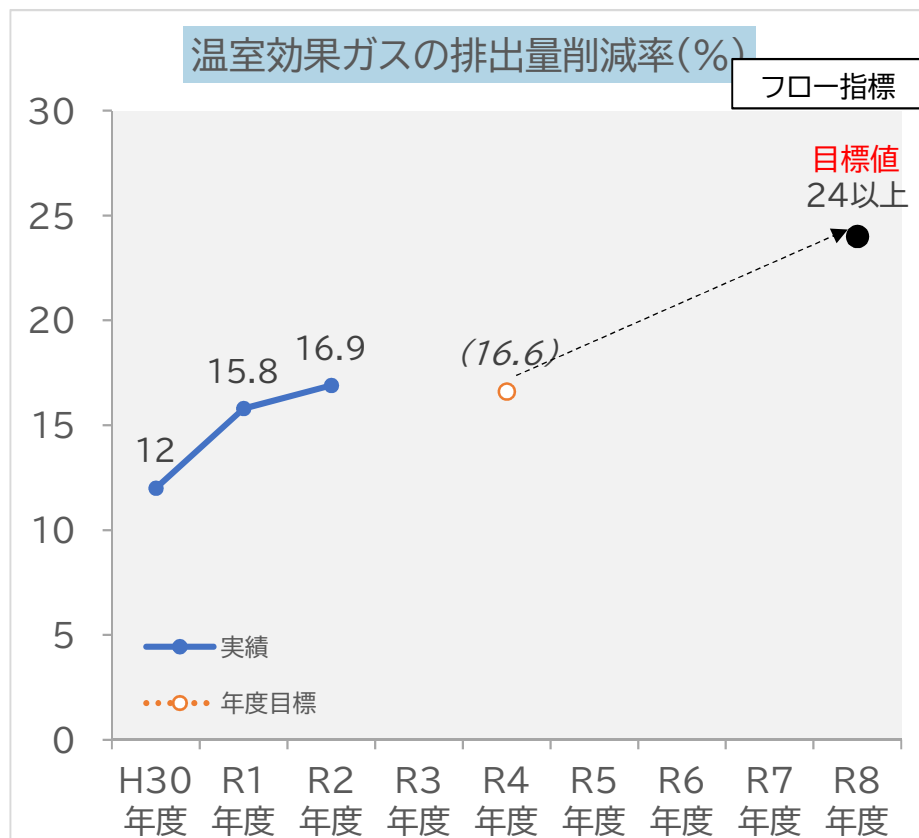
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 建設廃棄物などの再資源化推進等の取組を進め、令和元年度はアジア全体に拡大した廃プラスチックの禁輸措置等の影響により一時的に後退したが、策定時より改善した。
- 今後も引き続き、これまで廃棄されていたプラスチック製品を資源として回収し、事業者等と連携してリサイクルに取り組み、更なる削減を図る。

# 針路10 施策46 地球環境に優しい社会づくり

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
90. 温室効果ガスの排出量削減率	%	12 (H30年度)	16.9 (R2年度)	- (-)	-	-	24以上 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

県全体の温室効果ガス排出量の削減率(平成25年度(2013年度)比)。  
 令和32年(2050年)までの脱炭素社会の実現を旨とした「地球温暖化対策の推進に関する法律」の改正を踏まえ、目標値を設定。  
 ※国の「地球温暖化対策計画」改定後、5か年計画期間中に目標値を再設定。

### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

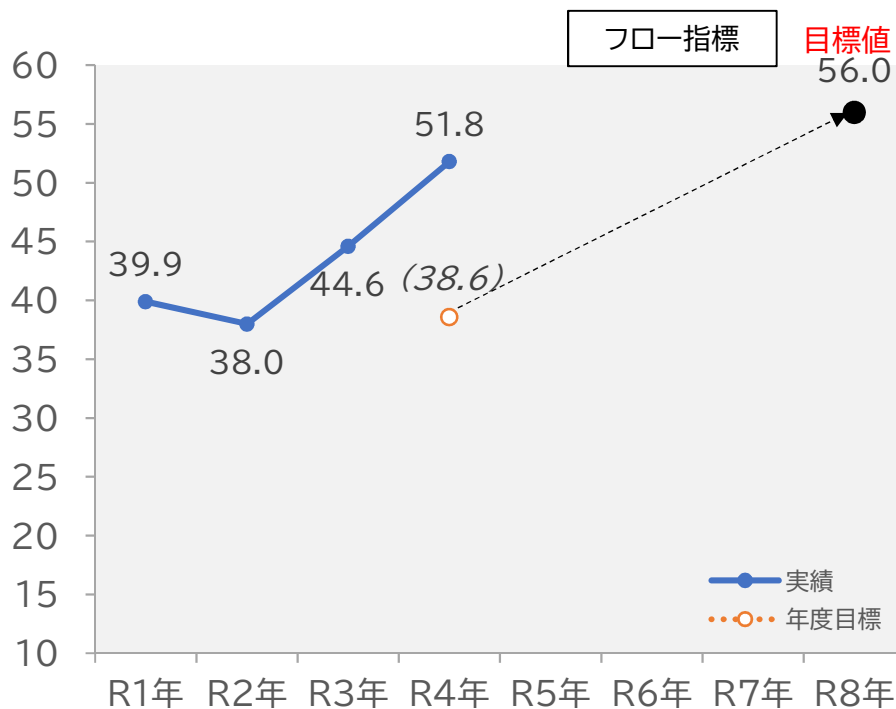
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 住宅や事業活動における省エネ対策等に取り組んだ結果、産業、業務、家庭部門を中心に削減が進んだ。
- 目標設定型排出量取引制度の推進、中小企業の省エネ対策の支援、家庭部門の省エネ推進などに取り組むとともに、再生可能エネルギーの普及拡大や増加傾向にあるフロン類の排出抑制対策を進め、温室効果ガス排出量の削減を図っていく。

# 針路10 施策46 地球環境に優しい社会づくり

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
91. 新車販売台数における電動車の割合	%	39.9 (R1年)	51.8 (R4年)	38.6 (R4年)	134.2%	年度目標達成	56.0 (R8年)

新車販売台数における電動車の割合(%)



### ◀ 指標の説明 ▶

乗用車の新車販売における電動車(ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車及び燃料電池自動車)の割合。  
 国の「グリーン成長戦略」の目標(2030年代半ばまでに、乗用車新車販売で電動車100%を実現)を踏まえ、令和17年(2035年)までに電動車の割合100%を達成することを目指し、目標値を設定。

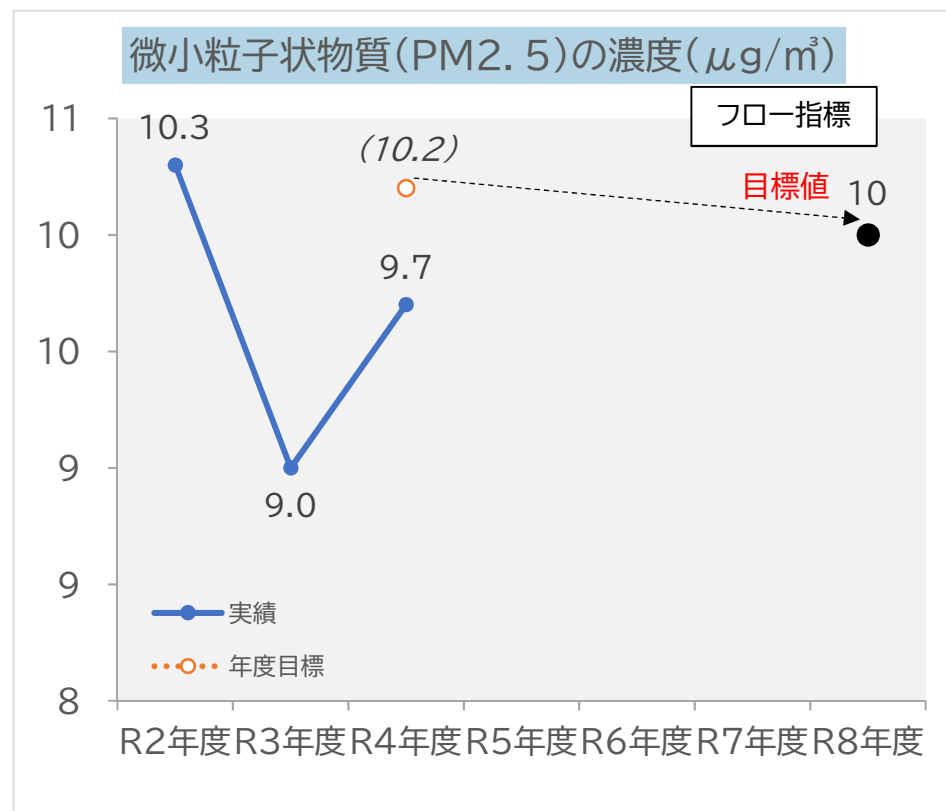
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 国のクリーンエネルギー自動車導入促進補助金等の影響により、全国的に乗用車の新車販売台数における電動車割合が上昇した。(埼玉県 R3:44.6% → R4:51.8%、全国 R3:44.7% → R4:52.1%)
- 令和4年度途中から、電気自動車等導入費補助事業を新たに開始した。令和5年度も補助金を継続し、EV、PHV等の電動車の普及促進を図る。

# 針路10 施策47 公害のない安全な地域環境の確保

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
92. 微小粒子状物質(PM2.5)の濃度	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	10.3 (R2年度)	9.7 (R4年度)	10.2 (R4年度)	105.2%	最終目標を上回る	10 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

大気中の微小粒子状物質(PM2.5)の年平均濃度。  
世界保健機関(WHO)のガイドライン値( $5\mu\text{g}/\text{m}^3$ )を見据え、国内の環境基準( $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ )より厳しく、近隣都県が掲げる最も厳しい目標値である $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ の達成を目指し、目標値を設定。

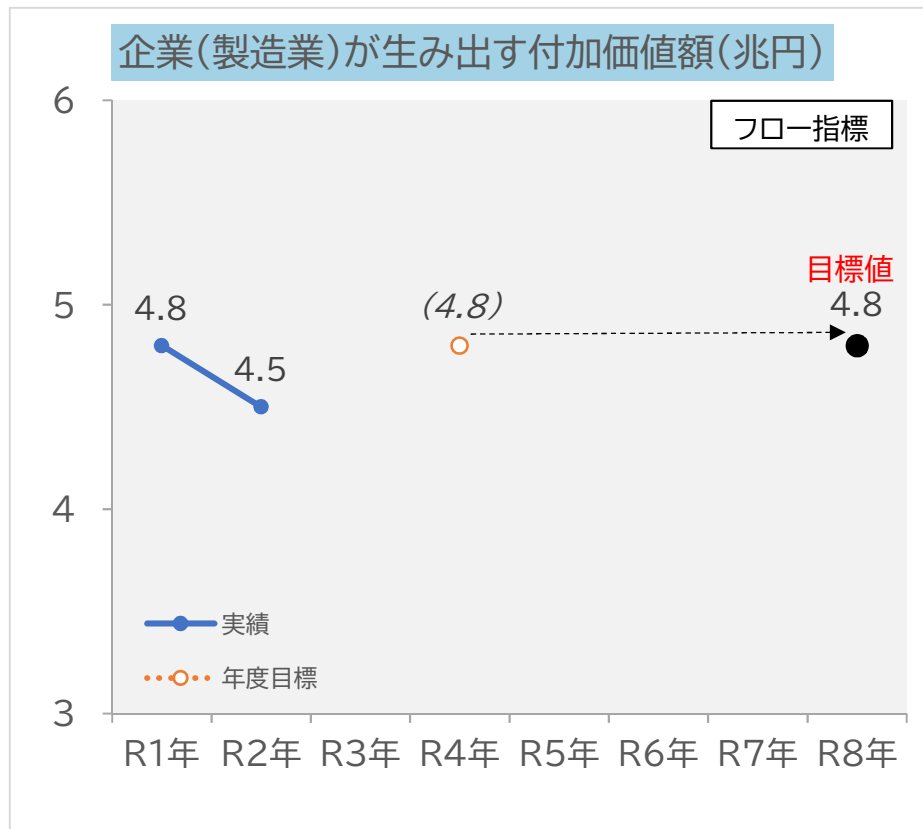
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は最終目標値以上の水準にあり、順調に推移している。
- 工場・事業場のばい煙規制や自動車排ガス対策などの取組を進めた結果、最終目標を達成した。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動が減ることでPM2.5濃度が減少した可能性も考えられるため、今後も引き続き取組を継続する。世界保健機関(WHO)のガイドライン値( $5\mu\text{g}/\text{m}^3$ )を見据えて取り組んでいく。

# 針路11 施策48 新たな産業の育成と企業誘致の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
93. 企業(製造業)が生み出す付加価値額	兆円	4.8 (R1年)	4.5 (R2年)	- (-)	-	-	4.8 (R8年)



### ≪ 指標の説明 ≫

従業者4人以上の製造業を営む事業所が生み出す付加価値額(事業所の生産活動において新たに生み出された価値。製造品出荷額などから原材料費や減価償却費などを差し引いたもの)。

成長が見込まれる分野の育成などの取組により、過去5年間の最大値(平成30年4.8兆円)の達成を目指し、目標値を設定。  
※新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す目標値。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

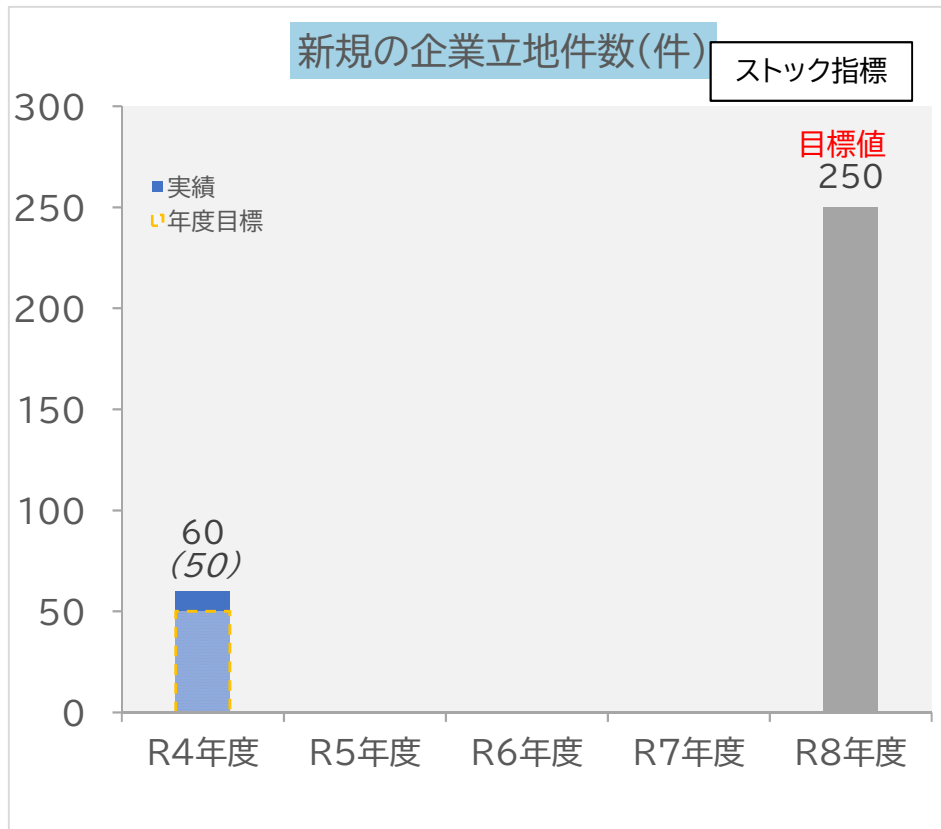
- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い、経済活動が制限されていたことなどの要因により、策定時の値(令和元年度)を下回っている。
- 成長が見込まれる分野の育成などに取り組むことで、新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す。



# 針路11 施策48 新たな産業の育成と企業誘致の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
94. 新規の企業立地件数	件	— (—)	60 (R4年度)	50 (R4年度)	120.0%	年度目標達成	250 (R4～R8年度の累計)



### ◀ 指標の説明 ▶

令和4年度以降、県内に立地した工場・研究所などの累計件数。過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績を踏まえ、産業団地など適地への立地を進め、毎年度50件の企業立地を目指し、目標値を設定。

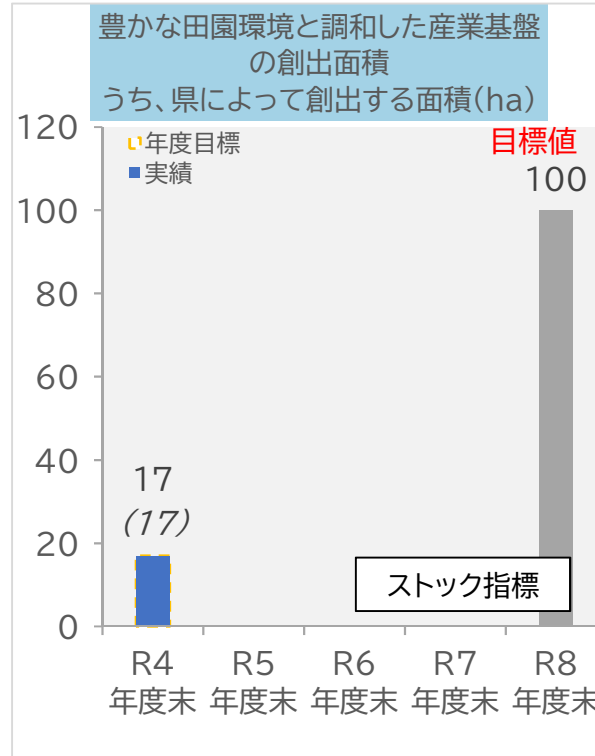
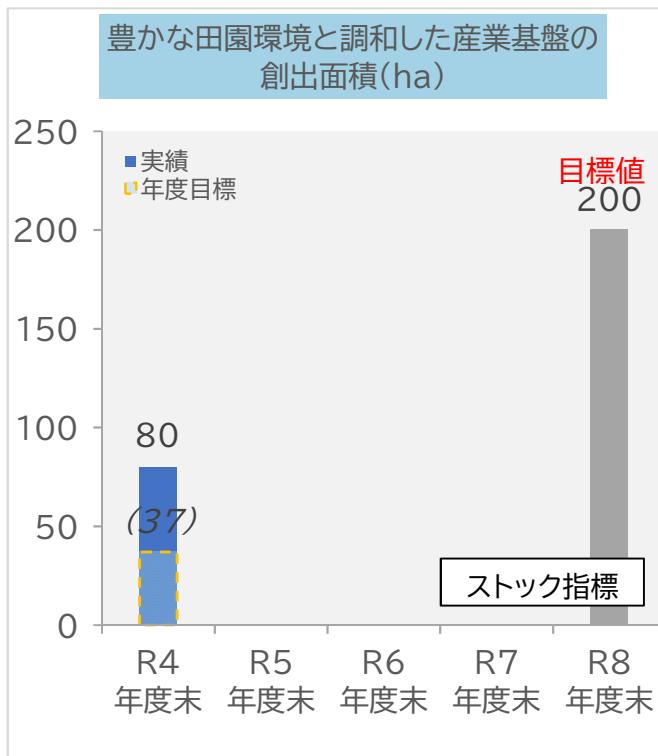
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 圏央道の暫定2車線区間の4車線化など交通利便性の更なる向上等を背景に、引き続き多くの企業から立地ニーズがあり、またオンラインも活用した積極的な企業誘致活動を行った結果、年度目標を達成した。
- 引き続き、市町村や金融機関等と連携したオール埼玉での企業誘致に取り組んでいく。

# 針路11 施策48 新たな産業の育成と企業誘致の推進

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
95. 豊かな田園環境と調和した産業基盤の創出面積	ha	— (うち、県によって 創出する面積)	80	37	216.2%	年度目標達成	200
		— (—)	17 (R4年度末)	17 (R4年度末)	100.0%		100 (R4~R8年度の累計)



### ◀ 指標の説明 ▶

計画的な開発により新たに整備された産業基盤の面積。  
各事業主体が令和8年度までに予定している産業基盤の整備などを着実に推進することを目指し、目標値を設定。

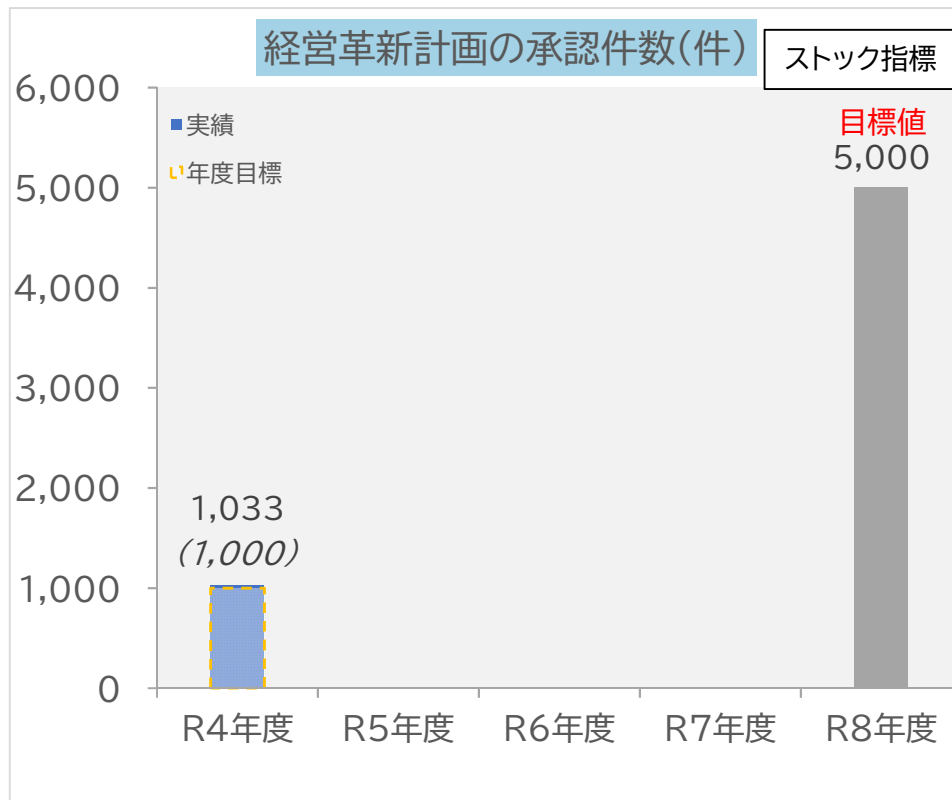
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 関係機関協議が順調に進んだことにより、計画を前倒しで達成することができた。
- 「埼玉の持続的成長を支える産業基盤づくり取組方針」に基づき、引き続き、豊かな田園環境と調和した産業基盤を創出する。

# 針路11 施策49 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
96. 経営革新計画の承認件数	件	— (—)	1,033 (R4年度)	1,000 (R4年度)	103.3%	年度目標達成	5,000 (R4～R8年度の累計)



### ◀ 指標の説明 ▶

「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画の知事の承認件数。過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績を踏まえ、毎年度1,000件程度の経営革新計画承認支援実績を維持することを旨とし、目標値を設定。

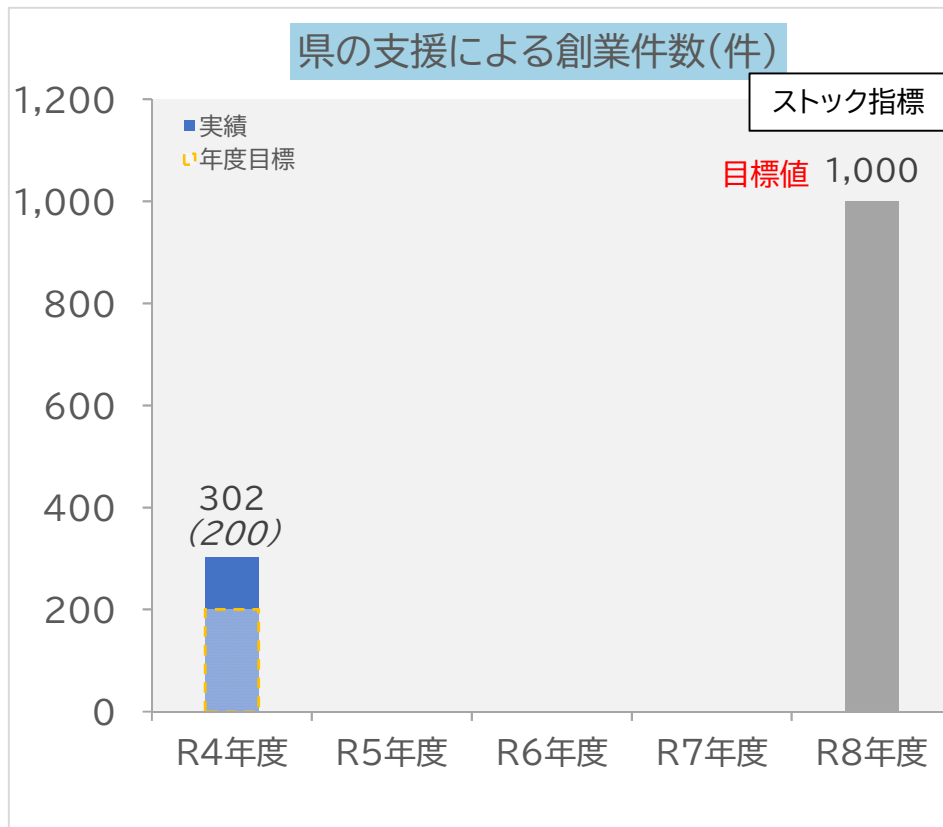
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 埼玉県では、県下の商工団体に推進事務費や専門家派遣費といった補助金(中小企業経営力向上補助金)を交付し、経営革新計画の策定から承認後のフォローアップまで一貫支援する仕組みを構築している。また、県では商工団体職員の資質向上のための研修会や、金融機関や土業団体との連携づくりにより、円滑に事務が遂行できるような環境整備に努めている。
- 引き続き、商工団体等と連携し、経営革新計画の策定から承認後のフォローアップまで一貫した支援を行っていく。

# 針路11 施策49 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
97. 県の支援による創業件数	件	— (—)	302 (R4年度)	200 (R4年度)	151.0%	年度目標達成	1,000 (R4～R8年度の累計)



### ≪ 指標の説明 ≫

県が支援したもので、県が把握する創業件数。  
過去5年間(平成28年度～令和2年度)の実績を踏まえ、毎年度200件程度の創業支援実績を維持することを目指し、目標値を設定。

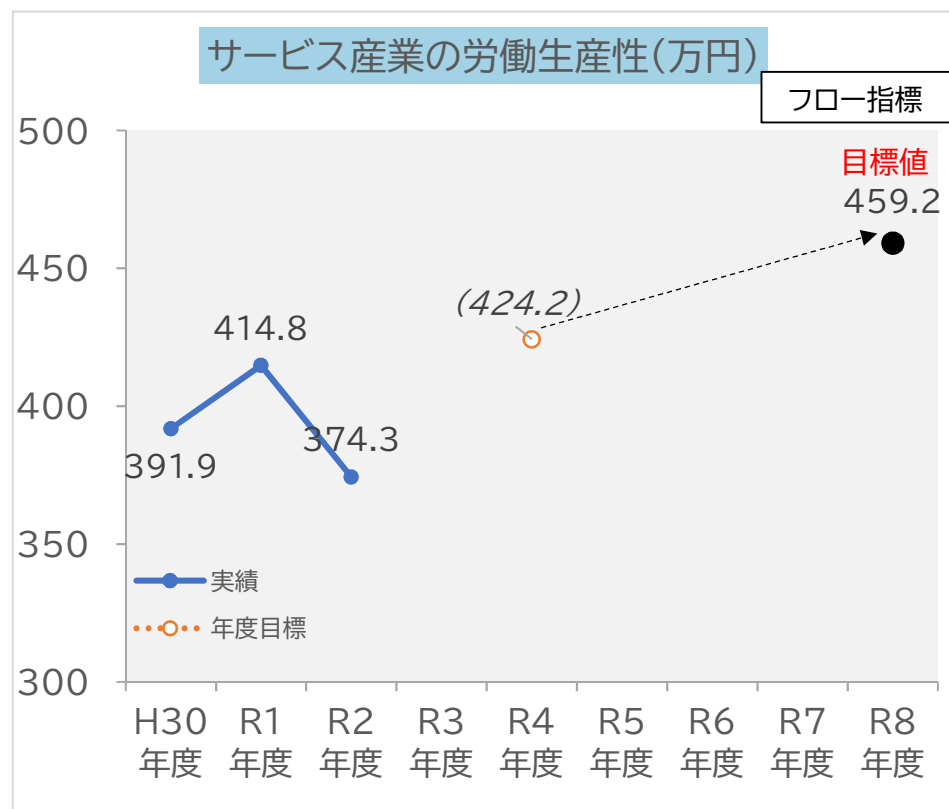
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 創業・ベンチャー支援センター埼玉における、オンライン相談の導入や女性に特化した支援などにより、利用者数が増加した結果、創業件数についても年度目標値を大きく上回った。
- 引き続き、創業・ベンチャー支援センター埼玉において、創業前後の一貫した支援を行っていく。

# 針路11 施策50 商業・サービス産業の育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
98. サービス産業の労働生産性	万円	391.9 (H30年度)	374.3 (R2年度)	- (-)	-	-	459.2 (R8年度)



### ≪ 指標の説明 ≫

サービス産業に従事する就業者1人当たりの県内純生産額(政府サービス・金融及びインフラ関連産業を除く)。  
サービス分野の生産性向上の取組により、サービス産業に従事する就業者1人当たり県内純生産額が毎年度2%以上向上することを目指し、目標値を設定。

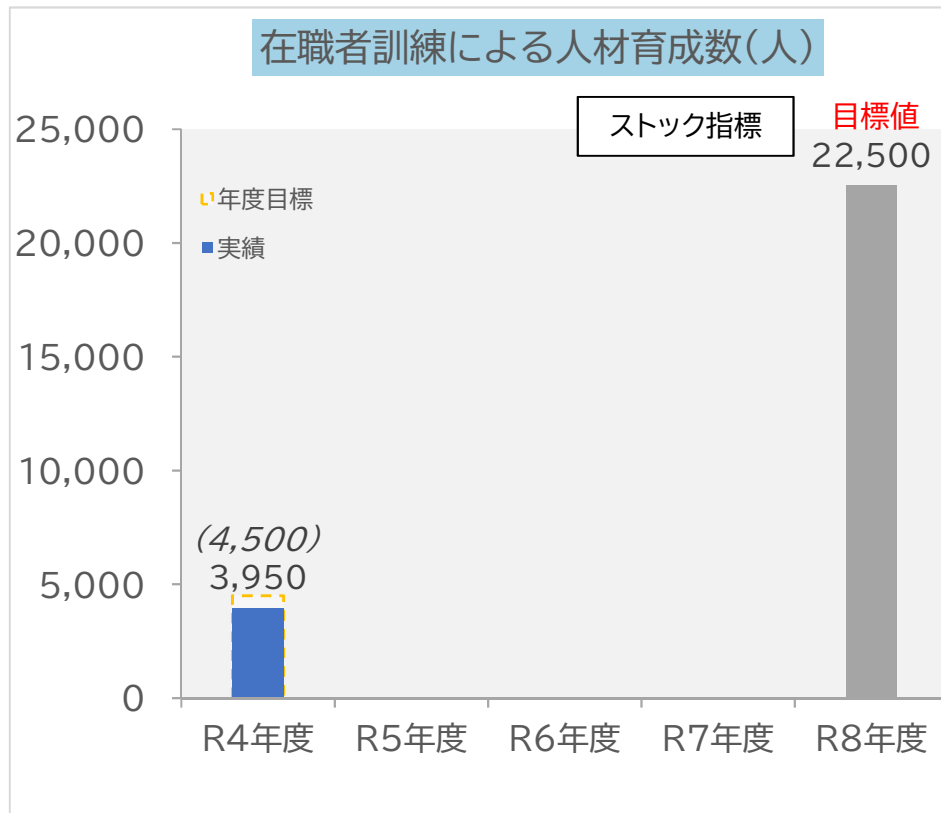
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 新型コロナウイルス感染症による影響もあり、令和2年度の数値は策定時の値を下回る結果となった。
- サービス産業の生産性向上のため、業種業態を問わず有効であるICTの導入について取組を進めて行く。特に、コロナ禍で消費者の利用が伸びたキャッシュレスやeコマースといった新たな決済・販売手法の活用を引き続き支援することで、商業・サービス産業事業者のデジタルトランスフォーメーションを後押ししていく。

# 針路11 施策51 産業人材の確保・育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
99. 在職者訓練による人材育成数	人	— (—)	3,950 (R4年度)	4,500 (R4年度)	87.8%	策定時より改善	22,500 (R4~R8年度の累計)



### ◀ 指標の説明 ▶

企業の従業員のスキルアップを図るために県が実施している技能講習を受講した人の数。

企業の従業員の人材育成支援について、令和元年度実績(4,356人)を上回る水準を維持することを目指し、目標値を設定。

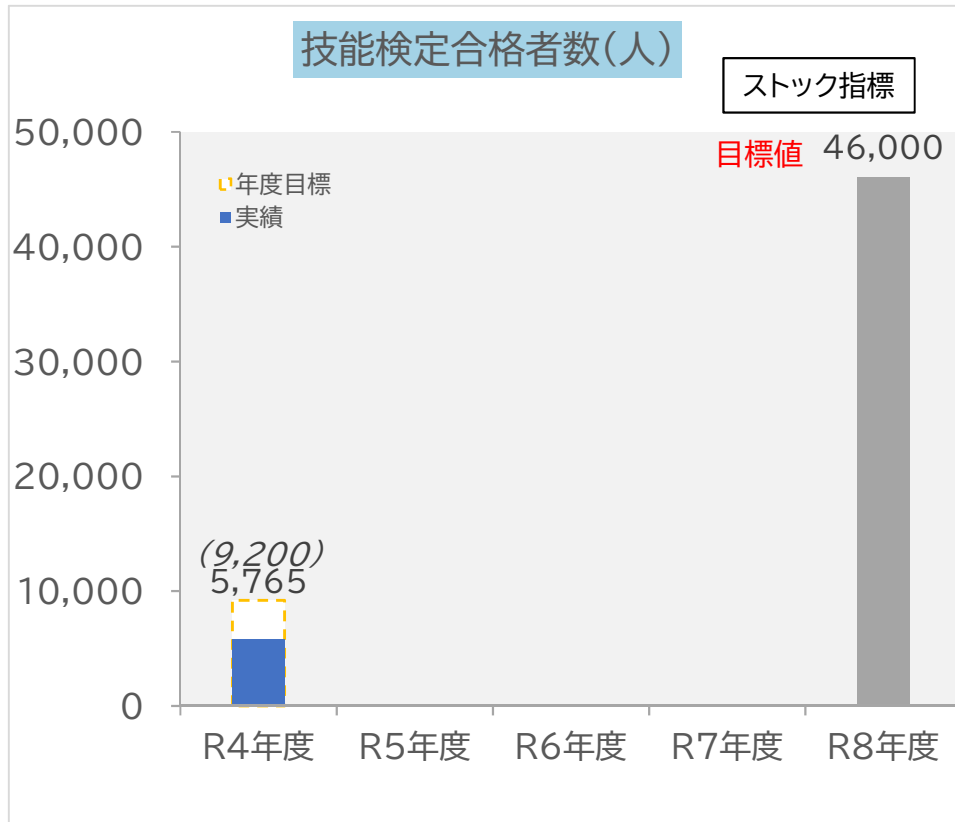
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により受講を控える方がいたと見られ、年度目標を下回ったと考えられる。
- 令和5年度はAI・IoTなどの講座を拡充して実施し、受講者数の増加に努める。

# 針路11 施策51 産業人材の確保・育成

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
100. 技能検定合格者数	人	— (—)	5,765 (R4年度)	9,200 (R4年度)	62.7%	策定時より改善	46,000 (R4～R8年度の累計)



### ≪ 指標の説明 ≫

主にものづくり分野の技能を公証する国家検定制度である技能検定の合格者数。  
技能検定合格者について、過去最高である令和元年度実績(9,238人)の水準まで回復させた上でそれを維持することを目指し、目標値を設定。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

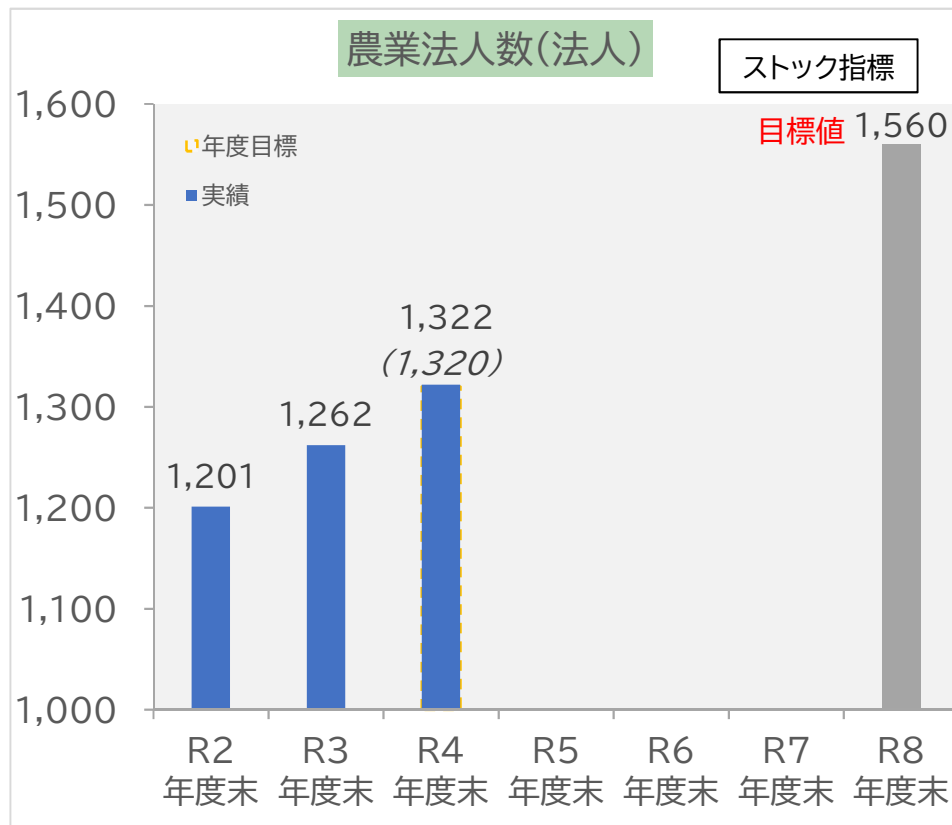
- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための水際対策により、技能実習生の入国が制限され、それに伴い受検者数及び合格者数が減少したと考えられる。
- 入国制限の緩和により、技能実習生の受検者及び合格者数は回復する見込みであり、引き続き、技能検定の適正な実施に取り組む。



# 針路12 施策52 農業の担い手育成と生産基盤の強化

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
101. 農業法人数	法人	1,201 (R2年度末)	1,322 (R4年度末)	1,320 (R4年度末)	100.2%	年度目標達成	1,560 (R8年度末)



### ◀ 指標の説明 ▶

農業組合法人、定款に農業に関する事業が明示されている法人の数。

国の「日本再興戦略(改訂2015)」における令和5年度の農業法人数の目標値(5万法人)を踏まえ、県におけるこれに相当する水準(1,380法人)を達成し、更に増加させることを目指し、目標値を設定。

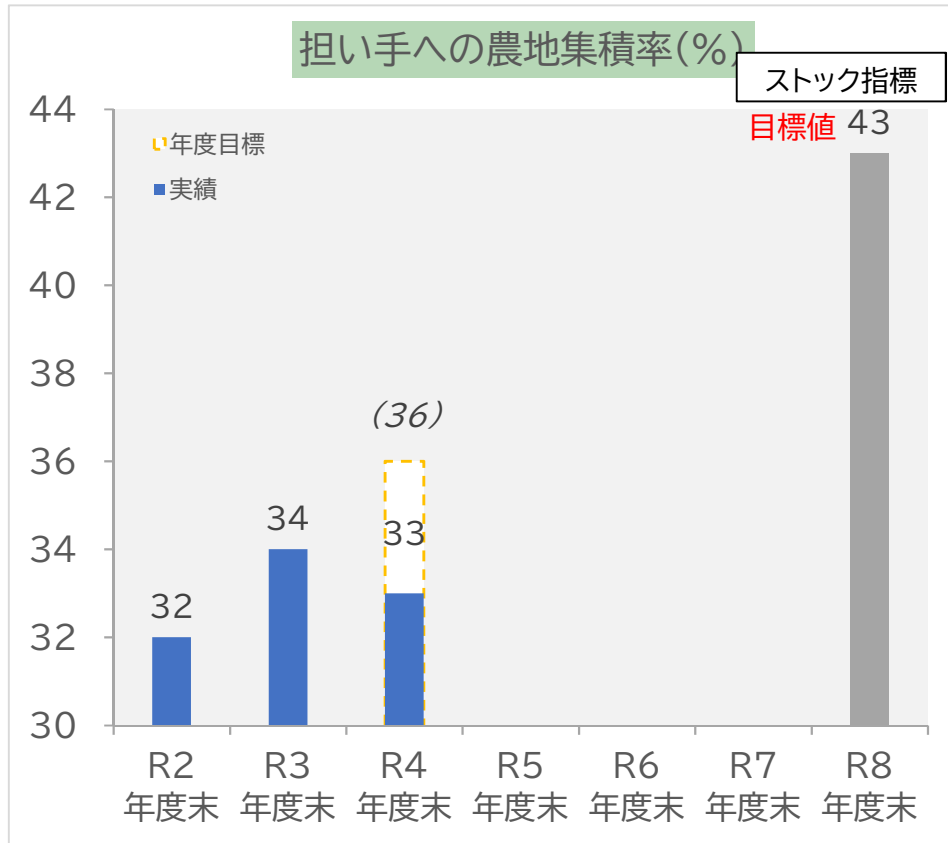
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は年度目標以上の水準にあり、順調に推移している。
- 農業経営・就農支援センターが経営相談会において、法人化を希望する農業経営体に対して法人化支援を行ったため、また、法人化を希望する経営体の掘り起こし活動を行ったため、円滑な法人化を支援することができ、年度目標を達成した。
- 昨年度に引き続き農業経営・就農支援センターによる伴走支援を行う。また、昨年度行った掘り起こし活動を基に、法人化数を確保する。

# 針路12 施策52 農業の担い手育成と生産基盤の強化

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
102. 担い手への農地集積率	%	32 (R2年度末)	33 (R4年度末)	36 (R4年度末)	91.7%	策定時より改善	43 (R8年度末)



### ≪ 指標の説明 ≫

農業振興地域を有する市町村において、認定農業者などの担い手が利用している耕地面積の割合。  
「農業経営基盤強化促進法」に基づき策定している「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」において、令和12年度末までに担い手への農地集積率が50%となることを目指していることを踏まえ、目標値を設定。

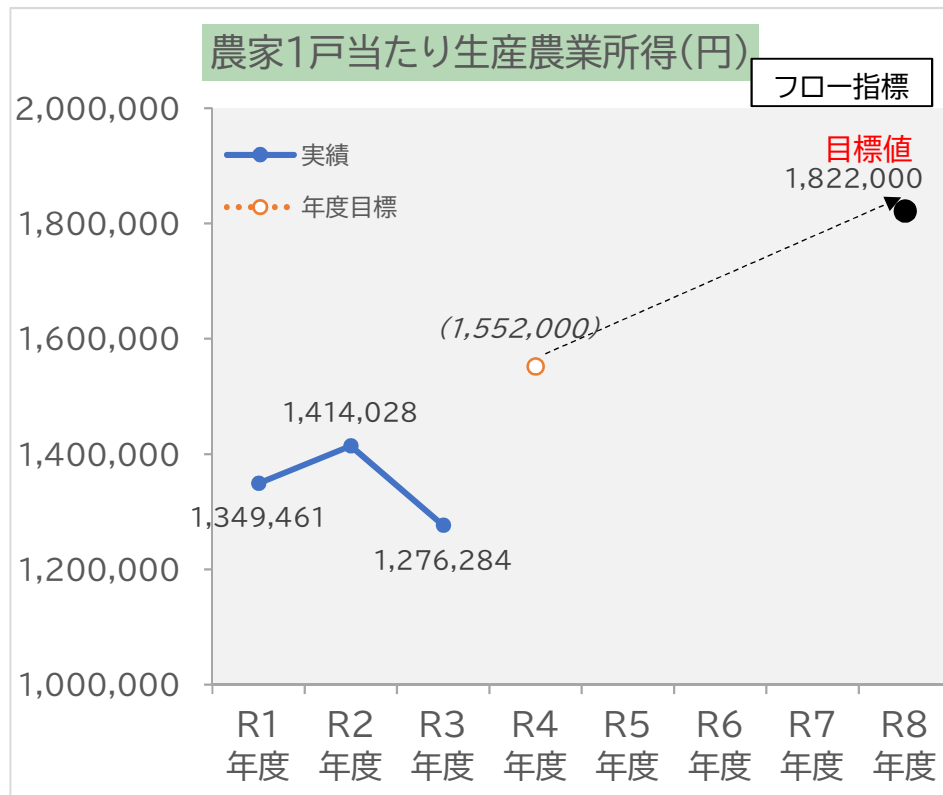
### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 高齢化に伴う経営面積の減少や死亡による耕作面積の減少など担い手から非担い手への移行(認定農業者制度の非更新等)が要因と考えられる。
- 高齢化に伴う、経営面積の減少や死亡により減少した面積の調査(特に減少率が高い市町村)や基本構想水準到達者の再確認による、担い手の見直しの実施を行うことで、取組を進める。

# 針路12 施策53 強みを生かした収益力ある農業の確立

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
103. 農家1戸当たり生産農業所得	円	1,349,461 (R1年度)	1,276,284 (R3年度)	- (-)	-	-	1,822,000 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

農家1戸当たりの農業経営による1年間の所得。  
過去5年間(平成27年度～令和元年度)の実績値の伸び率(年平均約5%)を踏まえ、令和元年度の現状値から35%向上させることを目指し、目標値を設定。

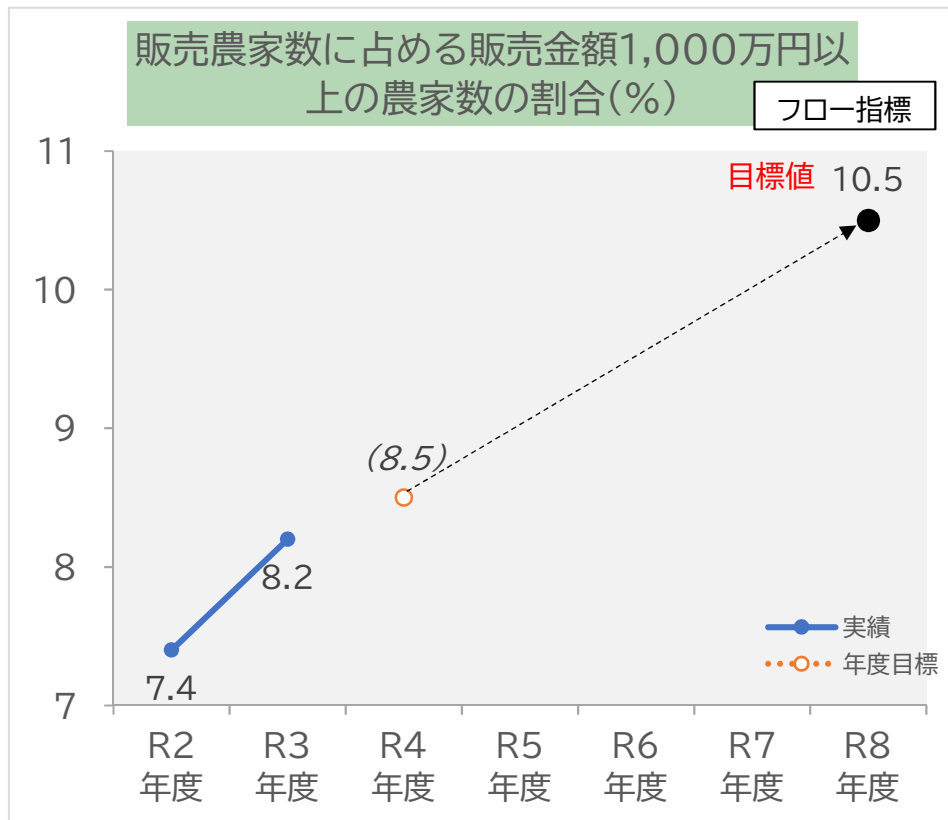
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より後退している。
- 全国的な主食用米や野菜等の価格低下などにより、策定時の値を下回った。
- 消費者ニーズを的確に反映した農産物の生産拡大、県産農産物などの高付加価値化やブランド化、農地中間管理事業による担い手への利用集積などの取組を進め、農家1戸当たりの生産農業所得の向上を図っていく。

# 針路12 施策53 強みを生かした収益力ある農業の確立

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
104. 販売農家数に占める販売金額1,000万円以上の農家数の割合	%	7.4 (R2年度)	8.2 (R3年度)	— (—)	—	—	10.5 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

販売農家数に占める農産物販売金額が1,000万円以上の農家数の割合。  
「埼玉県農林水産業振興基本計画」における令和7年度の目標値(10%)を踏まえ、更に販売農家数に占める販売金額1,000万円以上の農家数の割合を増加させることを目指し、目標値を設定。

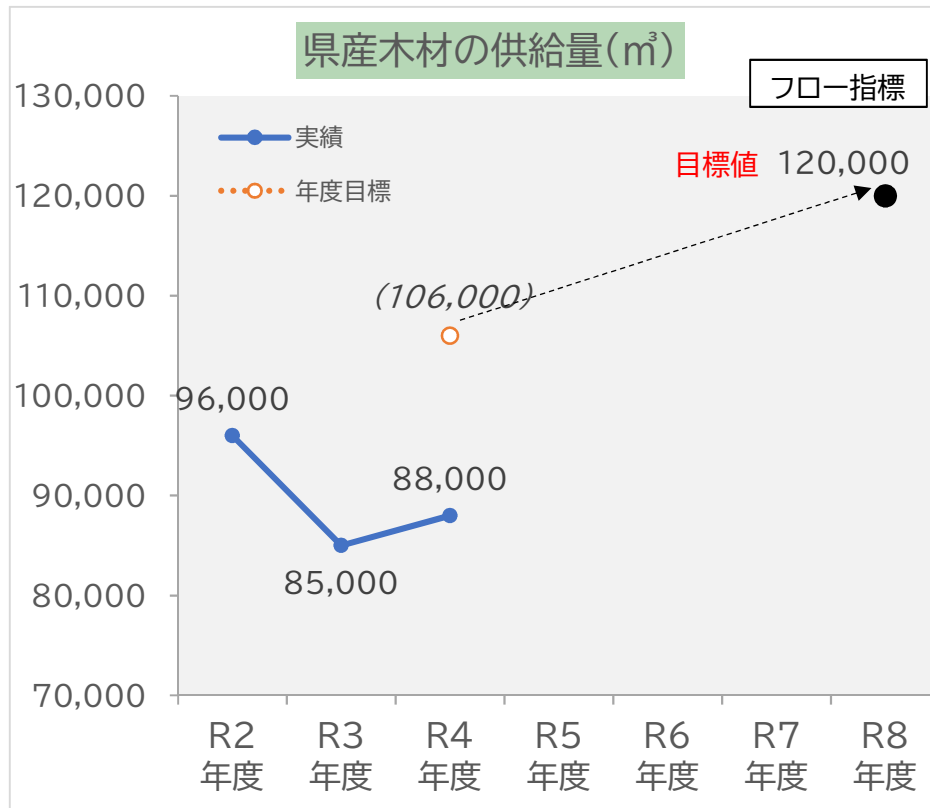
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画開始前であるが、策定時より改善している。
- 作付面積の拡大、栽培管理方法の改善、販路の拡大などの取組と合わせ、担い手の育成や農地集積、基盤整備に取り組んだ結果、策定時の値を上回った。
- 消費者ニーズを的確に反映した農産物の生産拡大、県産農産物などの高付加価値化やブランド化、農地中間管理事業による担い手への利用集積などの取組を進め、県内農業の収益力を高める。

# 針路12 施策54 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
105. 県産木材の供給量	m <sup>3</sup>	96,000 (R2年度)	88,000 (R4年度)	106,000 (R4年度)	83.0%	策定時より後退	120,000 (R8年度)



### ◀ 指標の説明 ▶

森林から伐採・搬出され、利用される木材量。  
令和22年度までに木材供給量を森林資源の循環利用の実現に必要な201,000m<sup>3</sup>/年まで増加させることを目指し、目標値を設定。

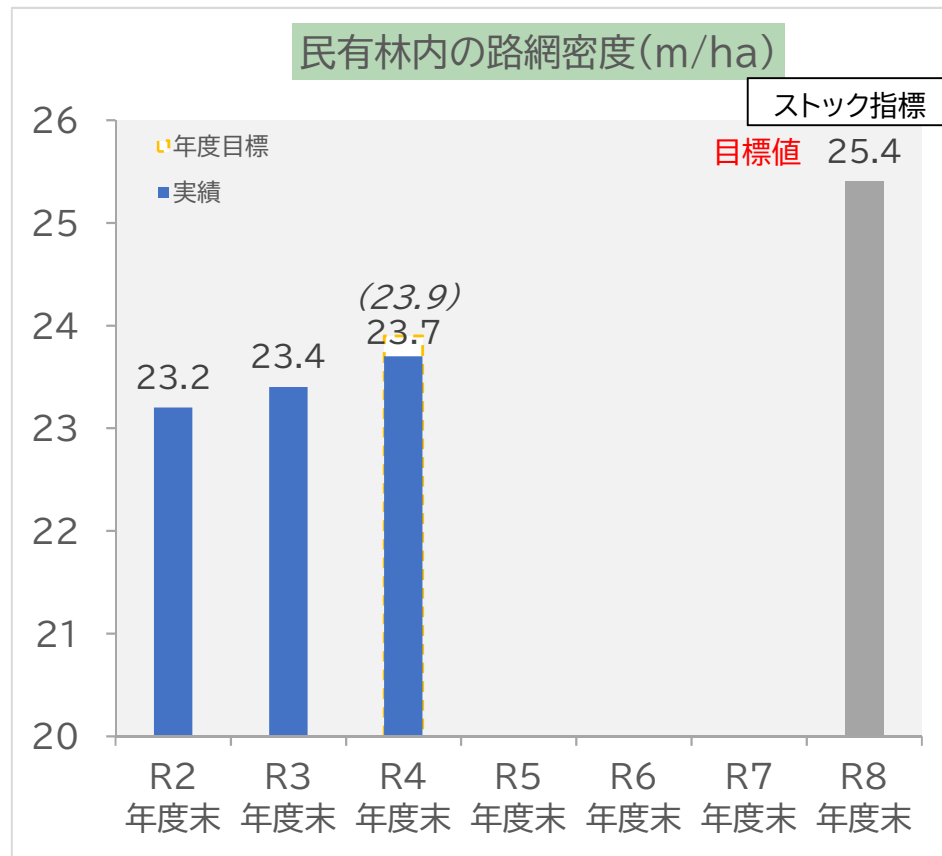
### ◀ 指標の進捗状況・分析 ▶

- 最新値は計画策定時の値より悪化しており、より一層の努力を要する。
- ウッドショックにより製材価格が高騰したが、それが山元立木価格に反映されず、森林所有者に十分な利益が還元されずに伐採意欲が低下している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により現地立合い等の森林所有者との交渉作業が捗らず、木材生産の進捗が滞った影響が続いていた。
- 県産木材のサプライチェーン構築など、森林所有者へ十分に利益が還元される仕組みづくりを支援する。

# 針路12 施策54 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

## 施策指標の進捗状況

指標	単位	策定時	最新値	年度目標値	達成率 (年度目標比)	進捗状況	最終目標値
106. 民有林内の路網密度	m/ha	23.2 (R2年度末)	23.7 (R4年度末)	23.9 (R4年度末)	99.2%	策定時より改善	25.4 (R8年度末)



### ≪ 指標の説明 ≫

民有林内に開通している路網(公道、森林管理道及び作業道)の密度。  
効率的な森林整備や木材生産を可能とするための国が示した路網整備の水準を踏まえ、本県の自然条件などを勘案し、目標値を設定。

### ≪ 指標の進捗状況・分析 ≫

- 最新値は年度目標に到達しておらず、目標達成に向け努力を要する。
- 森林整備に必要な作業道の開設に取り組んだものの、国庫予算の内示減により事業量が減じたことで事業進捗に遅れが生じたため、年度目標を下回った。
- 効率的な森林整備や木材生産を可能とするため、森林情報の収集、土地の境界の明確化、森林所有者の合意形成など施業地の集約化・団地化に向けた各々の課題を解決し、路網整備を進めていく。